

KORG

J 1



取扱説明書

目次

Introduction

フロント・パネル	4
リア・パネル	10
はじめに	12
ライブ・パフォーマンス	12
ネットワーク・リンク	12
パッケージの確認	12
取扱説明書について	13
システム・ファイルのバックアップ・コピーの作成	13
ファクトリー・データの再ロード	13
スタート・アップ	14
AC 電源コードの接続	14
電源のオン / オフ	14
ボリューム (MASTER、ACC/SEQ) のコントロール	14
[BALANCE] スライダー	14
ヘッドホン端子	14
オーディオ出力	15
オーディオ入力	15
MIDI 接続	15
ダンパー・ペダル	15
デモ・ソング	15
譜面立て	15
用語の解説	16
Sound (サウンド)	16
Style (スタイル)	16
Style Performance (スタイル・パフォーマンス)	16
Keyboard (キーボード) トラック	16
Sequencer (シーケンサー)	17
ロゴ・マーク	17
インターフェイスの基本	18
タッチビュー・カラー・グラフィック・ユーザー・インターフェイス	18
モード	19
ハイライト表示のパラメーター	19
反転表示のパラメーター	19

Quick Guide

電源を入れてデモ演奏を聴く	22
電源を入れてメイン・ページを見る	22
デモ・ソングを再生する	22
サウンドをプレイする	23
サウンドを選択して鍵盤で演奏する	23
同時に複数のサウンドをプレイする	25
右手と左手で異なったサウンドをプレイする	27
スプリット・ポイントを変更する	28
Upperトラックをオクターブ上げる、または下げる	29
デジタル・ドローパー	29
パフォーマンスを選んで保存する	32
パフォーマンスを選ぶ	32
設定をパフォーマンスに保存する	33
スタイルを選択して再生する	36
スタイルを選んで再生する	36
テンポ	38
イントロ、フィル、バリエーション、エンディング	38
STS (シングル・タッチ・セッティング)	39
PAD	40
スタイルとキーボードの音量のバランスをとる	40
各トラックの音量を調節する	41
スタイル・トラックをオン / オフにする	42
右手のメロディにコードを付加する (アンサンブル機能)	42
ソング・プレイ	44
再生するソングを選ぶ	44
ソングを再生する	46
トラックの音量を変更する	47
ソング・トラックをオン / オフにする	49
2つのソングをミックスする	50
CDを聴く	51
SongBook (ソング・ブック)	52
メイン・リストから収録曲を選ぶ	52
Artist (アーティスト) または Genre (ジャンル) を表示する	53
収録曲の並びを変える	54
収録曲を検索する	54
曲を追加する	55
カスタム・リストを作成する	57
カスタム・リストを選んで使う	59
SongBook の STS を選択する	59

マイクを使って歌う	60
マイクを接続する	60
ボイスにハーモニーを追加する	62
ボイスのソロ（トークバック）をする	63
ボイス・プロセッサの設定をロックする	63

新しいソングを録音する	64
B. SEQ RECORD : バッキング・シーケンス (Quick record)	
モードにする	64
レコーディングの準備	65
レコーディングする	66
セカンド・テイクのレコーディングをする（オーバーダビング）	67
ソングをディスクに保存する	67

Appendix

ファクトリー・データ	70
スタイル	70
スタイル・エレメント	74
シングル・タッチ・セッティング (STS)	74
サウンド	75
ドラム・キット	82
マルチサンプル	83
ドラム・サンプル	86
パフォーマンス	89
サウンド (パッド用)	91
MIDI の設定	95

アサインابل・パラメーター	96
アサインابل・フットスイッチと EC5 のファンクション・リスト	96
アサインابل・ペダルのファンクション・リスト	98
アサインابل・スライダのファンクション・リスト	98
[ASSIGNABLE SWITCH]1 ~ 4 のファンクション・リスト	99
ボイス・プロセッサ用コントローラーのファンクション・リスト	100
ボイス・プロセッサ用スイッチのファンクション・リスト	100
スケール (音階)	101

MIDI コントローラー	102
MIDI インプリメンテーション・チャート	103

認識されるコード	104
----------	-----

Pa1X-EXB シリーズの取り付け方法	106
----------------------	-----

データのバックアップ / リストア、ユーザー・データのセーブ / ロード	108
データのバックアップ	108
バックアップ・データのリストア	108
ユーザー・データのセーブ	109
ユーザー・データのロード	109

トラブル・シューティング	110
--------------	-----

技術仕様	113
------	-----

PaA1

professional
arranger



PaA1

professional
arranger



PRO

Introduction

フロント・パネル

Note : このページの下にあるイラストは Pa1X Pro です。Pa1X* には内蔵のスピーカーがあり、レイアウトが少し違いますが、同じようなコントローラーがあります。

*2005年3月現在、Pa1Xの日本発売は未定です。ご了承ください。

1 ジョイスティック

動かす方向によりさまざまなコントロールをします。

X (+ / -) ジョイスティックを左 (-) に動かしてピッチを下げ、右 (+) に動かしてピッチを上げます。ピッチベンドとも呼ばれます。

Y + ジョイスティックを向こう (奥) 側に傾け、モジュレーション効果を掛けます。

Y - ジョイスティックを手前に傾け、Sound モードで割り当てられた機能をコントロールします。

2 [MASTER VOLUME] スライダー

本機の全体的な音量を調整します。内蔵スピーカー (Pa1Xのみ) と LEFT/MONO、RIGHT 出力端子とヘッドホン出力端子から出力する音量を調整します。サブ出力端子 1、2 の音量は変わりません。

また、MIC 入力端子に入力される信号の音量を調整します。ライン入力端子 (1、2) の信号は調整できません。

Warning : 音量の豊かなソング、スタイル、あるいはサウンドで信号のレベルが大きい場合、最大レベルで Pa1X の内蔵スピーカーの音が歪むことがあります。このようなときは [MASTER VOLUME] を少し下げてください。

3 [ACC/SEQ VOLUME] スライダー

伴奏トラックの音量 (Style Play モード) あるいはキーボード・トラックを除くソング・トラックの音量 (Song Play、Sequencer モード) を調整します。これは相対的な音量コントロールで、実質

的な最大値は [MASTER VOLUME] スライダーの位置によって決まります。

4 アサインابل・スライダー

▶GBL Gbl

自由に割り当て可能なスライダーです。4 つの操作モードがあり、[SLIDER MODE] キーを押して操作モードを選択します (以下、[SLIDER MODE] キー参照)。

5 [SLIDER MODE] キー

▶PERF ▶STS

スライダーの 4 つの操作モードを選択します。

VOLUME LCD 画面表示に対応する各トラックの音量を調整します。[TRK.SEL.] キーを押すことによって、キーボード・トラック、スタイル・トラック、それぞれの音量を調整することができます。

DRAWBARS 選択した「Digital Drawbars」サウンドの各ドローバーを調整します。

ASSIGN. A 自由に割り当て可能なコントロールの 1 番目のセットです。

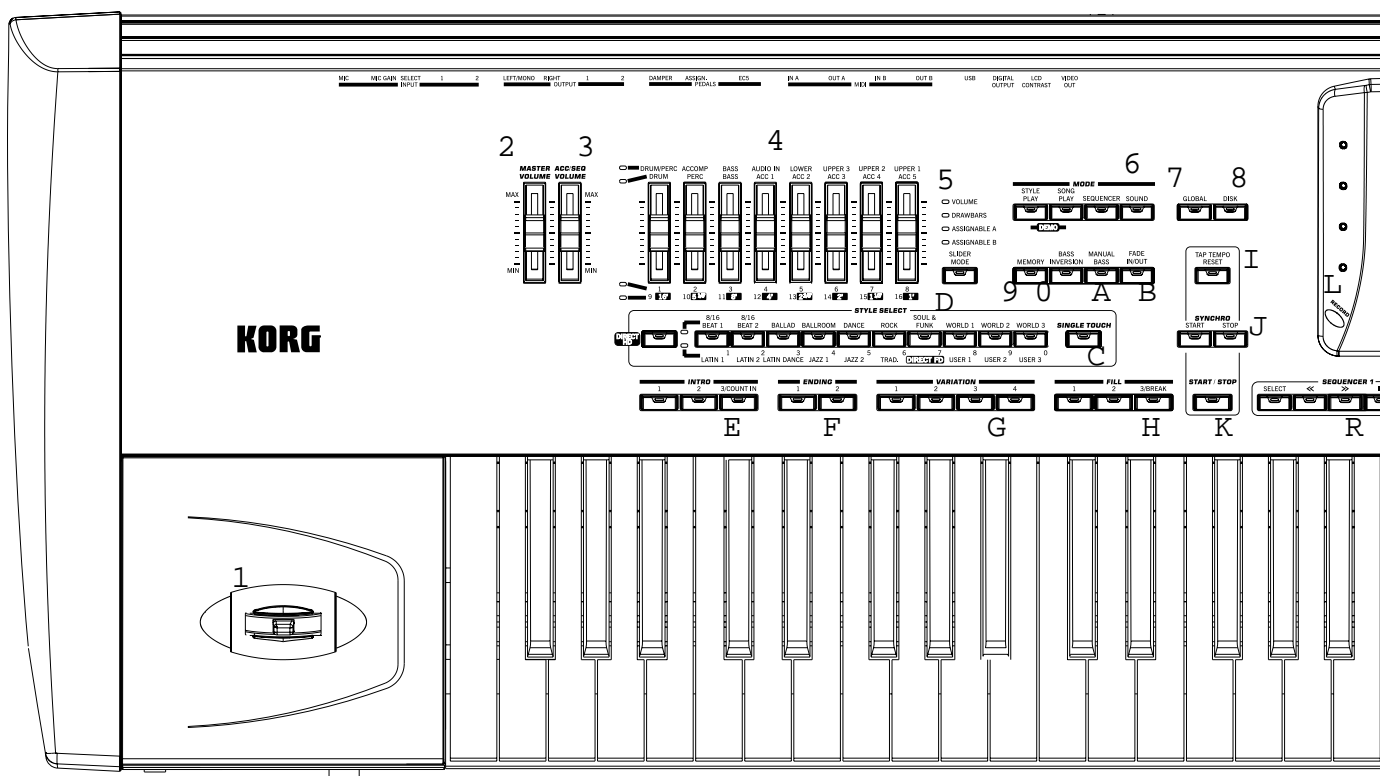
ASSIGN. B 自由に割り当て可能なコントロールの 2 番目のセットです。

6 [MODE] キー

本機の操作モードを呼び出します。選択すると他のモードは無効になります。

[STYLE PLAY] Style Play モードで、スタイル (自動伴奏) の演奏、そして最大 4 つのキーボードトラックの演奏ができます。

メイン・ページでは、キーボード・トラックは LCD 画面の右半分に表示されます。Style Play Edit ページで [EXIT] キーを押すとメイン・ページに戻りま



す。別のモードが選択されているときは、[STYLE PLAY]キーを押すとStyle Playモードに入ります。キーボード・トラックが表示されないときは、[TRK.SEL.]キーを押します。キーボード・トラックとスタイル・トラックの表示が切り替わります。

本機の電源を入れると、このStyle Playモードが自動的に選択されます。

[SONG PLAY] Song Playモードで、スタンダードMIDIファイル(SMF)または別売りのCDRW-1搭載時には、オーディオCDフォーマットのソングを、ディスクから直接再生することができます。本機は2つのシーケンサーを搭載しており、2つのソングを同時に再生し、それを[BALANCE]スライダーでミックスすることができます。

ソング・トラックの他に、1~4つのキーボード・トラックをソングに合わせて演奏できます。メイン・ページでは、キーボード・トラックはLCD画面の右半分に表示されます。Song Play Editページで[EXIT]キーを押すとメイン・ページに戻ります。別のモードが選択されているときは、[SONG PLAY]キーを押してSong Playモードに入ります。[TRK.SEL.]キーを押すとキーボード・トラックとソング・トラックの表示が切替わります。

[SEQUENCER] Sequencerモードで、ソングの再生、記録、エディットができます。Backing-Sequencerモードでは、キーボードとスタイル・トラックを元に新しいソングを記録し、スタンダードMIDIファイルとして保存できます。

[SOUND] Soundモードで、1つのサウンドをキーボードでプレイしたりエディットしたりすることができます。

DEMO [STYLE PLAY]と[SONG PLAY]の2つのキーを同時に押してデモ・モードを選択します。このモードでは、本機が持つ音楽表現力を理解いただくためのデモ・ソングを再生します。

7 [GLOBAL] キー

さまざまなグローバル設定を行うグローバル編集画面を呼び出します。この編集画面は、動作中の操作モード画面の上にオーバーラップして表示されます。[EXIT]キーを押すと、操作モード画面に戻ります。

8 [DISK] キー

ファイルやディスクのさまざまな操作(ロード、セーブ、フォーマットなど)を行うディスク編集画面を呼び出します。この編集画面は、動作中の操作モード画面の上にオーバーラップして表示されます。[EXIT]キーを押すと、操作モード画面に戻ります。

9 [MEMORY] キー

弾いたコードを保持する機能を、オンまたはオフにします。機能は、Style Playモード、PreferencesのStyle Preferencesタブ・ページを開き、Memory Modeの設定を“Chord Memory”、“Chord + Lower”または“Fixed Arr. + Lower”にするかを決めます。この設定によって、オン、オフにしたときの動作が異なります。

例えば“Chord + Lower”を選択した場合：

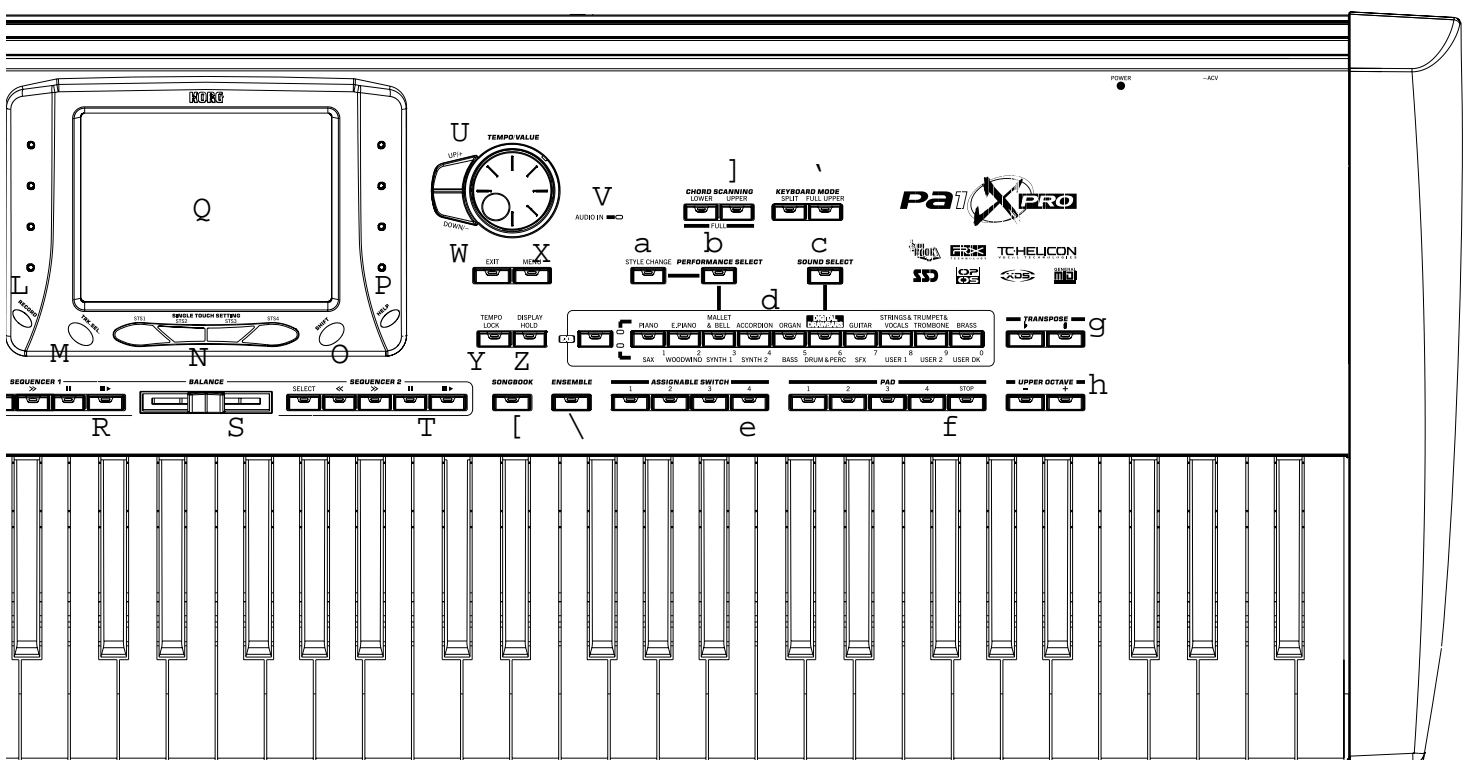
- オン 次の音またはコードを弾くまでの間、スプリット・ポイントより左の音、そして自動伴奏のコードは、鍵盤から指を離してもメモリーに保存されます。
- オフ 鍵盤から指を離すと同時に、音とコードは解除されます。

0 [BASS INVERSION] キー

▶PERF ▶STS

ベースの転回機能をオンまたはオフにします。

- オン 転回されたコードの最低音(押さえたコードの中で一番低い音)をコードのルート(根音)として常に検知します。アレンジャーにAm7/GやF/Cのような複合コードを指定することができます。
- オフ 最低音は他のコードの音と共に読み込まれますが、常にルート(根音)とは見なされません。



A [MANUAL BASS] キー

▶PERF ▶STS

マニュアル・ベース機能をオンまたはオフにします。

Note : [MANUAL BASS] キーを押すと、ベース・トラックの音量が自動的に最大になります。[MANUAL BASS] キーをオフにすると、ベース・トラックの音量が元の音量に戻ります。

オン ドラムとパーカッション・トラックを除く自動伴奏の演奏が止まり、鍵盤の Lower 部分でベース・トラックをプレイできます。[CHORD SCANNING] セクションの [LOWER] キーを押すと、自動伴奏が再スタートします。

オフ スタイルによるベース・トラックが自動的に再生されます。

B [FADE IN/OUT] キー

スタイルを再生していないとき、このキーを押すと、スタイルはフェード・イン（音量がゼロから最大値に変化）しながら再生を始めます。

スタイルを再生しているとき、このキーを押すと、スタイルはフェード・アウト（音量が徐々に小さくなる）しながら再生を停止します。

スタイルを開始、停止するときに、[START/STOP] キーを押す必要はありません。

C [SINGLE TOUCH] キー

シングル・タッチ機能をオンまたはオフにします。

オン スタイルを選択するとSTS1(Single Touch Setting) が自動的に選択され、このときキーボード・トラックやそのエフェクト設定、[CHORD SCANNING] セクションの設定、[PAD] キーの設定などが切り替わります。

オフ スタイルを選択すると、スタイル・トラックとそのエフェクト設定等は切り替わりますが、キーボード・トラックやそのエフェクト設定などのように、リアルタイムに設定するものは切り替わりません。

D [STYLE SELECT] セクション

これらのキーを使って Style Select ウィンドウを開き、スタイルを選択します。

左端のキーを繰り返し押し、スタイル・バンクを選択します。

上の LED が点灯

上列のスタイルが選択されます。

下の LED が点灯

下列のスタイルが選択されます。

上下の LED が点灯

Pa1X Pro、またはハード・ディスク装備した Pa1X では、**DIRECT HD** スタイルが選択されます。Direct HD スタイルは [1] ~ [9] キーを押してアクセスします。

スタイル・バンクと名称について

「8/16 BEAT 1」~「WORLD 3」スタイルと「LATIN 1」~「TRADITIONAL」スタイルは標準のスタイルとしてプロテクトがかかっています。このプロテクトは、Disk モードの Preferences タブを開き、Factory Style and Pad Protect で解除することができます。

「DIRECT FD」スタイルは、フロッピー・ディスクから直接アクセスできます。

「DIRECT HD」スタイルは、ハード・ディスクが装備されている場合、ハード・ディスクから直接アクセスできます。

「USER 1」~ [USER 3] スタイルには、ディスクから新しいスタイルをロードできます。

スタイル・バンクの各キーには 4 つのページがあり、それぞれ最大 8 つのスタイルがあります。

E [INTRO 1] ~ [3/COUNT IN] キー

▶PERF ▶PERF^{Sty}

アレンジャーをイントロ・モードに設定します。1 つを選択してスタイルをスタートさせると、選択したイントロでスタートします。イントロの LED はイントロの終わりで消灯します。

キーを二度押すと LED が点滅し、イントロをループ再生します。ループを終了するときは、別のスタイル形式（「FILL」、「INTRO」、「VARIATION」など）を選びます。

F [ENDING 1 ~ 2] キー

▶PERF ▶PERF^{Sty}

スタイル再生中、このキーでエンディングを再生させスタイルを停止します。このキーを押すと、エンディングに入りスタイルが停止します。スタイル停止中、このキーを押すとイントロの追加として機能します。

キーを二度押すと LED が点滅し、エンディングをループ再生します。ループを終了するときは、別のスタイル形式（「FILL」、「[INTRO]」、「VARIATION」など）を選びます。

G [VARIATION 1 ~ 4] キー

▶PERF ▶PERF^{Sty}

選択しているスタイルの 1 ~ 4 のバリエーション（変奏）を選択します。それぞれ 1 ~ 4 の変奏はパターンとサウンドが違います。

H [FILL 1] ~ [3/BREAK] キー

▶PERF ▶PERF^{Sty}

フィル・インを再生します。キーを二度押す（LED が点滅）とループ再生し、他のスタイル形式（「FILL」、「INTRO」、「VARIATION」など）を選ぶとループは終了します。

I [TAP TEMPO/RESET] キー

このキーはスタイルの状況（Stop/Play）により機能が変わります。

Tap Tempo スタイルが再生されていないときは、ビート（拍子）に合わせてこのキーを押し、テンポを決めます。最後に、打ち込んだテンポで伴奏がスタートします。

RESET

スタイルの再生中にこのキーを押すと、スタイルのパターンが 1 つ前の強拍に戻ります。

J [SYNCHRO START/STOP] キー

シンクロ・スタート、シンクロ・ストップ機能をオンまたはオフにします。

[START] オン、[STOP] オフ

この状態では、コード検知領域（通常はスプリット・ポイントより低音域側）でコードを弾くと、スタイルが自動的に再生します。コードの認識については、8 ページの「[CHORD SCANNING] セクション」を参照ください。

[START] オン、[STOP] オン

2 つの LED が点灯している状態で、鍵盤から指を離すと、再生しているスタイルが一時的にストップします。再びコードを弾き始めるとスタイルの再生も再スタートします。

[START] オフ、[STOP] オフ

シンクロ機能がオフになります。

K [START/STOP] キー

スタイルのプレイをスタート、ストップします。

本機または MIDI OUT 端子に接続された機器上で、音が鳴りやまな
いとき、コントローラーをリセットするときに、[START/STOP]
キーと [SHIFT] キーとを同時に押します。[SHIFT]

L [RECORD] キー

Style Play モード時にこのキーを押すと、Style/Pad Record モードへ入ります。

Sequencer モード時にこのキーを押すと、Song Record モードへ入ります。

Sound モード時にこのキーを押すと、Sampling モードへ入ります。

M [TRK.SEL. (Track Select)] キー

選択された操作モードにより、さまざまなトラック・ビュー・モードを切替えます。

STYLE PLAY モード

キーボード・トラックとスタイル・トラックを切り替えます。

SONG PLAY モード

キーボード・トラック、ソング・トラック 1 ~ 8、ソング・トラック 9 ~ 16 を切り替えます。

SEQUENCER モード

ソング・トラック 1 ~ 8 とソング・トラック 9 ~ 16 を切り替えます。

N [SINGLE TOUCH SETTING] キー

最大 4 つの Single Touch Settings を選択できます。

それぞれのスタイルや Song Book 収録曲には最大 4 つの Single Touch Settings (STS) があり、キーボード・トラックやそのエフェクト、ボイス・プロセッサー、[PAD] キーなどの設定をワンタッチで呼び出すことができます。

[SINGLE TOUCH] キーの LED が点灯しているときは、スタイルを選択すると STS 1 が自動的に選ばれます。

O [SHIFT] キー

このキーを押しながら他の特定のキーを押すと、そのキーの別の機能呼び出すことができます。

P [HELP] キー

このキーを押すとヘルプ画面が開きます。ヘルプ画面は英語です。日本語は表示されません。

Q カラー・タッチビュー・グラフィック・ディスプレイ

この LCD 画面上で本機の操作を行います。

R [SEQUENCER 1] トランスポート・コントロール

本機には 2 つのシーケンサー (SEQUENCER 1、SEQUENCER 2) が搭載されており、それぞれにトランスポート・コントロールがあります。SEQUENCER 1 は Sequencer モードでも使います。

[<<]、[>>] 巻き戻しと早送りです。ソングの再生中に使うと、前後に移動します。

一度押すとソングの 1 小節前、または後に移動します。押し続けると、手を離すまでソングをスクロールします。

Jukebox モード (SEQUENCER 1) で、[SHIFT] キーを押しながらこのキーを押すと、Jukebox リストの前後のソングをスクロールします。[SHIFT]

別売りの CDRW-1 搭載した製品では、CD トラックの再生中に、[SHIFT] キーを押しながらこのキーを押すと、前後のトラックをスクロールします。

[|| (PAUSE)]

ソングの現在位置で一時停止します。[PAUSE] キーまたは [PLAY/STOP] キーを押すと、ソングの再生を再開します。

[▶ (PLAY/STOP)]

現在のソングを再生、停止します。ソングを停止すると、ソング・ポジションが 1 小節目 (ソングの始め) に戻ります。

Song Play モードで、[SHIFT] キーを押しながらこのキーを押すと、2 つのシーケンサーが同時にスタートします。[SHIFT]

S [BALANCE] スライダー

Song Play モードで、内蔵の 2 つのシーケンサーの音量バランスをとります。スライダー位置が左端にあるときは SEQUENCER 1 だけが聞こえ、右端にあるときは SEQUENCER 2 だけが聞こえます。中央にあるときは両方のシーケンサーが最大の音量で再生します。

T [SEQUENCER 2] トランスポート・コントロール

SEQUENCER 2 のトランスポート・コントロールです。前記の「[SEQUENCER 1] トランスポート・コントロール」を参照ください。

U [TEMPO/VALUE] セクション ▶PERF ▶PERF^{Sy}

ダイヤルと [DOWN/ -]、[UP/ +] キーで、テンポのコントロール、LCD 画面上で選択したパラメーター値の指定、また Song Select と Disk モードのページで、ファイル・リストのスクロールができます。

ダイヤル ダイヤルを時計回りに回して値やテンポを上げます。反時計回りに回して値やテンポを下げます。

[SHIFT] キーを押しながらこのダイヤルを使うと、テンポのコントロールとしてのみ機能します。[SHIFT]

[DOWN/ -]、[UP/ +]

[DOWN/ -] キーは値やテンポを下げ、[UP/ +] キーは値やテンポを上げます。

両方のキーを同時に押すと、テンポは選択したスタイルに保存されている値にリセットされます。

V [AUDIO IN] LED

INPUT 端子に入力されたオーディオ信号のレベルを表示します。3 つの色でレベルを現します。

消灯 (オフ) 入力信号がありません。

緑 低から中レベルの信号です。もし LED が頻繁に消えるときは入力ゲインが低すぎます。[GAIN] コントロールか入力ソースの機器のボリュームを使って入力レベルを上げます。

オレンジ 最適レベルです。このレベルでゲインを保持するようにしてください。

赤 入力段でクリッピングが生じています。信号ピーク時に時々赤くなるのは構いませんが、頻繁に赤くなるのは入力レベルが高すぎます。[GAIN] コントロールか入力ソースの機器のボリュームを使って、入力レベルを下げます。

INPUT 端子とボリューム・コントロールについて詳しくは 11 ページの「[INPUT] 入力端子」を参照ください。

W [EXIT] キー

このキーを使って、現在のページから移動します。

- ・ エディット・メニュー・ページが、項目を選択することなく終了します。
- ・ ページ・メニューの表示が、項目を選択することなく閉じます。
- ・ 現在の操作モードのメイン・ページに戻ります。
- ・ Global モードや Disk モードの編集画面を終了し、現在の操作モードの現在のページに戻ります。
- ・ Style、Performance、Sound Select ウィンドウを終了します。

X [MENU] キー

現在の操作モードまたはエディット・モードで、エディット・メニュー・ページを開きます。

エディット・メニュー・ページを開いたら、LCD 画面上の対応するボタンを押してエディット・セクションに移ったり、[EXIT] キーを押して、現在の操作モードのメイン・ページ、または元のページに戻ります。

LCD 画面の操作方法については、18 ページの「インターフェイスの基本」を参照ください。

Y [TEMPO LOCK] キー

テンポ・ロック機能をオンまたはオフにします。

オン 異なるスタイルやパフォーマンスを選択してもテンポは変わりません。ダイヤルを使ってマニュアルでテンポの調節もできます。

オフ 異なるスタイルやパフォーマンスを選択すると、それに保存されているテンポが自動的に選択されます。

Z [DISPLAY HOLD] キー

ディスプレイ・ホールド機能をオンまたはオフにします。

オン 一時的なウィンドウ (例、Sound Select ウィンドウ) を開くと、[EXIT] キーか操作モード・キーが押されるまで表示し続けます。

オフ 一時的なウィンドウは、一定時間が過ぎると、またはウィンドウで項目を選択すると閉じます。

[[SONGBOOK] キー

SongBook モードを呼び出します。このモードでは SONGBOOK (ソングブック・ミュージック・データベース) の閲覧ができます。

\ [ENSEMBLE] キー

▶PERF ▶STS

アンサンブル機能をオンまたはオフにします。オンのときは右鍵盤のメロディーに、左鍵盤のコードのハーモニーが加わります。

Note: アンサンブル機能は、鍵盤が Split モードで LOWER Chord Scanning モード設定時のみ動作します。

] [CHORD SCANNING] セクション

▶PERF ▶STS

Style Play、または Sequencer-Backing Sequence モードで、アレンジャーがコードを認識する方法を指定します。

[LOWER] コードはスプリット・ポイントより低音域側で検知されます。コードを形成するために必要なノート数は、Style Play モード、Preferences ページの Chord Recognition パラメーターで指定します。

[UPPER] コードはスプリット・ポイントより高音域側で検知されます。アレンジャーにコードを認識させるときは、常に 3 音以上のノートを弾く必要があります。

フル (両方の LED が点灯)

コードは鍵盤全体で検知されます。アレンジャーにコードを認識させるときは、常に 3 音以上のノートを弾く必要があります (このモードは Split Keyboard モードを選択しても使えます)。

オフ (両方の LED が消灯)

コードの検知はしません。[START/STOP] キーを押すとドラムとパーカッション・トラックの伴奏のみが再生されます。

\ [KEYBOARD MODE] セクション

▶PERF ▶STS

4 つのキーボード・トラックを鍵盤上に配置します。

[SPLIT] Lower トラックがスプリット・ポイントより低音域を使用し、Upper 1、Upper 2、Upper 3 トラックがスプリット・ポイントより高音域を使用します。初期設定では、このキーボード・モードを選ぶと自動的に Lower Chord Scanning モードが選ばれます。

[FULL UPPER]

Upper 1、Upper 2、Upper 3 トラックが鍵盤全体を使用します。Lower トラックは使用しません。初期設定では、このキーボード・モードを選ぶと自動的に Full Chord Scanning モードが選ばれます。

a [STYLE CHANGE] キー

スタイル・チェンジ機能をオンまたはオフにします。

オン パフォーマンスを選ぶと、パフォーマンスに保存されているスタイル・ナンバーに従い、スタイルが変更されます。

オフ パフォーマンスを選んで、スタイルとスタイル・トラックの設定は変更されません。キーボード・トラックの設定のみが変わります。

b [PERFORMANCE SELECT] キー

このキーを押すと、[SOUND/PERFORMANCE SELECT] セクションでパフォーマンスを選択できます。

c [SOUND SELECT] キー

このキーを押すと、SOUND/PERFORMANCE SELECT セクションでサウンドを選択し、選択中のトラックに割り当てられます。

d [SOUND/PERFORMANCE SELECT] セクション

▶PERF ▶PERF^{Sty} ▶STS

これらのキーを使って Sound Select、または Performance Select ウィンドウを開き、サウンド、またはパフォーマンスを選択します。保存されているサウンドについては、75 ページの「サウンド」を参照ください。

左端のキーは上下のサウンド、またはパフォーマンス・バンクの列を選択します。これを繰り返し押しして列を選択します。

上の LED が オン

上の列のサウンド、またはパフォーマンスが選択されます。

下の LED が オン

下の列のサウンド、またはパフォーマンスが選択されます。

上下の LED が オン

追加の EXB カードのサウンド、またはパフォーマンスが選択されます。

フロント・パネル上のサウンド・バンクは楽器名で、パフォーマンス・バンクは番号 (1 ~ 10 : 0 = Bank 10) で識別されています。

サウンド・バンクと名称について

「PIANO」 ~ 「SFX」までは標準のサウンドで、直接変更することはできません。

Sound モードでエディットしたサウンドは、「USER 1」、「USER 2」へライトすることができます。また、「USER 1」、「USER 2」のサウンドには、ディスクから新しいサウンドをロードすることができます。

「USER DK」には新しいドラム・キットをロードすることができます。

それぞれのサウンド・バンクには多くのページがあり、各ページには最大 8 つのサウンドがあります。

e [ASSIGNABLE SWITCH (1 ~ 4)] キー ▶PERF ▶STS

これらのスイッチには、さまざまな機能を割り当てるができます。Style Play モード、Pad/Assign. Switch ページの Switch タブ・ページで設定します。

f [PAD (1 ~ 4、STOP)] キー ▶PERF ▶STS

プログラム可能なパッドで、サウンド・エフェクトを再生することができます。繰り返し再生されるサウンドを停止するときは、[STOP] キーを押します。パッドの音は、Main ページの Pad タブ・ページで設定します。

各パッドは、それぞれ 1 ~ 4 のパッド・トラックに対応しています。パッド・トラックの Volume、Pan、C/D Send は、Style Play モード、Pad/Assign. Switch ページの Pad タブ・ページで設定します。

g [TRANSCOPE] キー

▶PERF ▶PERF^{Sty}

本機全体を半音単位でトランスポーズします (マスター・トランスポーズ、Master Transpose) トランスポーズの量は LCD 画面のヘッダー部分に表示されています。

STYLE PLAY T:0 <no chord>

[b], [#] の両方のキーを同時に押すとマスター・トランスポーズがゼロになります。

Note : マスター・トランスポーズは Drum モードに設定されたトラック (ドラム、パーカッション・トラックを他のモードに変えたとしても) には影響がありません。

[b] マスター・トランスポーズを半音下げます。

[#] マスター・トランスポーズを半音上げます。

h [OCTAVE] キー

▶PERF ▶PERF^{Sty} ▶STS

選択したトラックを、1 オクターブ単位 (12 半音、最大 2 オクターブ) でトランスポーズします。オクターブのトランスポーズ量は、トラック・ネームの隣に常にオクターブで表示されています。



[-] と [+] キーを両方押すと、オクターブ・トランスポーズがゼロになります。

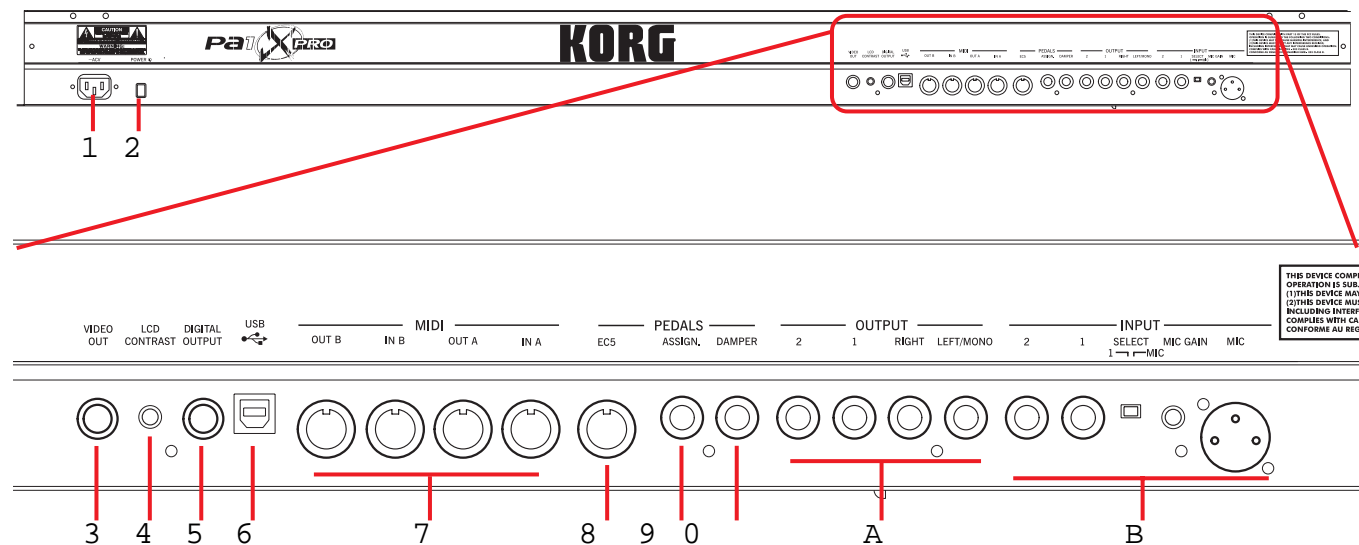
Note : オクターブ・トランスポーズは、Drum モードに設定されたトラック (ドラム、パーカッション・トラックを他のモードに変えたとしても) には影響がありません。

[-] 選択したトラックを 1 オクターブ下げます。

[+] 選択したトラックを 1 オクターブ上げます。

リア・パネル

下のイラストは Pa1X Pro のものです。



1 AC 電源端子

付属の AC 電源コードを接続します。

2 [POWER] スイッチ

本機の電源をオンまたはオフにします。

3 [VIDEO OUT] 端子 (オプション)

2005年2月現在、日本発売の予定はありません。

4 [LCD CONTRAST] ノブ

このノブで LCD ディスプレイのコントラストを調整します。

5 [DIGITAL OUTPUT] 端子

この出力端子を使って、本機をデジタル・ミキサー、オーディオ・カード、DAT、CD レコーダーなどのデジタル機器の S/PDIF 入力端子に接続します。OUTPUT 出力端子の [LEFT/MONO] や [RIGHT] 端子と同じ音が、デジタルで出力されます。

6 [USB] 端子

タイプ B (スレーブ) の USB 端子です。本機をコンピューターに接続し、ハード・ディスクのデータ転送が可能です。

7 [MIDI] 端子

MIDI 端子を介して、外部コントローラー (マスター・キーボード、MIDI ギター、ウィンド・コントローラー、MIDI アコーディオン等) 種々のエクステンダー、シーケンサーやエディターを、起動させた PC に接続します。2 組の IN 端子と OUT 端子があります。

IN A/B コンピューターやコントローラーから、MIDI データを受信します。この端子を、外部コントローラーやコンピューターの MIDI OUT 端子に接続します。

OUT A/B 通常は MIDI OUT として動作しますが、MIDI THRU としても設定できます。

OUT に設定したときは、本機のキーボード、コントローラー、シーケンサーで生成した MIDI データを送

信します。この端子をエクステンダーやコンピューターの MIDI IN 端子に接続します。

THRU に設定したときは、同じグループ (A、または B) の IN 端子で受けたデータと同じものを出力します。この端子を使って、本機を他の MIDI 機器とカスケード (縦列) 接続します。

8 [EC5] マルチ・スイッチ端子

コルグ EC5 マルチ・スイッチを接続し、リアルタイムで多数の機能をコントロールします。

9 [ASSIGN.] ペダル端子

コルグ EXP-2 や XVP-10 (エクスプレッション・ペダル) のようなコンティニユアス・タイプ、あるいはフットスイッチ・タイプのペダルを接続します。

0 [DAMPER] ペダル端子

コルグ PS-1 や DS-1H のようなダンパー・ペダルを接続します。極性の変更については、110 ページ、「トラブル・シューティング」の「サウンドが止まらない」を参照ください。

THIS DEVICE COMPLIES WITH THE EUROPEAN UNION'S CE MARKING REQUIREMENTS. (THIS DEVICE MAY BE USED IN THE EUROPEAN UNION.) THIS DEVICE COMPLIES WITH THE EUROPEAN UNION'S CE MARKING REQUIREMENTS. (THIS DEVICE MAY BE USED IN THE EUROPEAN UNION.)

A [OUTPUT] 出力端子

オーディオ信号をミキサーや PA システム、パワー・モニター、ステレオ・システムに出力するアンバランス型端子です。

LEFT/MONO、RIGHT

メインのステレオ出力端子です。最終的なステレオ・ミックスとして、外部機器へ出力します。

モノラルで接続するときは、LEFT/MONO へ接続します。

出力レベルは[MASTER VOLUME]スライダーで設定します。

- 1、2 サブの出力端子です。数トラックのステレオ・サブ・ミックスを作ったり、1 つの楽器の音を出力して外部でのミックス処理やアンプに接続したりします。

Note : この出力には [MASTER VOLUME] スライダーは効きません。エフェクトのかかっていないドライ信号が出力されます。

B [INPUT] 入力端子

ダイナミック・マイクや他のキーボードまたはシンセサイザー、CD プレーヤーを入力します。

- 1、2 [1/MIC] スイッチが [1] の設定のときのみ動作します。CD プレーヤーやシンセサイザーのような、ライン・レベルの入力ソースを接続するアンバランス型端子です。

- 1/MIC このスイッチで入力を選択します。[1] を選択すると、ライン入力 1、2 が有効になります。[MIC] を選択すると、マイク入力が有効になります。

- MIC GAIN マイク端子の入力感度を調節 (20 ~ 55dB) します。

- MIC [1/MIC] スイッチが [MIC] の設定のときのみ動作します。ダイナミック・マイクを入力するためのバランス型端子です。コンデンサー・マイクを接続するためには、外部のファントム電源が必要です (マイクの取扱説明書を参照ください)。入力信号はボイス・プロセッサに送られます。

コントロール・パネルの [AUDIO IN]LED の入力レベルを見ながら、[GAIN] ノブで入力ゲインを調整します。

はじめに

コルグ・プロフェッショナル・アレンジャー Pa1X Pro、Pa1X をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

本機は、現在もっともパワフルなアレンジ機能が搭載され、プロフェッショナル用として、またご家庭用として、あらゆるシーンで十分ご満足いただけるシンセサイザーです。

本機の特長

- ・ 音源に、コルグのプロ用シンセサイザーで高い評価をいただいている HI (Hyper Integrated) シンセシス・システムを搭載。
- ・ OPOS (Objective Portable Operating System) マルチ・タスク・オペレーティング・システム搭載により、演奏中でもデータのロードが可能。
- ・ ディスクによるオペレーティング・システムのアップデート方法により、手軽に機能をバージョンアップ可能。
- ・ 豊富なハード拡張用オプション：
RAM 増設、CD プレーヤー / ライター、最大 2 枚のサウンド ROM カード、内蔵ハード・ディスク (Pa1X Pro は標準搭載)
- ・ 通常の ROM に代わる、Solid State Disk (SSD) を使ったシステム・アップデート。
- ・ フロッピー・ディスク、ハード・ディスク内の Style (スタイル) が、ダイレクトに使用可能。
- ・ GM2 (General MIDI レベル 2) 互換。
- ・ 47 個以上のドラム・キットを含む、870 個のドラム・サウンド。
- ・ 各プロセッサに 89 タイプのエフェクトと FX D 用のボコーダーを搭載した、内部トラック用マルチ・エフェクト・プロセッサ 4 基。
- ・ キーボード・サウンドとエフェクトを瞬時に設定可能にする 320 の Performance (パフォーマンス) と 1,800 以上の Single Touch Settings (STS)
- ・ 500 以上の Style 搭載。
- ・ Style の記録、エディットが可能。
- ・ クロスフェーダー付きの XDS シーケンサー 2 基。
- ・ 機能をフル装備した 16 トラック・シーケンサー。
- ・ 自在に編集可能なミュージック・データベースを搭載した Song Book から瞬時にソングの検索が可能。
- ・ 内蔵サンプリング機能を使い新しいサウンドや音声トラックの作成と編集が可能。
- ・ TC-Helicon™ のボイス技術を使用した 4 ボイス・ハーモナイザーやエフェクト搭載の高性能ボイス・プロセッサ。
- ・ 20 ~ 55dB ゲインの高品位マイク・プリアンプ。
- ・ 高音質な入力 (ADC) そして出力 (DAC) を可能にするオーディオ・コンバーター。
- ・ タッチビュー・カラー・グラフィック使用のユーザー・インターフェース。
- ・ オルガンのドローパーとしても使える 8 個のプログラマブル・スライダー。

- ・ Pa1X のみ：オート・ラウドネス付きのデジタル・パイアンプと 4-ウェイ・バスレフ・スピーカー・システムによるリアルな再生音。
- ・ Pa1X Pro のみ：Real Drums と Turkish/Arabic World のサウンド・データ・セットを収録したハード・ディスクを標準装備。

ライブ・パフォーマンス

本機は主にライブ使用を想定して設計されています。「リアルタイム」という言葉は、まさに本機のためにある言葉です。「Performance」はキーボードのトラック設定を瞬時にを行います。「Style」はリアルタイムで演奏にバックキック付け、「STS」は瞬時にキーボード・トラックの選択を、そして「SongBook」は高機能なミュージック・データベースからのソングの瞬時的な選択を可能にします。

ネットワーク・リンク

コルグでは、本機の情報を以下のサイトで提供しています。

オペレーティング・システムの最新版やさまざまなシステム・ファイル (例えば、ファクトリー・データのバックアップなど) は、以下のサイトにあります。

www.korgpa.com/

このサイトは、英語で表示されます。お問い合わせするときも英語のみになりますので、ご了承ください。また、このサイトには日本未発売の製品情報も含まれています。

英文の取扱説明書の PDF は、以下のコルグ・サイトからダウンロードすることができます。

www.korg.co.jp/

パッケージの確認

パッケージの中に以下のものが入っていることをお確かめください。万一、不足があるような場合は、コルグのサービス・センターへご連絡ください。

- ・ Pa1X Pro または Pa1X*
*2005 年 3 月現在、Pa1X の日本発売は未定です。ご了承ください。
- ・ 譜面立て
- ・ 電源コード
- ・ 取扱説明書
- ・ 別売りの CDRW-1 インストール用パーツ・キット (ネジ付)
- ・ Pa1X のみ：HD マウント・キット (ブラケット・マウント 2 個、M3 x 6 ネジ 8 本付)

取扱説明書について

取扱説明書は、次の3つのセクションに分かれています。

- ・ Introduction : 本機の概要と基本的な操作を説明しています。
- ・ Quick Guide : 操作方法をひとつおき説明した、実践的なガイドです。
- ・ Appendix : データ・リストやトラブル・シューティングなど役立つ情報が載っています。

本取扱説明書では、以下のような省略マークが使われています。

- ▶PERF ページ・メニューで“Write Performance”コマンドを使用して、パフォーマンスに保存できるパラメーターです。
- ▶PERF^{Sty} ページ・メニューで“Write Style Performance”コマンドを使用して、現在のスタイル・パフォーマンスに保存できるパラメーターです。
- ▶STS ページ・メニューで“Write Single Touch Setting”コマンドを使用して、現在のスタイルで使え Single Touch Setting のひとつとして保存できるパラメーターです。
- ▶STS^{SB} SongBook モードの Book Edit ページで“Write STS”オプションにチェックを入れて、SongBook に Single Touch Setting のひとつとして保存できるパラメーターです。
- ▶GBL ページ・メニューで“Write Global”コマンドを使用して、Global に保存できるパラメーターです。

システム・ファイルのバックアップ・コピーの作成

Pa1X Pro では全てのデータのバックアップは、内蔵のハード・ディスクに収められています。データを変更をした場合は、データを誤消去などで失わないように、新しいバックアップを作ることができます。

Pa1X をお持ちの方で、お買い求め時にハード・ディスクを装着されない場合、内部データを変更した場合は、フロッピー・ディスクにサウンド、パフォーマンス、スタイルを含む全てのデータのバックアップ・コピーを作ることをお勧めします。

ファクトリー・データ(スタイル、パフォーマンスなど)のバックアップ方法は、108ページの「データのバックアップ」を参照ください。

OS のバージョン No. は、電源を入れたときの起動画面に表示されます。また、Disk モードの Utility タブ・ページを選ぶと LCD 画面に表示されます。詳しくは、108ページの「データのバックアップ」を参照ください。

ファクトリー・データの再ロード

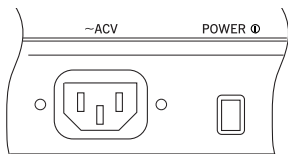
オリジナルのファクトリー・データが必要なときは、Pa1X Pro ではハード・ディスクに既にコピーが収められています。Pa1X では、バックアップ・ディスクを作成します。108ページの「データのバックアップ」を参照ください。

データの再ロード(リストア)は、108ページの「バックアップ・データのリストア」を参照ください。

スタート・アップ

AC 電源コードの接続

1. 本機の電源をオフにします。
2. 最初に付属の電源コードを本機リア・パネルの AC 電源端子に接続します。
3. 付属の電源コードには、アース端子がついています。感電と機器の損傷を防ぐためにアース接続を確実に行って、コンセントに接続してください。



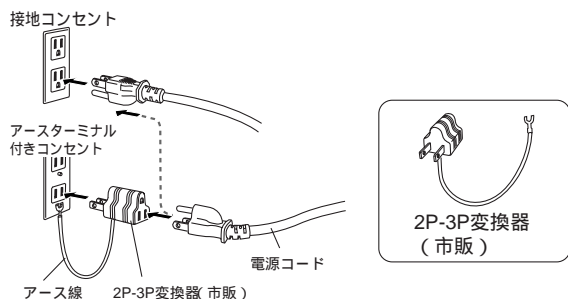
Note : 電源は必ず AC100V を使用してください。

接地コンセントに接続する場合は、直接プラグをコンセントに差し込んでください。

Note : 電源コードは必ず付属のものをお使いください。他の電源コードを使用した場合、故障などの原因となります。

アースターミナル付きコンセントに接続する場合は、2P-3P 変換器 (市販) をプラグに付け、アース線を接続した後にコンセントに差し込んでください。

Note : アースターミナル付きコンセントでは、必ずアース端子を先に接続してからコンセントにプラグを差し込んでください。コンセントから外す場合は、必ずプラグを先に抜いてからアースを外してください。接続方法が分からないときは、コルグお客様相談窓口にご相談ください。



電源のオン / オフ

電源を入れる

- ・ リア・パネルにある [POWER] スイッチを押して本機の電源をオンにします。LCD 画面には起動時の画面が表示され、しばらくすると、メニュー画面の表示に変わります。

起動の画面には、OS のバージョン No. が表示されます。

Note : 本機の電源をオンにすると、“PCM Autoload”パラメーターの設定により、User Sound で使われている RAM PCM サンプルが自動的にロードされます。この場合、ロードには時間が掛かることがあります。

電源を切る

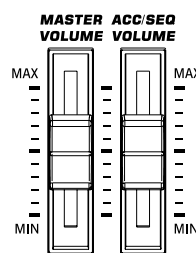
- ・ リア・パネルにある [POWER] スイッチを再度押して本機の電源をオフにします。

Warning: 本機の電源をオフにすると、RAM 内の全てのデータ (Sequencer モードで記録または編集したソング、未セーブの編集済みのサンプル) と、Time Slice 機能で作成した MIDI Groove は消えてしまいます。

SSD メモリーに含まれるデータ (ファクトリー・データ、User Sound、パフォーマンス、スタイル、マルチ・サンプル) とサンプルは保存されます。

ボリューム (MASTER、ACC/SEQ) のコントロール

- ・ [MASTER VOLUME] スライダーで本機の全体の音量を調節します。このスライダーは、内蔵スピーカー (Pa1X のみ)、メイン出力端子 (LEFT/MONO、RIGHT) そして HEADPHONES 端子の音量を調節します。



このスライダーは OUTPUT 1、2 出力端子には影響しません。ミキサーまたはスピーカーのレベル・コントロールで、音量を調節してください。

Note : まず、中程度のレベルから調節を始めてください。順に [MASTER VOLUME] スライダーを上げます。大きな音量で長い時間使用しないでください。

- ・ [ACC/SEQ VOLUME] スライダーでスタイル・トラック (ドラム、パーカッション、ベースなど) の音量を調節します。このスライダーは、キーボード・トラックには影響せず、2 つのシーケンサー・トラックを調節します。

[BALANCE] スライダー

2 つの内蔵シーケンサー (Sequencer 1、Sequencer 2) の音量バランスを調節します。

- ・ スライダーを一番左側に移動すると、Sequencer 1 が最大レベルに、Sequencer 2 が 0 になります。
- ・ スライダーを一番右側に移動すると、Sequencer 1 が 0 に、Sequencer 2 が最大レベルになります。
- ・ 中央の位置では、2 つのシーケンサーの音量が同じレベルになります。

Note : 本機の電源をオンにするときは、ソングが小さな音量で始まらないように、このスライダーを中央の位置にします。

ヘッドホン端子

キーボードの左下 (ジョイスティックの下) の HEADPHONES 端子にヘッドホン接続します。16 ~ 200 (50 推奨) のインピーダンスのヘッドホンが使えます。

オーディオ出力

[OUTPUT] 出力端子に外部アンプ、ミキサーなどを接続します。Pa1X Pro はスピーカーを内蔵していません。Pa1X Pro ではヘッドホン以外に音を出力する場合は、[OUTPUT] 出力端子に外部アンプなどを接続します。

ステレオ

[OUTPUT] 出力端子 LEFT/MONO と RIGHT の両方に、モノラル・ケーブルをそれぞれ接続します。ケーブルの反対側を、ミキサーのステレオ・チャンネルや 2 つのモノラル・チャンネル、2 つのパワード・モニター、あるいはオーディオ・システムの TAPE/AUX 入力端子に接続します。オーディオ・システムの PHONO 端子には接続しないでください。

モノラル

モノラル・ケーブルを [OUTPUT] 出力端子 LEFT/MONO に接続します。ケーブルの反対側を、ミキサーのモノラル・チャンネル、パワード・モニター、あるいはオーディオ・システムの TAPE/AUX 入力端子の片方 (アンプをモノラル・モードに設定していないと、片方のチャンネルのみが聞こえます) に接続します。

サブ出力

サブ出力を使うと、本機をミキサーの入力 4 チャンネルに接続できます。これはレコーディング、シーケンサー、またはバックিং・トラックを個別のチャンネルに送るときに便利です。例えば、ドラムまたはベース・トラックを外部のコンプレッサーやリバーブに送ったり、個別のトラックを外部ミキサーでミキシングしたりすることができます。

4 本のモノラル・ケーブルを、[OUTPUT] 出力端子 LEFT/MONO、RIGHT と [OUTPUT] 出力端子 1、2 へそれぞれに接続します。[OUTPUT] 出力端子 1、2 を使うときは、信号を送りたいトラックを設定します。

Note : トラックを [OUTPUT] 出力端子 1、2 へ送る場合、そのトラックは、内蔵スピーカーや LEFT/MONO、RIGHT からは出力されません。

Note : [OUTPUT] 出力端子 1、2 の出力には影響がありません。

[OUTPUT] 出力端子 LEFT/MONO、RIGHT の音量は、[MASTER VOLUME] スライダーで調節します。

[OUTPUT] 出力端子 1、2 の音量は、ミキサー、または外部スピーカーのレベル・コントロールで調節します。

オーディオ入力

本機のリア・パネルにある INPUT 入力端子に、マイクやギター、または他の楽器を接続します。マイク信号は、高品位な信号処理もできるようにボイス・プロセッサにも送られます。

接続された機器によって、INPUT セクションの [1/MIC] スイッチで信号のルーティングを選択します。

マイクを MIC 入力に接続する場合は、スイッチを [MIC] 側にします。ライン・レベルのモノラル、またはステレオの信号 (シンセや外部 CD プレーヤーなど) を INPUT 1、2 に接続するときは、スイッチを [1] 側にします。

入力とオーディオ信号の設定について、さらに詳しくは、60 ページの「マイクを使って歌う」を参照ください。

MIDI 接続

本機の外部 MIDI 楽器 (マスター・キーボード、MIDIギター、ウィンド・コントローラー、MIDI アコーディオン、デジタル・ピアノなど) に接続して、本機のサウンドを外部 MIDI 機器で再生することができます。

本機で外部 MIDI 機器をコントロールしたり、PC と接続してシーケンサー・ソフトを使ったりすることもできます。

ダンパー・ペダル

リア・パネルの DAMPER 端子に、ダンパー (サスティン)・ペダルを接続します。コルグ PS-1 ペダル・スイッチ、DS-1H フットスイッチ、または同等のものをお使いください。ペダルの極性の変更については、110 ページ、「トラブル・シューティング」の「サウンドが止まらない」を参照ください。

デモ・ソング

本機の音楽的表現力を理解いただくために内蔵のデモ・ソングをお聴きください。いくつかのデモ・ソングが収められています。

1. [STYLE PLAY]キーと [SONG PLAY]キーを、2つ同時に押します。両方の LED が点滅します。この状態でしばらくすると、全てのデモ・ソングがプレイされます。
2. 聴きたいデモ・ソングがあるときは、それを選びます。選んだデモ・ソングが始まります。
3. デモ・ソングを停止するときは、LCD 画面上の STOP ボタンを押すか、またはパネル上のいずれかの [MODE] キーを押して Demo モードを終了します。

譜面立て

本機には譜面立てが付属されています。譜面立ての足の部分をリア・パネルの 2 つの穴に差し込んでください。

用語の解説

本機のさまざまな機能を説明するために本書で使われる名称や用語をここで解説いたします。

ここでは本機の主な構成要素についての概略を記述します。本機では、従来のシンセやワーク・ステーションとは異なった用語を使います。ここで、それぞれの名称や機能を理解していただくと、本機の各部がどのような動作をしてリアルでパワフルな音楽表現を作りだしているのかをご理解いただけます。

Sound (サウンド)

サウンドはアレンジャー・キーボードの基本となるものです。サウンドとは演奏楽器の音色(ピアノ、ベース、サックス、ギターなど)のことで、エディット、セーブ、リコール、ロード、またそれらの設定を各トラックに割り当て(アサイン)可能です。個々のサウンドは、Sound モードで、普通のキーボードと同様にプレイすることができます。Style Play モードや Sequencer モードでは、Sequencer トラックや Style トラック、Keyboard トラックに、サウンドを自由に割り当てることができます。

Style (スタイル)

スタイルは、本機アレンジャー・キーボードの真髄を成すものです。スタイルは、最大 8 つのバックギング・パート、あるいはバックギング・トラックで基本構成されています。

Drum (ドラム)

Drum トラックでは、標準ドラムキットによるリズム・フレーズの繰り返しをつくります。

Percussion (パーカッション)

Percussion トラックでは、さまざまなパーカッション楽器(コンガ、シェーカー、カウベル、など)のパーカッション・リズム・フレーズをつくります。

Drum トラックと Percussion トラックは、キーボードでプレイされる音程やコードにかかわらず、同じフレーズを繰り返し再生します。どちらのトラックにも異なるドラムキットを割り当てたり、各キットそのものをエディットしたりすることもできます。

Bass と Accompaniment (ベースとアカンパニメント (伴奏))

Bass トラックとそれに加えた他の Style トラック(最大 5 トラック)が、Drum トラックと Percussion トラックに同期して、音楽的に関連したフレーズを再生します。これらのトラックで再生される音程は、キーボードでプレイされるコード進行に従って変化します。

各 Style トラックには、好きなサウンドを割り当てることができます。

Variation (バリエーション (変奏))

各スタイルには、4 つの Variation があります。各 Variation は、少しずつ違った形になっています。

Variation 1 から Variation 4 になるに従ってアレンジが複雑になり、例えばバックギング・パート(トラック)が増えてきます。これにより、スタイルのオリジナルの「フィーリング」を損なうことなく、よりダイナミックなアレンジの演奏ができます。

Fill-in (フィル)

ドラマーが演奏中に、例えば曲中のバース(序奏)からコーラス(主題)に移るときに、ビートに強弱をつけて繰り返し調子になり過ぎないように、時々「フィル(おかず)」を入れることがあります。本機には、それぞれのスタイルに合わせた 3 種類のフィルイン(Fill-in)が用意されています。Fill-in はドラムだけだったり、ドラムとインストルメントだったり、さらには無音の「Break (ブレイク)」だったりします。

Intro と Ending (イントロとエンディング)

それぞれのスタイルには、演奏の飾りとなるイントロとエンディングが用意されています。

イントロ 1、エンディング 1 は、ハーモニーを生かしコード・チェンジを含めた長いイントロやエンディングです。イントロ 2、エンディング 2 は、コードを固定した短いイントロとエンディングです。「Count-in (カウント・イン)」のイントロも用意されています。

Style Performance (スタイル・パフォーマンス)

スタイル・パフォーマンスには、さまざまな設定が入っています。1 つの設定の中に、スタイル、全ての STS 設定、テンポ、トランスポーズ、その他の情報が含まれます。スタイル・パフォーマンスの設定は、スタイル・バンクに保存することができます。また、SongBook 機能を使って保存することもできます。

Keyboard (キーボード) トラック

Style トラックの他に、最大 4 つのパートをキーボードでリアルタイムにプレイすることができます。個々の Keyboard トラックは、特定のキー・レンジ、あるいはペロシティを指定できます。普通は 3 つのパートをスプリット・ポイントの右側(Upper)に、1 つパートを左側(Lower)に割り当てます。これにより、Upper の Sound を重ねてプレイすることができます。これらの Keyboard トラックは、スタイルに合わせて演奏する以外にも、シーケンサーと合わせて演奏することができます。

STS (シングル・タッチ・セッティング)

STS は、各 Keyboard トラックに割り当てたサウンドをはじめとした、キーボードの演奏に関するさまざまな設定を、1 つのキーで瞬時に変更するものです。4 つの STS 設定がスタイル毎に、または SongBook 毎に保存できます。

Performance (パフォーマンス)

STS と同じように、各 Keyboard トラックに割り当てたサウンドをはじめとした、キーボードの演奏に関するさまざまな設定を、1 つのキーで瞬時に変更することができます。保存しておく、スタイルに関係なく、設定を呼び出すことができます。

Ensemble (アンサンブル)

Ensemble 機能をオンにしたときは、Keyboard トラックで単音を弾くと、本機がそのコードに合わせて自動的にアンサンブル(和音)を付けます。Ensemble 機能では、プレイ中のスタイルのコードから、どの音を追加するかを判断し、Ensemble のパラメーターにより、単純な音のハーモニーからプラス・セクションのフル・ハーモニー、さらにはマリンバのトリルまで、追加するボイスのタイプを選択することができます。

Sequencer (シーケンサー)

シーケンサーはレコーダーとして機能し、演奏を記録、再生することができます。本機のシーケンサー機能は、録音前に選択するモードで変わります。Backing Sequence (バックキング・シーケンス) モードでは、スタイルとリアルタイム(キーボードや Pad 演奏)はそれぞれを個別のトラックに同時に記録できます。これはソングを迅速に記録するとき便利です。また、マルチトラック・シーケンサー・モードでは、個別に 1 トラックずつ記録する、通常のリニアな 16 トラック・シーケンサーとして使えます。

ロゴ・マーク

本機のフロント・パネル上には 7 個のロゴ・マークが並んでいます。これらの内容を簡単に説明します。



SongBook とは、演奏するソング・ファイルのデータベースで、ソングを演奏するのに必要な全ての設定(スタイル、パフォーマンス、サウンド、テンポ、その他)を瞬時に呼び出します。SongBook には収録曲データがあり、収録曲をエディットしたり、削除したり、あるいはご自身の収録曲を追加したり自由にできます。SongBook の利点は、タイトル、作者、音楽ジャンル、などから見つけたいソング・ファイルの検索が簡単にできることです。



本機のパワフルな仕様を使うことができるように、音、機能、使いやすさなどをすべてを、RX Technology というコンセプトに基づいて設計されています。



本機には、リバース、ディレイ、コンプレッション、さらに 4 パートのボーカル・ハーモニーまでも搭載されています。オプション機能としては、ソフトウェア・アップグレード(SUG-TC1)により、ピッチ・コレクトやボーカル・モデリング機能が追加できます。全てのボーカル・エフェクトはボーカル・プロセス技術で著名な TC Helicon 社によるものです。



Solid State Disk (SSD、ソリッド・ステート・ディスク)は、本機の電源を切っても、オペレーティング・システムや全ての設定(サウンド、スタイル、パフォーマンス、など)を保持している、保護機能付きのデジタル・メモリーです。



クロスフェード・デュアル・シーケンサーです。本機にはシーケンサーが 2 基搭載されています。DJ スタイルのクロスフェーダーで、スムーズに 1 つのソングから別のソングへ切り替えたり、あるいは 1 つのソングを一時停止して別のソングに切り替え、また元に戻ってオリジナルのソングを終わらせたりといった使い方ができます。ライブ・パフォーマンスでは強い武器になります。



Object Portable Operating System (オブジェクト・ポータブル・オペレーティング・システム)により、本機のマルチタスク機能を実現します。例えば、1 つのシーケンサーが再生している間に、ファイルをフロッピーから別のシーケンサーにロードしたりすることができます。



General MIDI (GM) は、異なるメーカーの GM 互換機との間で、サウンドとメッセージの互換性を確保するための規格です。例えば、GM 規格の製品で作られ、GM 形式で保存されたシーケンス・ソングは、本機で正しくプレイできます。

インターフェイスの基本

タッチビュー・カラー・グラフィック・ユーザー・インターフェイス

本機には、コルグ独自で開発したカラー・タッチビュー・インターフェイスを元にした、分かりやすいグラフィカルなユーザー・インターフェイスが使われています。

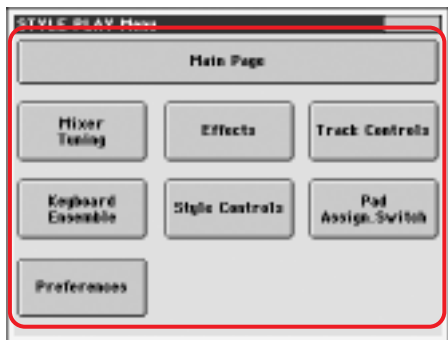
ページ

各パラメーターは、ページごとにグループ化されています。LCD画面下部にあるタブを押すと、より詳細に設定することのできるタブ・ページが表示されます。



メニューとセクション

各ページはセクションごとにグループ化されています。[MENU]キーを押すとEditメニュー画面が現れ、LCD画面上のボタンを押すと、ページが表示されます。



オーバーラップ・ウィンドウ

サウンドやスタイル、ソング名のボタンを押すと、現在のページの上に、ウィンドウ(リスト)がオーバーラップして表示されます。ウィンドウでボタンを押すか、[EXIT]キーを押すと、ウィンドウが閉じて、隠れていた下のページが表示されます。



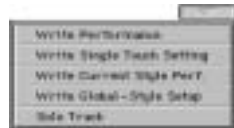
ダイアログ・ボックス

オーバーラップ・ウィンドウと同じように、現在のページの上にダイアログ・ボックスがオーバーラップして表示されます。ダイアログ・ボックスの指示に従ってボタンを押すと、ダイアログ・ボックスは閉じます。



ページ・メニュー・コマンド

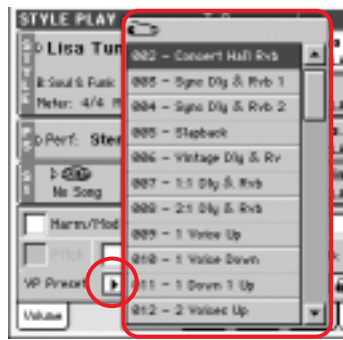
各ページの右上の隅にあるアイコンを押すと、現在のページに関するページ・メニュー・コマンドが表示されます。そこから派間メーターを選択する(押す)と、ページ・メニュー・コマンドが閉じます。または、画面の他の部分(例えば、ページ・メニュー・コマンドの外側)を押しても、ページ・メニュー・コマンドは閉じます。



ポップアップ・メニュー

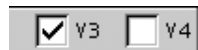
パラメーター名の横に矢印が表示されたときは、それを押すと、ポップアップ・メニューが表示されます。そこからパラメーターを選択する(押す)と、ポップアップ・メニューが閉じます。または、画面の他の部分(例えば、ポップアップ・メニューの外側)を押しても、ポップアップ・メニューは閉じます。

ピンの表示を押すと、ピンが閉じた状態になり、ポップアップ・メニューは表示されたままの状態になります。もう一度ピンの表示を押すと、ピンが開いた状態になり、ポップアップ・メニューが閉じます。



チェック・ボックス

これは、オンとオフのスイッチ・ボタンです。このボックスを押してチェックを付けるとオン、チェックを外すとオフです。



数値フィールド

数値に下線が表示されているときは、それをもう一度押すと、数字入力パッドが表示されます。

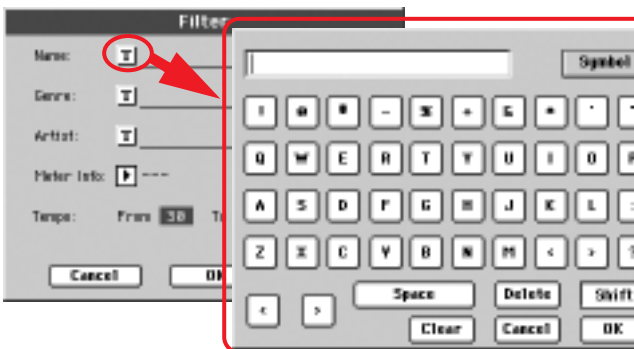


文字フィールド

文字部分に下線が表示されているときは、それをもう一度押すと、選択肢のリストが表示されます。

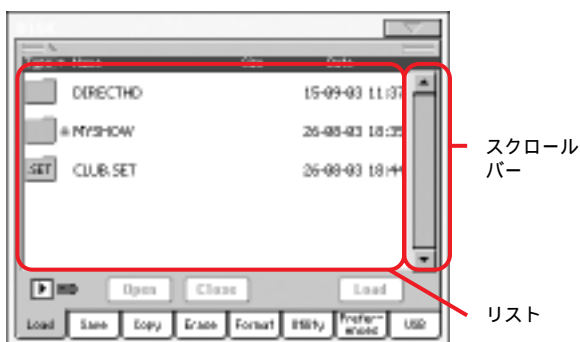
テキスト・エディット・ボタン

名前の横に、**T** (テキスト・エディット) ボタンがあるときは、それを押して Text Edit ウィンドウを表示させ、名前を入力したり変更したりします。



リストとスクロールバー

ディスクのファイルやその他のデータは、リストで表示されます。スクロールバーを使ってスクロールし、リストの内容を確認することができます。



アイコン

ファイル、ソング、フォルダーの認識用に、いろいろなアイコンが用意されています。

モード

本機のページは、機能によっていろいろなモードに分類されています。それぞれのモードにアクセスするときは、コントロール・パネルの [MODE] セクションで対応するキーを押します。

モードの中でも Global (グローバル) モード、Disk (ディスク) モード、SongBook (ソングブック) モードの 3 つは特別です。他のモードを選択していても、それらのモードがアクティブなまま、上記の 3 つのモードを呼び出し、エディットすることができます。

ハイライト表示のパラメーター

パラメーター、データ、またはリストに対し、何か操作や変更をする場合、まずは対象とするパラメーター、または項目を選択し、ハイライト表示させます。

J = 71

反転表示のパラメーター

パラメーターやコマンドが無効になっている場合は、グレーに反転表示されます。このパラメータやコマンドは選択できない(エディットできない)ことを意味します。

設定によって関係しないパラメーターがあるときに、このような反転表示に変わります。



Paa1

professional
arranger



Paa1

professional
arranger



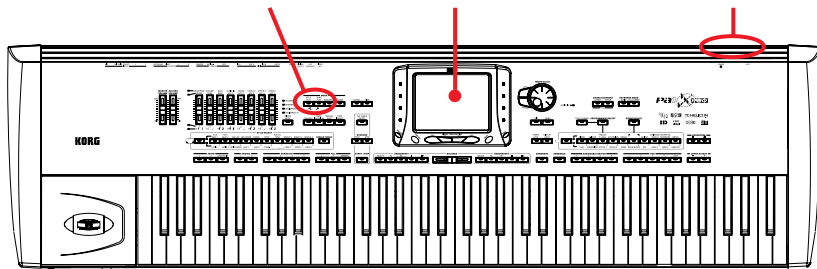
PRO

Quick Guide

電源を入れてデモ演奏を聴く

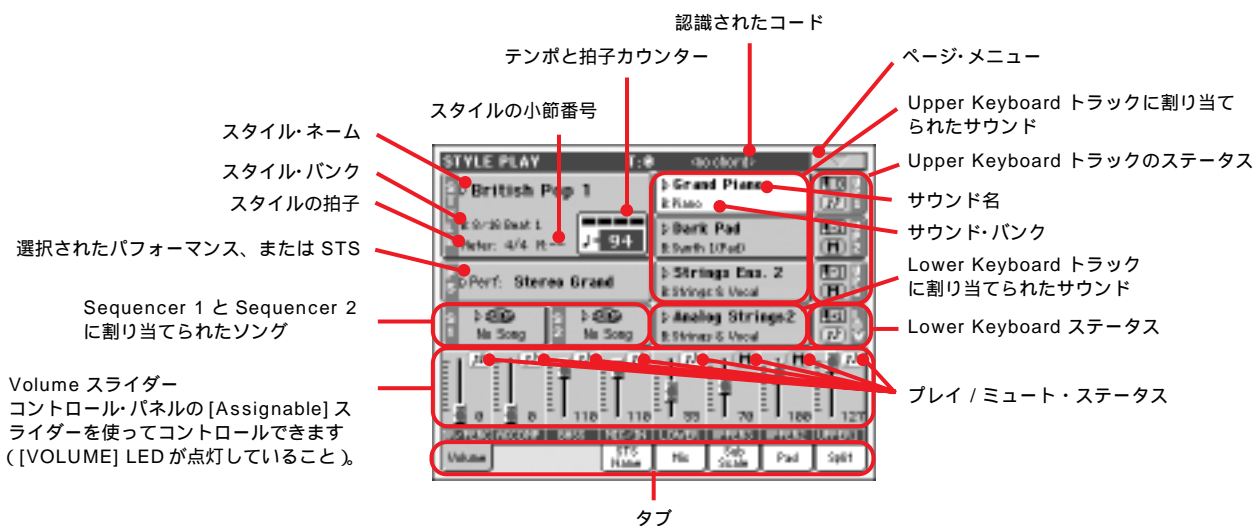
まず先に、本機の電源を入れ、メイン・ページを見てみましょう。デモ・ソングの演奏も聴いてみましょう。

[STYLE PLAY] キー、[SONG PLAY] キー LCD 画面 [POWER] スイッチ



電源を入れてメイン・ページを見る

- 1 リア・パネルにある [POWER] スイッチを押して、本機の電源を入れます。
電源を入れると初期画面が数秒間表示され、その Style Play (スタイル・プレイ) モードに入ります。
下記のようなメイン・ページが表示されます。



デモ・ソングを再生する

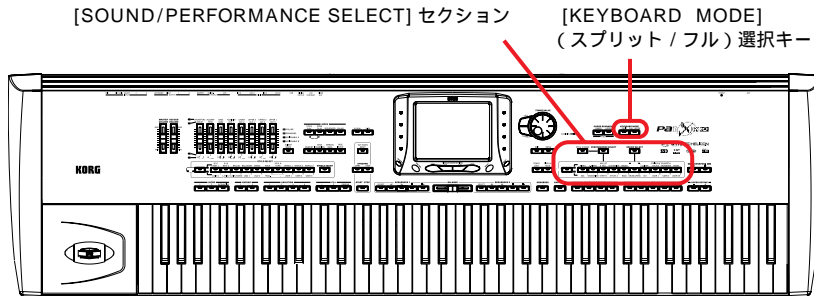
本機の音楽表現力を知って頂くための、さまざまなデモ・ソングが収められています。

- 1 デモ・ページを開くときは、フロント・パネルで [STYLE PLAY] と [SONG PLAY] の2つのキーを一緒に押します。
デモ・ページに入り、しばらくすると自動的にデモ・ソングが再生されます。
- 2 または、ディスプレイに表示される Solo Instruments、Styles、Full Songs のいずれかのボタンを押しても、それぞれのデモ・ソングを楽しむことができます。
例えば、Styles ボタンを押してスタイルのデモを聞いてみましょう。
Styles ボタンを押すと、デモの一覧が表示されます。聞きたいスタイル・デモを押すと、演奏が始まります。元の画面に戻るときは、フロント・パネルの [EXIT] キーを押します。
- 3 デモ・ページから抜けるときは、フロント・パネルにある [STYLE PLAY] ~ [SOUND] のいずれか1つのキーを押します。

サウンドをプレイする

キーボードでは、同時に最大 3 つのサウンドを演奏することができます。

キーボードをスプリットして 2 つのパートに分けると、最大 3 つのサウンドを右手 (Upper) で、1 つのサウンドを左手 (Lower) で演奏することができます。



サウンドを選択して鍵盤で演奏する

- 1 [STYLE PLAY] キーを押して、Style Play モードに入ります。
- 2 Upper 1 トラックが選択され、プレイできることを確認します。



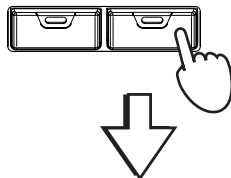
選択されたトラックは白地で表示されません。ここでは、Upper 1 トラックが選択されています。選択されていないときは、ここを一度押して Upper 1 トラックを選択します。

ステータス・アイコンが Upper 1 トラックがプレイできることを表します。ミュートに設定されているときは、ステータス・アイコンを押してミュートをキャンセルしてプレイできるようにします。

i Note: Upper 2, Upper 3 トラックがミュートされ、プレイ状態ではないことを確認してください。
2 つ以上のサウンドが聞こえる場合は、25 ページ、「同時に複数のサウンドをプレイする」手順 1 を参照ください。

- 3 全鍵盤で同じサウンドを使って演奏するときは、まず、キーボードが FULL UPPER モードになっていることを確認してください。2 つのパートにスプリットされているときは、フロントパネルの [KEYBOARD MODE] セクションで、[FULL UPPER] キーを押してフル・アップパーにしてください。
これで、UPPER トラックのサウンドで演奏可能になります。

KEYBOARD MODE
SPLIT FULL UPPER



24 サウンドをプレイする

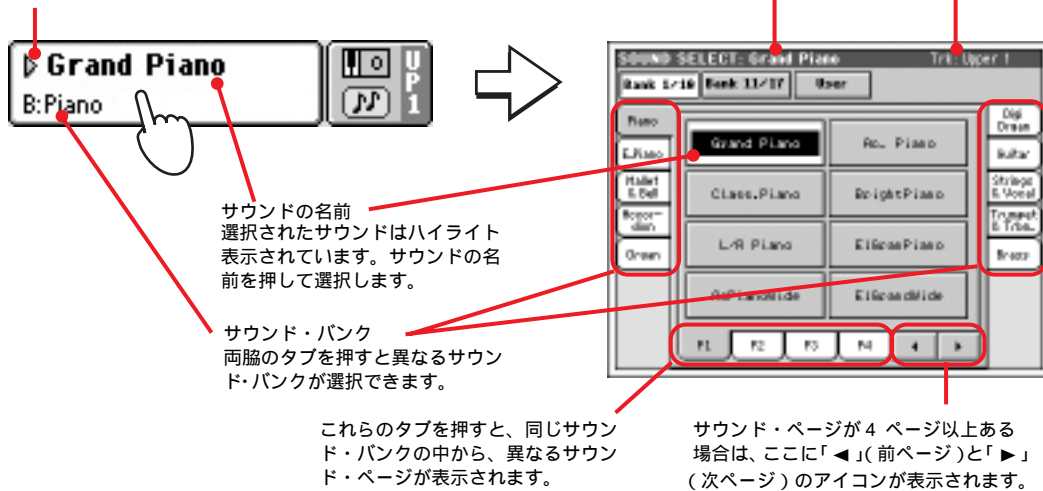
サウンドを選択して鍵盤で演奏する

4 下図のようにLCD画面のUpper 1トラックの欄を押してSOUND SELECTウィンドウを開きます。

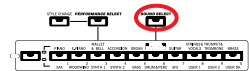
三角マークは、この名前を押すと選択ウィンドウが表示される示します。

ページ・ヘッダーにも現在選択されているサウンドが表示されます。

選択されたサウンドを割り当てるトラック



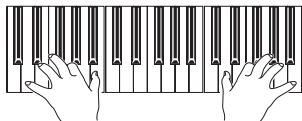
i Note : [SOUND SELECT] キーのLEDが点灯しているときは、[PERFORMANCE / SOUND SELECT] セクションのいずれかのキーを押して、SOUND SELECTウィンドウを開くこともできます。この方法では、任意のサウンド・バンクに直接ジャンプできます。



5 SOUND SELECT ウィンドウでサウンドを選択します。



6 キーボードを演奏します。

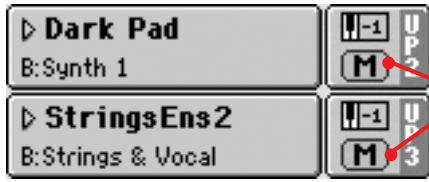


i Note : サウンド選択後も、SOUND SELECT ウィンドウを表示しておくことができます。[DISPLAY HOLD]キーを押し、そのLEDを点灯させます。



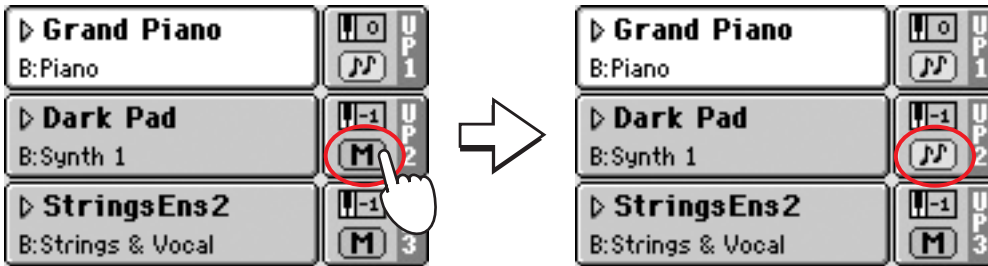
同時に複数のサウンドをプレイする

異なる 3 つのサウンドを Upper トラックに重ねて演奏することができます。

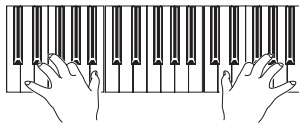


「M」(ミュート)アイコンが Upper 2、Upper 3 のステータス・ボックスに表示されることに注意してください。これらのトラックは聞こえません。

- 1 Upper 2 のステータス・ボックスの **M** (ミュート) アイコンを押して、Upper 2 トラックをプレイに設定します。

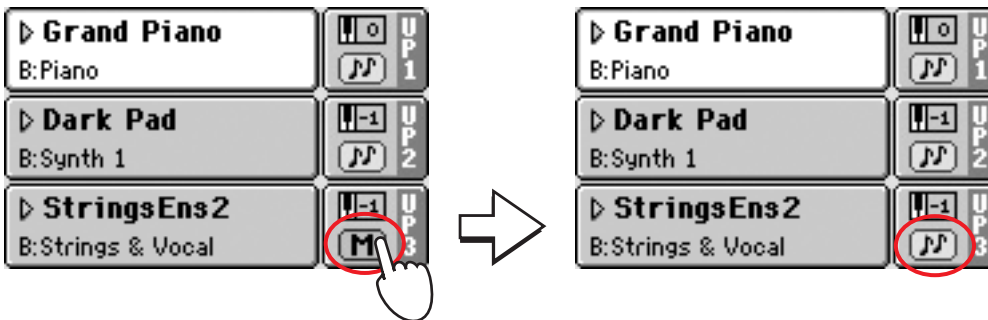


- 2 キーボードを演奏します。

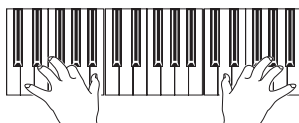


“Dark Pad” のサウンド (Upper 2 トラックに割り当てられている) が “Grand Piano” のサウンド (Upper 1 トラックに割り当てられている) に重なってプレイされます。

- 3 Upper 3 のステータス・ボックスの **M** (ミュート) アイコンを押して、Upper 3 トラックをプレイに設定します。




- 4 キーボードを演奏します。

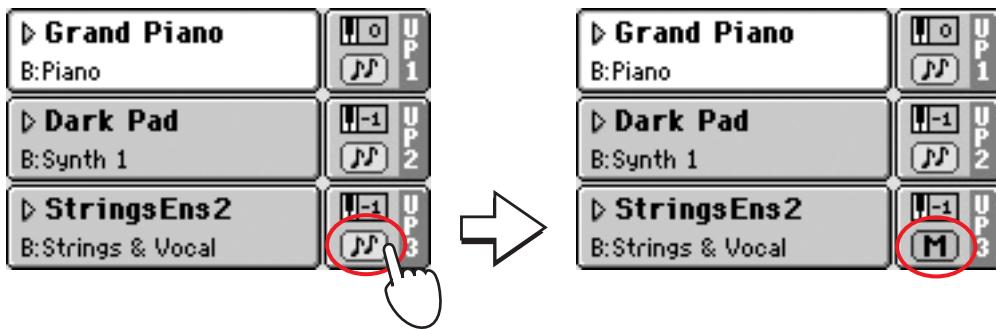


“StringsEns2” のサウンド (Upper 3 に割り当てられている) が、“Dark Pad” のサウンド (Upper 2 トラックに割り当てられている) と “Grand Piano” のサウンド (Upper 1 トラックに割り当てられている) に重なってプレイされます。

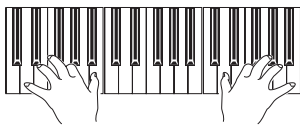
26 | サウンドをプレイする

同時に複数のサウンドをプレイする


- 5 Upper 3 のステータス・ボックスの  (プレイ)アイコンを押して、再度 Upper 3 トラックをミュートに設定します。

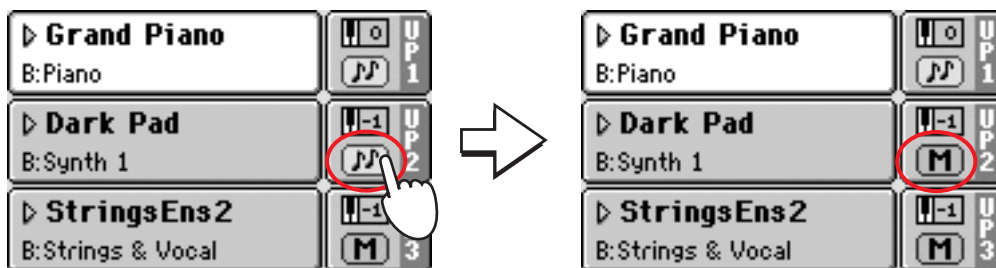


- 6 キーボードを演奏します。

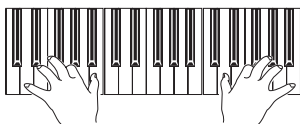


“StringsEns2” のサウンド (Upper 3 に割り当てられている) がミュートされ、Upper 1、Upper 2 トラックだけが聞こえます。

- 7 Upper 2 のステータス・ボックスの  (プレイ)アイコンを押して、再度 Upper 2 トラックをミュートに設定します。



- 8 キーボードを演奏します。

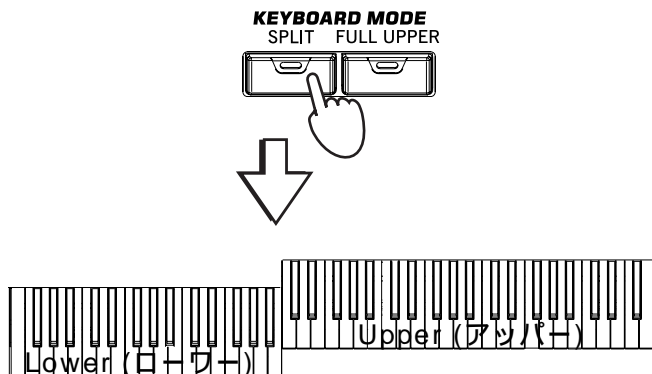


“Dark Pad” のサウンド (Upper 2 トラックに割り当てられている) がミュートされ、Upper 1 トラックだけが聞こえます。

右手と左手で異なったサウンドをプレイする

右手でプレイする最大 3 つのサウンドに加えて、左手で 1 つのサウンドをプレイできます。

- 1 コントロール・パネルの [KEYBOARD MODE] セクションの [SPLIT] キーを押し、キーボードを Lower (左手) と Upper (右手) のパートに分けます。

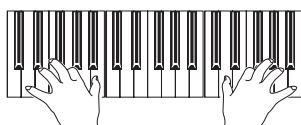


- 2 Lowerトラックをプレイに設定します。

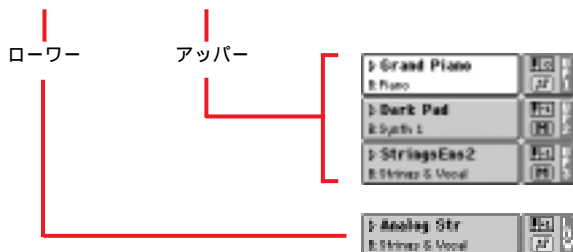


Lower (ローワー)トラックがミュートされているときは、ステータス・アイコンを押してプレイ・アイコンを表示させます。

- 3 キーボードを演奏します。

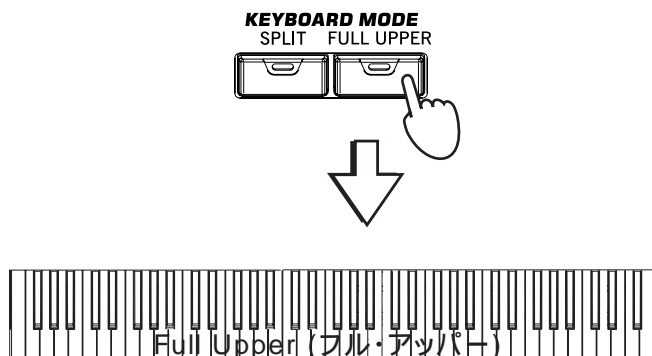


キーボードが 2 つのパートにスプリットされ、それぞれで異なったサウンドをプレイできます。



i Hint : Upper 1 トラックと同じような方法で Lower パートに異なるサウンドを選択できます。25 ページの「同時に複数のサウンドをプレイする」を参照ください。

- 4 コントロール・パネルの [KEYBOARD MODE] セクションの [FULL UPPER] キーを押して、フル・アッパーの設定に戻します。



5 キーボードを演奏します。



キーボード全体で Upperトラックのサウンドをプレイできます。

アッパー



スプリット・ポイントを変更する

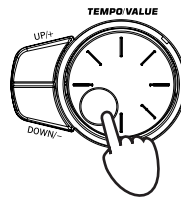
選択したスプリット・ポイントに満足できないときは、スプリット・ポイントを鍵盤上に設定できます。

1 “ Split ” タブを押してスプリット・ポイント・パネルを表示させます。

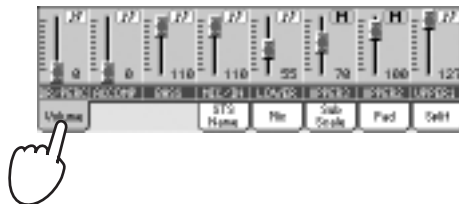


2 LCD 画面でキーボードの表示を押します。

“ Press a key to set Split Point ”、“ EXIT to abort ” と LCD 画面に表示されます。
このとき、キーボードで 1 つの鍵盤を押すと、その位置がスプリット・ポイントとして設定されます。
または、下記の “ Split Point ” パラメーター・ボタンを押し、ダイヤルを使って新しいスプリット・ポイントを選択します。



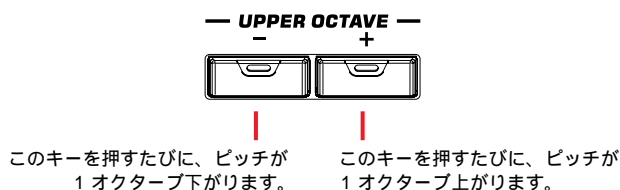
3 “ Volume ” タブを押して Volume タブ・ページに戻ります。



Upperトラックをオクターブ上げる、または下げる

Upperトラックのサウンドが高すぎる、または低すぎる場合は、音程をオクターブすばやく上下することができます。

- 1 コントロールパネルの [UPPER OCTAVE] キーを使って、全ての Upperトラックを同時にトランスポーズさせます。



- 2 両方の [UPPER OCTAVE] キーの [-] と [+] を同時に押すと、オクターブのトランスポーズがリセットされます。

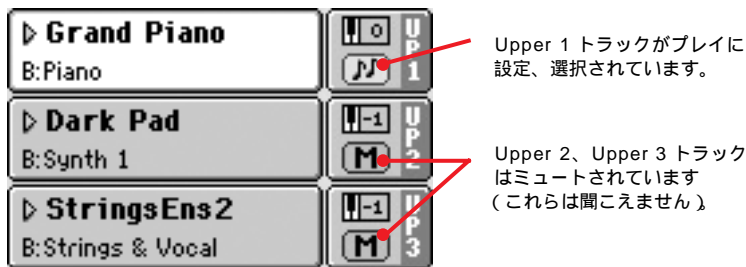
Note: 各 Upperトラックのオクターブ・トランスポーズの値はトラックのステータス・ボックスに表示されます。



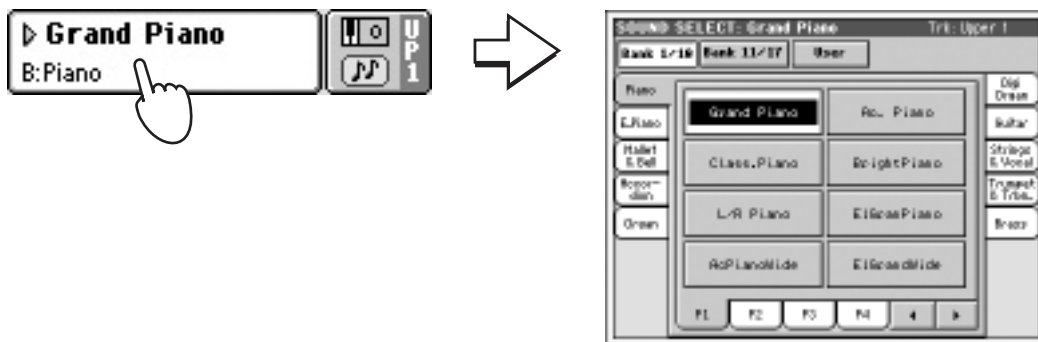
デジタル・ドロバー

本機には特別なサウンドとして “ Digital Drawbars ” があります。このサウンドは、クラシックなトーンホイール・オルガンをシミュレートしています。本機の Assignable スライダーを使って各ドロバーの調節ができ、その設定をパフォーマンスとして保存できます。33 ページの「設定をパフォーマンスに保存する」を参照ください。

- 1 Upper 1トラック以外のトラックをミュートし、Upper 1トラックを選択します。



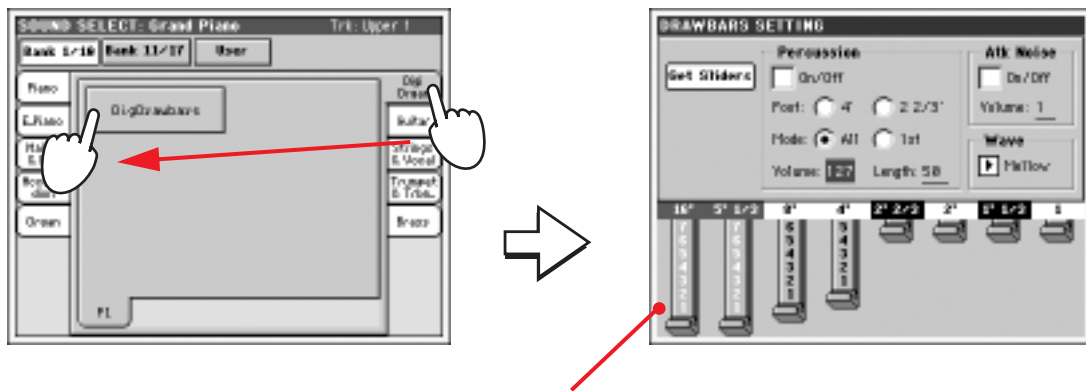
- 2 サウンド・ネームを押して、SOUND SELECT ウィンドウを開きます。



Note: [SOUND SELECT] キーの LED が点灯しているときに、[PERFORMANCE/SOUND] セクションの [DIGITAL DRAWBARS] キーを押しても、“ Digital Drawbars ” サウンドは選択できません。

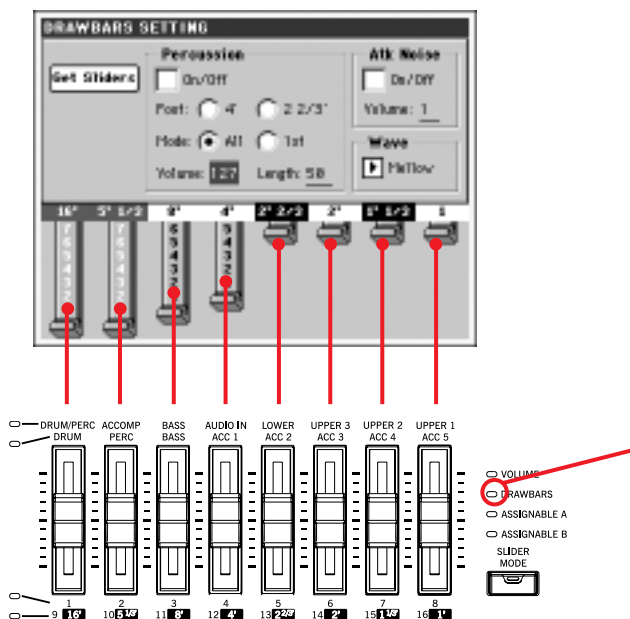


3 “Digi Organ” バンクを選択し、“DigDrawbars” サウンドを選びます。



Digital Organ サウンドを選択すると、DRAWBARS SETTING ウィンドウが表示されます。

4 LCD画面にDRAWBARS SETTING ウィンドウが表示されると、Assignable スライダーはオルガンのドロバーとして機能します（スライダーの [DRAWBARS] の LED が点灯）。Assignable スライダーを動かして、ドロバー設定を変更します。



Assignable スライダーを使って Digital Drawbar Organ Setting を変更するときは、[DRAWBARS] の LED が点灯している必要があります。[SLIDER MODE] キーを押してそれを点灯させます。

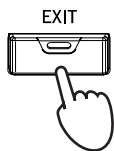
i Note : Assignable スライダーを使ってサウンドを変更するのに、Digital Drawbars ページを表示している必要はありません。Drawbar Organ が Keyboardトラックに割り当てられ、[DRAWBARS] の LED が点灯していれば、メイン・ページでもサウンドを変更することができます。

5 このウィンドウで異なるパラメーターを選択して設定を変更し、それぞれの設定がサウンドにどのように影響するかを確認します。

6 お好みの設定が見つかったら、設定をパフォーマンスに保存することをお勧めします。保存方法は、33 ページの「設定をパフォーマンスに保存する」を参照ください。Digital Drawbar Organ サウンドは 1 つだけです。オリジナルのドロバー設定が完成したときは、その設定をパフォーマンスとして保存し、その後パフォーマンスを呼び出すことで、ドロバー設定の異なる Digital Drawbar Organ を使用できるようになります。

i Hint : Assignable スライダーを使ってドロバーの値を変更する代わりに、LCD 画面のドロバーを押して、[TEMPO/VALUE] コントロールで変更することもできます。

7 [EXIT] キーを押してメイン・ページに戻ります。



パフォーマンスを選んで保存する

パフォーマンスは本機の音楽的な中核となるものです。1つのサウンドを選ぶのとは違って、パフォーマンスを選ぶと、同時にいくつかのサウンドが呼び出され、それらのエフェクトやトランスポーズ、適切なボイス・プロセッサのプリセット、パッドの音、シーケンス、キーボード、その他演奏される音楽に必要なたくさんのパラメーターが呼び出されます。

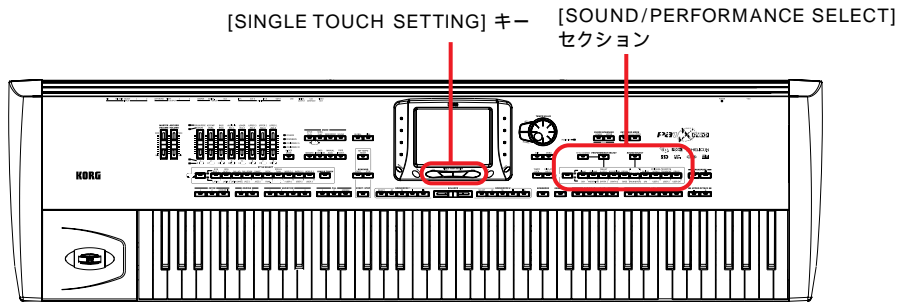
パフォーマンスには、リアルタイム演奏に関する全てのコントロール・パネルの設定を保存することができます (Digital Drawbar Organ 設定を含む)。本機には既に多数のパフォーマンスが用意されていますが、それぞれをお好みに合わせてカスタマイズし、保存することができます。

パフォーマンスと同じように、それらの設定を STS (Single Touch Setting) として保存することもできます。STS にはキーボード・トラックの全ての設定が保存できます。各スタイルや SongBook は 4 つの STS 設定を持つことができ、LCD 画面下の 4 個の専用キーで瞬時にそれらを選ぶことができます。

パフォーマンスには、その音色に合ったスタイル・ナンバーを 1 つ記憶させることができます。このスタイル・ナンバーは、[STYLE CHANGE] キーがオンのときにパフォーマンスをセレクトすると同時に、そのスタイルが呼び出されます。

スタイル・トラックについては、Style Performance (スタイル・パフォーマンス) という別の形で保存することができます。

本機の電源をオンにしたときは、Performance 1 に保存した設定が自動的に選択されるため、スタートアップ時に使いたい設定は Performance 1 に保存することをお勧めします。



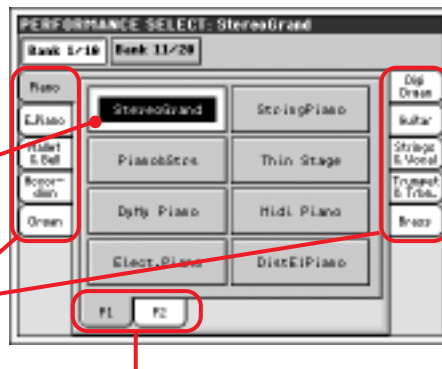
パフォーマンスを選ぶ

- 1 LCD 画面の PSC (パフォーマンス) 欄を押して PERFORMANCE SELECT ウィンドウを開きます。



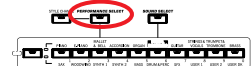
選択されたパフォーマンスはハイライト表示されます。パフォーマンスの名前を押して選択します。

両脇のタブを押すと異なるパフォーマンス・バンクが選択できます。

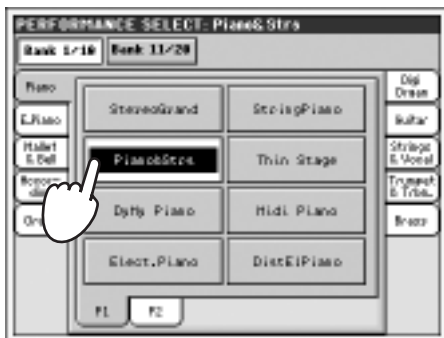


これらのタブを押すと、同じパフォーマンス・バンクの中から、異なるパフォーマンス・ページが表示されます。

i Note : [PERFORMANCE SELECT] キーの LED が点灯しているときは、[SOUND/PERFORMANCE SELECT] セクションのキーを押して PERFORMANCE SELECT ウィンドウを開くこともできます。この方法では、任意のパフォーマンス・バンクに直接ジャンプできます。



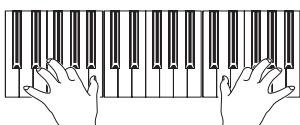
2 PERFORMANCE SELECT ウィンドウでパフォーマンスを選択します。



PERFORMANCE SELECT ウィンドウが閉じ、メイン・ページが再度表示されます ([DISPLAY HOLD] のLEDが消灯のとき)。サウンド、エフェクト、その他の設定は、選択されたパフォーマンスに保存されている設定に変更されます。



3 キーボードでサウンドをプレイします。



選択されたパフォーマンスに保存されている設定が使用されています。サウンド、エフェクト、その他の設定は、選択されています。

Note : STYLE CHANGE 
[STYLE CHANGE]

キーのLEDが点灯しているときは、パフォーマンスを選択すると、異なるスタイルとその設定(スタイル・トラックのサウンド、エフェクト、Drawbar 設定)を自動的に選択します。

設定をパフォーマンスに保存する

1 ページ・メニュー・アイコンを押して、ページ・メニューを開きます。

ページ・メニュー・アイコン



ページ・メニュー

34 パフォーマンスを選んで保存する 設定をパフォーマンスに保存する

- 2 “Write Performance”コマンドを選択してWrite Performance ダイアログ・ボックスを開きます。

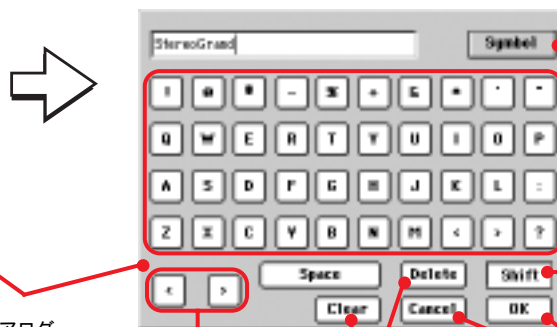


メニューから Write Performance の選択後、Write Performance ダイアログ・ボックスが表示されます。

- 3 必要に応じてパフォーマンスに名前を付けます。



“T” ボタンを押してテキスト編集ダイアログ・ボックスを開きます。



“Symbol” ボタンを押して特殊文字を入力します。

アルファベット文字でテキストを入力します。

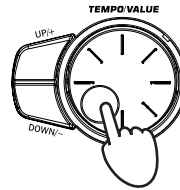
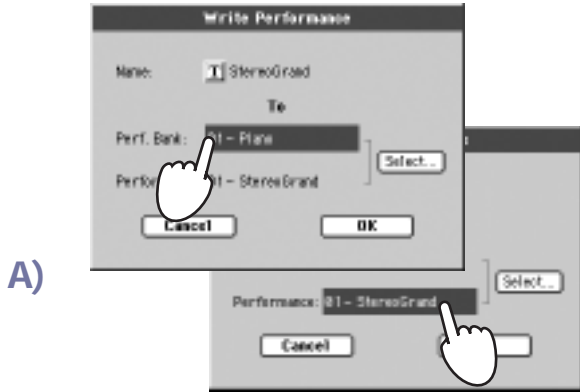
大文字、小文字を切り替えます。

“<” “>” ボタンを使ってカーソルを左右に移動します。

“Clear” ボタンを押すと、全ての文字が削除されます。
“Delete” ボタンを押すと、カーソルの左の 1 文字が削除されます。

入力が終わったら、“OK” ボタンを押して新しい名前を確定するか、“Cancel” ボタンを押して変更を中止します。

4 パフォーマンスを保存するメモリー上のバンクとパフォーマンスを選択します。



保存するバンクとパフォーマンスの選択は、BankとPerformanceパラメーターを選択し、[TEMPO/VALUE] セクションのダイヤル、キーを使います。

または、



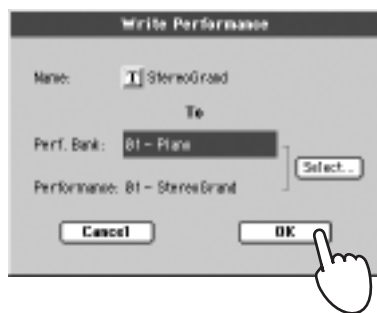
選択されたパフォーマンスはハイライト表示されています。パフォーマンスの名前を押して選択します。

Note : パフォーマンスは、「空」のPerformanceにも保存できます。「空」の場所には、データは何も保存されていません。

両脇のタブを押して異なるパフォーマンス・バンクを選択します。

ここのタブを押すと異なるパフォーマンス・ページが選択できます。

5 パフォーマンスの名前を変更して保存先を選択したら、“OK”ボタンを押してパフォーマンスをメモリーに保存します。(あるいは“Cancel”ボタンで中止します)。



Warning : パフォーマンスの保存先に、大切なデータが入っていないことを、あらかじめ確認しておくことをお勧めします。保存先に、既にデータが保存されている場合、保存を実行すると、前に保存されていたデータは上書きされてしまいます。

スタイルを選択して再生する

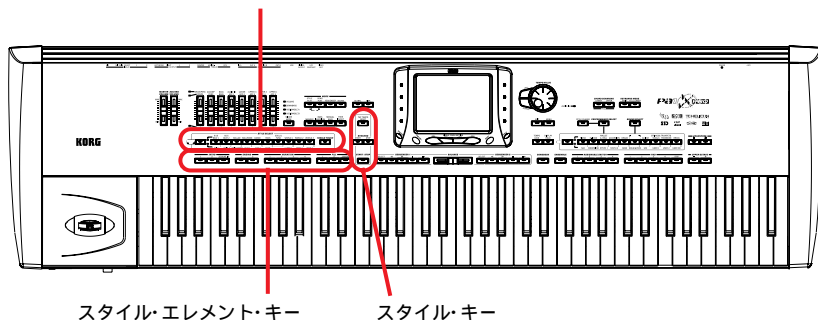
本機は、自動的に伴奏を付けることができる優れた楽器です。いろいろな伴奏のバックিং・パターンを持つことができます。このバックিং・パターンを、Style (スタイル) と呼びます。

スタイルには、曲のいろいろな部分に対応した、いくつかのスタイル・エレメント (イントロ、パリエーション、フィル、エンディングなどの要素) があります。スタイル・エレメントを選択することで、演奏に変化をつけ、より音楽的なものにすることができます。

スタイルを選択すると、スタイル・トラックの設定が保存された Style Performance が同時に選択されます。[SINGLE TOUCH] の LED が点灯しているときは、そのスタイルに設定されている初めの 4 つの STS (Single Touch Setting) 設定が選ばれ、キーボード・トラック、Pad キー、エフェクト、その他のパラメーターも自動的に設定されます。

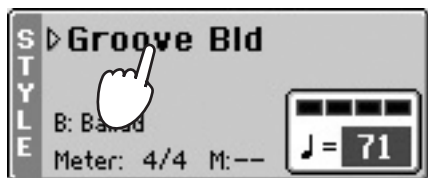
スタイル・キーを使ってスタイルをスタート、ストップします。

[STYLE SELECT] セクション



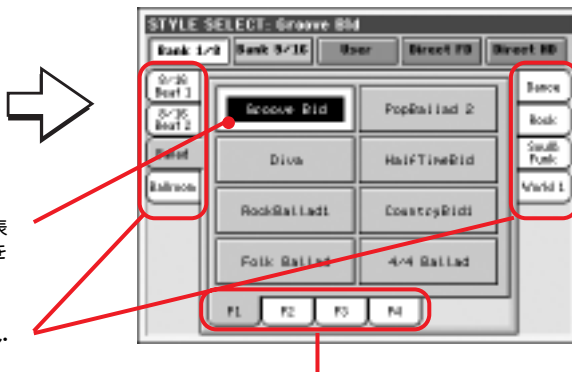
スタイルを選んで再生する

- 1 LCD 画面の STYLE (スタイル) 欄を押して STYLE SELECT ウィンドウを開きます。



選択されたスタイルはハイライト表示されています。スタイルの名前を押して選択します。

両脇のタブを押すと異なるスタイル・バンクが選択できます。



これらのタブを押すと、同じスタイル・バンクの中から異なるスタイル・ページが表示されます。

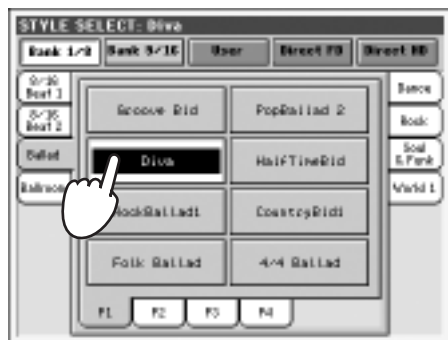
i Note: [STYLE SELECT] セクションのキーを押して STYLE SELECT ウィンドウを開くこともできます。この方法では、任意のスタイル・バンクに直接ジャンプできます。



i Note: Style 選択後も STYLE SELECT ウィンドウを表示しておくことができます。[DISPLAY HOLD] キーを押して、その LED を点灯させます。

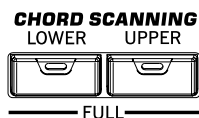


2 STYLE SELECT ウィンドウでスタイルを選択します。



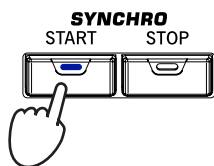
STYLE SELECT ウィンドウが閉じてメイン・ページが再表示され、選択したスタイルを再生することができます。

3 [CHORD SCANNING] のモードが選択されていることを確認します。

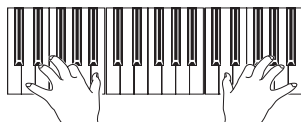


コード・スキャニングを動作させるときは、[LOWER]、[UPPER] キーの 2 個の LED のいずれかが点灯している必要があります。
 コードを認識する領域は、LED の状態によって以下のように変わります。
 LOWER の LED が点灯：コードは、スプリット・ポイントの左側で認識されます。
 UPPER の LED が点灯：コードは、スプリット・ポイントの右側で認識されます。
 両方の LED が点灯 (フル)：コードは、キーボード全体で認識されます。
 両方の LED が消灯 (オフ)：コードは認識されません。Drumトラックのみが聞こえます。

4 [SYNCHRO START] キーを押して LED を点滅させます。



5 キーボードを演奏します。



SYNCHRO START 機能がオンになっている場合、キーボードのコード認識領域で単音またはコードを弾くと、それと同時にスタイル再生が開始されます。スタイルに合わせて、左手でコードを、右手でメロディを弾くと、アレンジャーが自動的にプレイに追従します。

6 [START/STOP] キーを押して、スタイル再生をストップします。



① Note :スタイルの再生は [START/STOP] キーを押すと始まりますが、SYNCHRO START 機能を使うと、キーボードでのプレイに合わせてスタイルをスタートさせることができ、同期をとった演奏に都合のよい方法です。

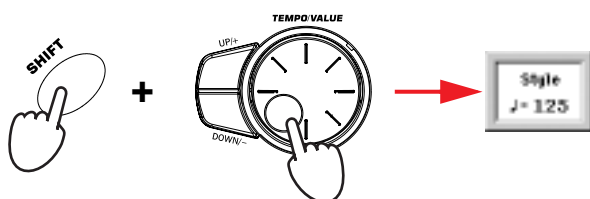
テンポ

テンポ設定は、スタイル、あるいはパフォーマンスのそれぞれに保存されていますが、自由にテンポ設定を変更することができます。次の2つの方法があります。

- テンポ・パラメーターを選択しているときに、[TEMPO/VALUE] ダイアル、キーを使って値を変更します。



- テンポ・パラメーターを選択していないときは、[SHIFT] キーを押しながらダイヤルを回して、値を変更します。選択されたテンポは小さなウィンドウに表示されます。

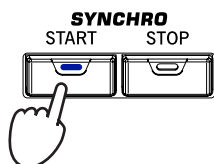


- 保存されているテンポを呼び出すときは、[UP/+] と [DOWN/-] キーを2つ同時に押します。

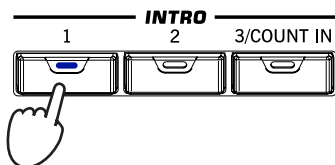
イントロ、フィル、パリエーション、エンディング

スタイルの再生中に、いろいろなスタイル・エレメントを選択して、より豊かなプレイができます。スタイルには、最大4つの基本パターン（パリエーション）、3つのイントロ（または2つのイントロとカウント・イン）、3つのフィル（または2つのフィルとブレーク）、それと2つのエンディングがあります。

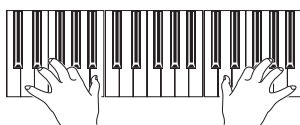
- [SYNCHRO START] のLED が点滅していることを確認します（消灯していたらキーを押して点灯させます）。



- [INTRO] キーのどれかを押し、イントロを再生するように設定します。

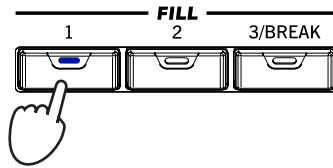


- キーボードを演奏します。



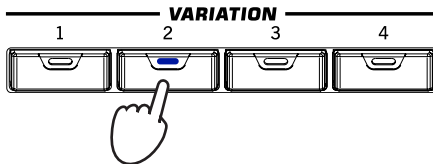
選択されたイントロで、スタイルが再生されます。イントロが終わると基本パターン（選択されたパリエーション）が再生されます。

- 4 再生中に、[FILL] キーのどれかを押し、フィルを選択します。



i Note:別のバリエーションを選択する前に必ずしもフィルを選択する必要はありませんが、フィルを選択すると、バリエーション間の移行がスムーズでより音楽的なものになります。

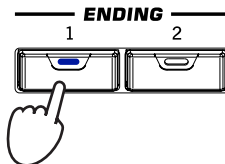
- 5 フィルが終了する前に、別の [VARIATION] キーを押し、基本パターンの異なるバリエーションを選択します。



フィルが終わると、選択されたバリエーション再生を始めます。

i Note:フィルが終わると自動的にバリエーションが呼び出されるため、フィルの再生中にバリエーション選択する必要はありません。

- 6 スタイル再生を停止するときは、[ENDING] キーのどれかを押し、選択したエンディングが再生されてスタイル再生は停止します。



エンディングが終わると、スタイル再生は自動的に停止します。

i Note:スタイルの再生中に、[START/STOP] キーを押すと、演奏が強制的に停止します。

スタイルの再生中に [START/STOP] キーを押すと、強制的に演奏が停止します。

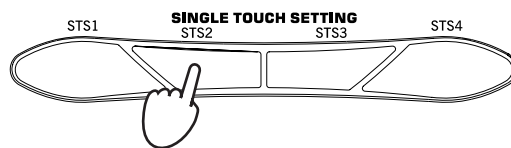
STS (シングル・タッチ・セッティング)

それぞれのスタイルや SongBook の収録曲には、最大で 4 つの STS (Single Touch Setting) と呼ばれるキーボード・トラック設定があります。

[SINGLE TOUCH] の LED が点灯しているときは、スタイルを選択すると STS 1 が自動的に選ばれます。STS 1 は SongBook 収録曲を選んだときにも呼び出されます。

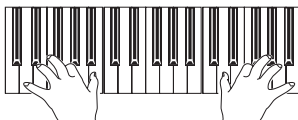
STS は、Style Play モードから Song Play モードに切り替えたときにも、ソングを聴きながら異なるキーボード・トラックの設定やボイス・プロセッサのプリセットを選択するのに使えます。

- 1 LCD 画面下の 4 個の [STS] キーのどれかを押しします。



i Note:STS はパフォーマンスと似ていますが、設定したスタイルに特化した設定です。

- 2 キーボードを演奏します。



選択した STS に保存された設定が選ばれています。サウンド、エフェクト、その他の設定が呼び出されています。

- 3 他の STS を選択して、設定がどのように変わるかを試みてください。

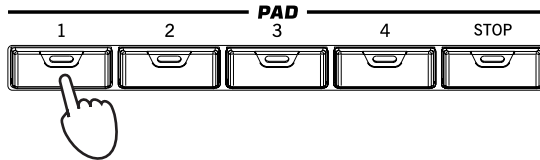
i Hint:“ STS Name ”タブを押すと、選択スタイルに設定された 4 つの STS の名前を見ることができます。

PAD

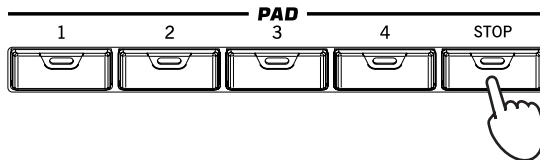
パフォーマンスや STS で、4 個の [PAD] キーにそれぞれ異なったサウンドを割り当てることができます。例えば、クラッシュ・シンバル、チャイムなどの効果音を割り当てておくと、PAD を押すだけで必要な効果音が得られます。

PAD のサウンドは、Style Play モード、Pad/Assign. Switch の “Pad” タブ・ページで音量、パンなどを設定することができます。これは、同モードやメイン・ページの “Pad” タブでも設定することができます。この設定は、パフォーマンス、あるいは STS に保存することができます。

- 1 4 個の [PAD] キーのうち、1 つを押します。



- 2 選択した PAD が、拍手のようにエンドレスなサウンドのときは、[STOP] キーを押して再生を停止します。



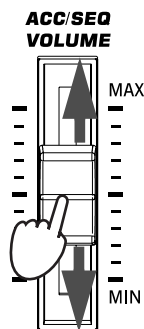
- 3 異なるパフォーマンスまたは STS を選び、各 [PAD] キーに割り当てられたサウンドを確認してください。

i Hint : “Pad” タブを押すと、選択されているパフォーマンスや STS で設定された 4 つの PAD のサウンドを見ることができます。

スタイルとキーボードの音量のバランスをとる

キーボード・トラックは通常の音量のまま、スタイル・トラックの音量を少しずつフェードするように調節すると効果的な場合があります。

- 1 スタイルの再生中に、[ACC/SEQ VOLUME] スライダーを使ってスタイルの音量を調節します。スライダーを動かしてもキーボード・トラックの音量は変わりません。



各トラックの音量を調節する

スタイル・トラックとキーボード・トラックの音量を調節することができます。

例えば、ベースを少し弱めにしたり、キーボードのソロを強調したりすることができます。

- [ASSIGNABLE] スライダーを使って ([VOLUME] LED が点灯したこと) 各キーボード・トラックやグループ化されたスタイル・トラックの音量を調節します。

ノーマル表示では、全てのスタイル・トラックは3つのグループ化されたトラックとして表示されます。

音量の調節は [VOLUME] の LED が点灯していることが必要です。消灯しているときは、[SLIDER MODE] キーを繰り返し押しして点灯させます。SLIDER MODE の設定状態は、それぞれのパフォーマンスに保存されます。

グループ化されたスタイル・トラックとキーボード・トラックの LED が点灯します。

- VOLUME
- DRAWBARS
- ASSIGNABLE A
- ASSIGNABLE B
- SLIDER MODE

- 各スタイル・トラックを個別に調節するときは、[TRK. SEL.] (TRACK SELECT、トラック・セレクト) キーを押してトラック表示を変更します。

スタイル表示では、全てのスタイル・トラックが個別に表示され、対応する [ASSIGNABLE] スライダーでコントロールできます。

個別のスタイル・トラックの LED が点灯します。

- VOLUME
- DRAWBARS
- ASSIGNABLE A
- ASSIGNABLE B
- SLIDER MODE

i Hint: 各トラックの音量を調節する別の方法として、コントロールするトラックを押して選択し、[TEMPO/VALUE] コントロールを使って音量を変更します。

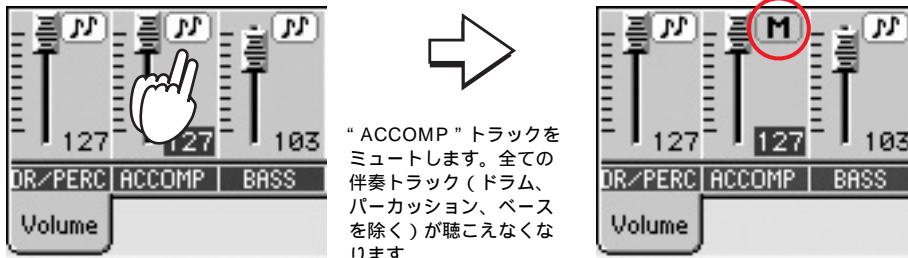
- ノーマル表示に戻るときは、[TRK. SEL.] キーをもう一度押します。[TRK. SEL.] の LED が消灯します。

スタイル・トラックをオン / オフにする

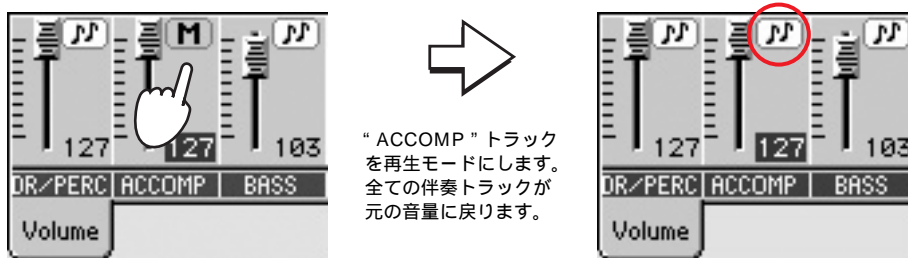
再生中に、スタイル・トラックのオンとオフを切り替えることができます。

以下の例は、ドラムとベースを継続再生させて、他の全ての伴奏トラックをミュートする場合です。

- 1 スタイル再生中に、“ ACCOMP ” トラック・チャンネル欄を押してトラックを選択し（音量の値がハイライト表示されます） もう一度押してトラックをミュートします。



- 2 トラックを元の再生状態に戻すときは、“ ACCOMP ” トラックのミュート・アイコンを押します。



- 3 各スタイル・トラックのミュートや再生を個別に設定するときは、まず [TRK. SEL.] キーを押します。スタイル・トラックが表示されますので、そこで設定します。

- 4 [TRK. SEL.] キーをもう一度押して、ノーマル表示に戻ります。
[TRK. SEL.] の LED が消灯します。

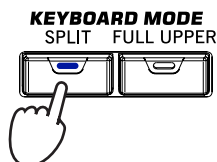
i Note : Style Play モードのノーマル表示では、スタイル・トラックは3つの複合トラックにグループ化されています。それぞれのスタイル・トラックを、個別のトラックとして見るときは、[TRK. SEL.] キーを押します。



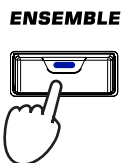
右手のメロディにコードを付加する（アンサンブル機能）

右手のメロディに、左手で弾いたコードを加えます。

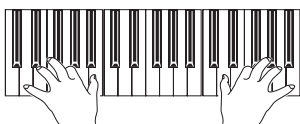
- 1 [KEYBOARD MODE] セクションの [SPLIT] キーを押します。
アンサンブル機能は、スプリット・モードのときのみ機能します。



2 [ENSEMBLE] キーを押して LED を点灯させます。



3 左手でコードを、右手で 1 音ずつをプレイします。



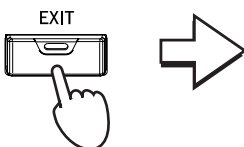
左手で弾いたコードに従って、右手の音に自動的にハーモニーが追加されます。

4 別のハーモニー・スタイルを選ぶときは、[SHIFT] キーを押しながら [ENSEMBLE] キーを押し、Ensemble ページを開きます。

別の方法としては、まず [MENU] キーを押します。次に LCD 画面で Keyboard Ensemble ボタンを押します。そして “Ensemble” タブを押します。



5 ハーモニー・タイプを選択したら、[EXIT] キーを押してメイン・ページに戻ります。



Edit ページでは、[EXIT] キーを押して現在のオペレーティング・モードのメイン・ページに戻ります。



6 [ENSEMBLE] キーをもう一度押すと、LED が消灯し、自動ハーモニーのアンサンブル機能がオフになります。



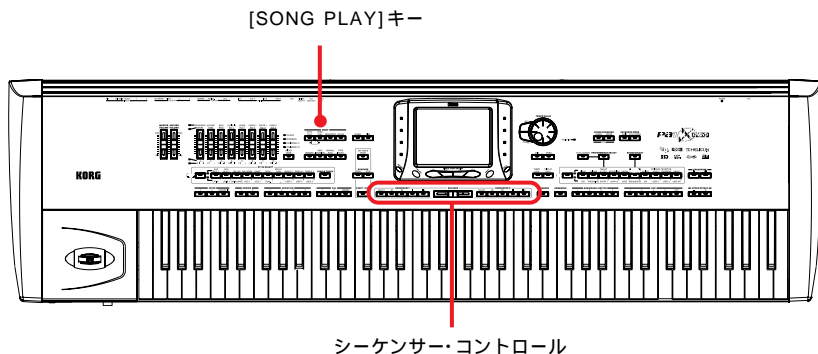
ソング・プレイ

本機にはシーケンサーが2基搭載されています。同時に2つのシーケンサーを再生し、異なるソングをミックスすることができます。ソングをディスクから直接読み込むので、再生時にメモリーにあらかじめロードする必要がありません。

本機は、SMF (Standard MIDI file)、KAR (Karaoke file) フォーマットのソングを読み込むことができます。

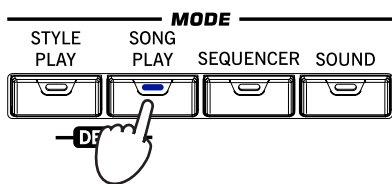
MIDIファイルに歌詞やコード表記が含まれている場合は、LCD画面に表示できるので歌手やギター・プレーヤーにとっては便利です。

Note : 日本語の歌詞は表示できませんのでご了承ください。



再生するソングを選ぶ

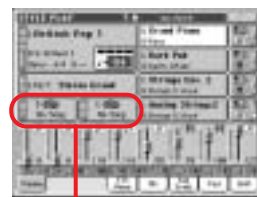
1 [SONG PLAY] キーを押して Song Play (ソング・プレイ) モードに入ります。



[SONG PLAY] キーを押すと、Song Play モードのメイン・ページが表示されます。

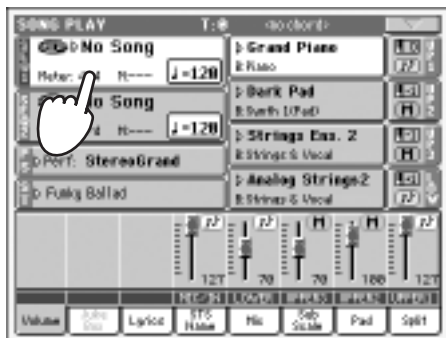


i Hint : Style Play モードで、2つのシーケンサーに割り当てるソングを選んでおくことができます。この場合、Song Playモードに切り替えるとすぐにソングのスタートをすることができます。



Style Playのメイン・ページのソング欄

2 LCD画面の“SEQ1”欄を押して、Song Selection ウィンドウを開きます。

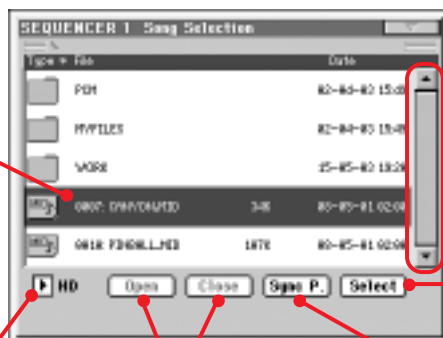


i Hint : 別の方法として、コントロール・パネルの SEQUENCER 1 セクションの [SELECT] キーを押して Song Selection ウィンドウを開きます。



3 リストをスクロールし、再生するソングを選択します。

選択されているソングは、ハイライト表示されます。またはソングの名前を押して、ハイライト表示にします。



スクロール・バーを使ってリスト内の全てのソングを閲覧します。または、ソングのどれかを1つ選びダイヤルを回しても、ソングが閲覧できます。

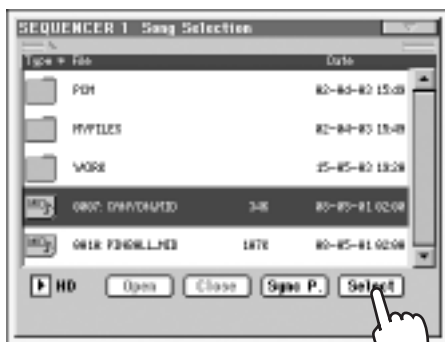
“Select” ボタンを押してハイライト表示のソングを選択、確定し、Sequencer 1 に割り当てます。

Device (デバイス) ポップアップ・メニューを使って、ストレージ・デバイス (フロッピー・ディスク、内蔵ハード・ディスク) を選択します。

“Open”、“Close” ボタンを使って、フォルダー内を閲覧できます。

“Sync P.” (シンク・パス) ボタンを使えば、選択したソングをもう一度見ることができます。

4 ソングを選んだあとは、“Select” ボタンを押して確定し、Song Selection ウィンドウを閉じます。



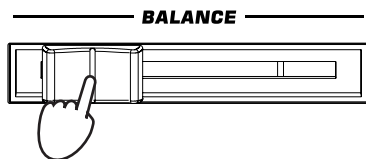
選択されたソング

LCD画面の“Select” ボタンを押すと、Song Play モードのメイン・ページが再表示されます。

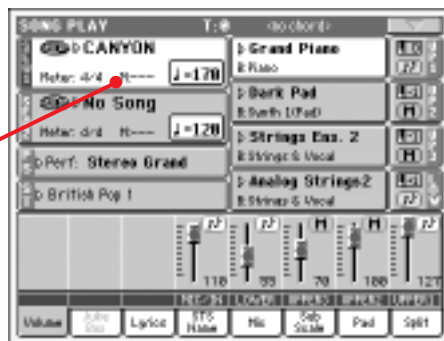
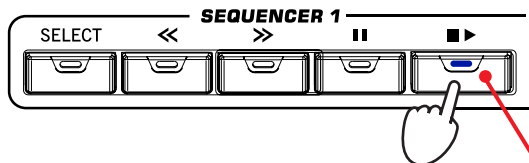
ソングを再生する

ソングを選んだら、シーケンサーで再生します。

- 1 [BALANCE] スライダーが左端 (Sequencer 1 側) であることを確認します。



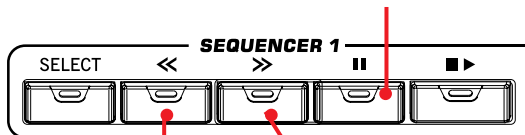
- 2 SEQUENCER 1 セクションの [■▶] キーを押すと再生が始まります。



[■▶] キーを押すとキーのLEDが点灯し、小節カウンターが現在の小節番号を表示します。

- 3 SEQUENCER 1 セクションのキーを使って、ソング再生をコントロールします。

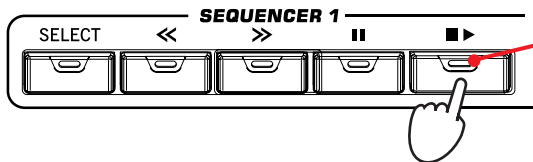
[||] (ポーズ) キーを押すと、ソングを現在位置で一時停止します。もう一度押すと (または [■▶] キーを押して)、ソングの再生を再開します。



[<<] (巻き戻し) キーを一度押すと、現在の小節の始めに戻ります。キーを押し続けると、小節単位で戻ります。

[>>] (早送り) キーを一度押すと、次の小節の始めに移動します。キーを押し続けると、小節単位で進みます。

- 4 ソング再生を停止して 1 小節目に戻るときは、[■▶] キーをもう一度押します。



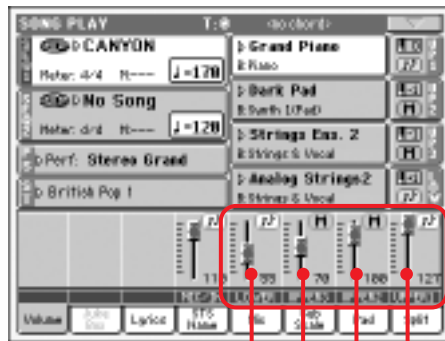
ソング再生を停止すると、[■▶] キーのLEDが消灯します。

i Note : シーケンサーは、ソングの最後で自動的に再生停止します。

トラックの音量を変更する

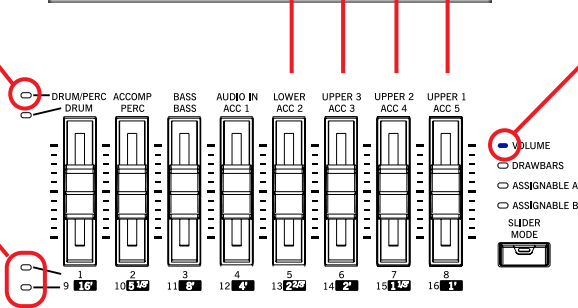
再生中に、各トラックの音量を調節してリアルタイムでミックスを作り上げます。

- 1 ノーマル表示で、[ASSIGNABLE] スライダーを使って、各キーボード・トラック（キーボードを演奏するとき）の音量を調節します。
[VOLUME] の LED が点灯していることを確認してください。



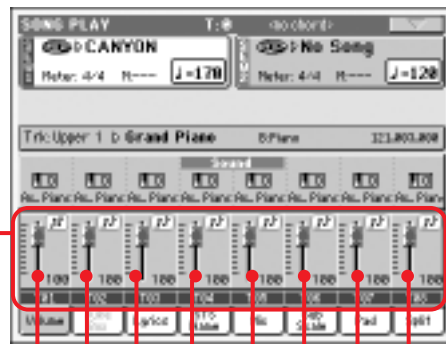
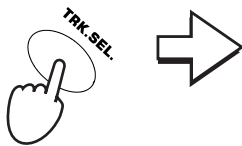
ノーマル表示
(キーボード・トラックを表示)では、この LED が点灯しています。

ノーマル表示
(キーボード・トラックを表示)では、両方の LED が消灯になります。



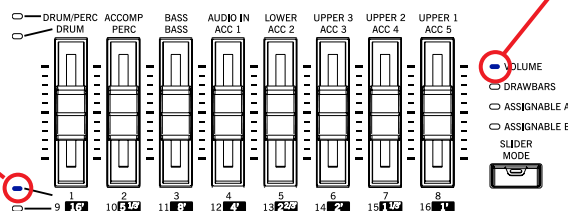
[VOLUME] LED の状態は、最後に選択したパフォーマンスの状態によります。必要に応じ、[SLIDER MODE] キーを繰り返し押します。

- 2 [TRK. SEL.] キーを一度押して、トラック 1 ~ 8 を表示します。



選択したソングの 1 ~ 8 トラックの設定が表示されます。対応する [ASSIGNABLE] スライダーで、音量をコントロールします。

トラック 1 ~ 8 の LED が点灯します。



[VOLUME] LED が点灯。

i Note : ソング・トラックへの設定は保存されず、[■▶] キーを押すたびにリセットされます。設定の保存は、ソングを Sequencer モードで編集操作して行います。

3 [TRK. SEL.] キーをもう一度押して、トラック 9 ~ 16 を表示します。

選択したソングの 9 ~ 16
トラックの音量設定が表示
されます。
対応する [ASSIGNABLE]
スライダーで、音量をコン
トロールします。

トラック 9 ~ 16 の
LED が点灯します。

[VOLUME] LED が
点灯。

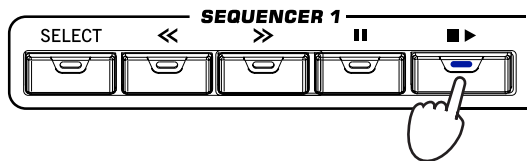
- VOLUME
- DRAWBARS
- ASSIGNABLE A
- ASSIGNABLE B
- SLIDER
MODE

i Hint : 各トラックの音量
調節は、LCD 画面でコント
ロールするトラック欄を押して
トラックを選択し、
[TEMPO/VALUE] ダイアル
を使ってできます。

4 [TRK. SEL.] キーをもう一度押して、ノーマル表示に戻します。

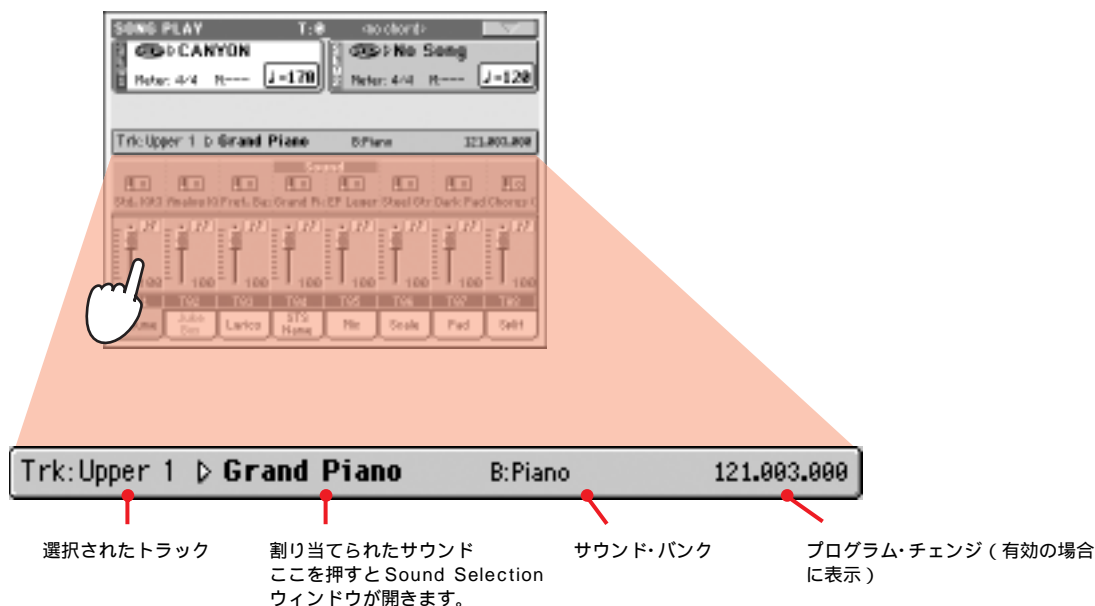
キーボード・トラック

5 [▶] キーを押して、ソングの再生を始めます。

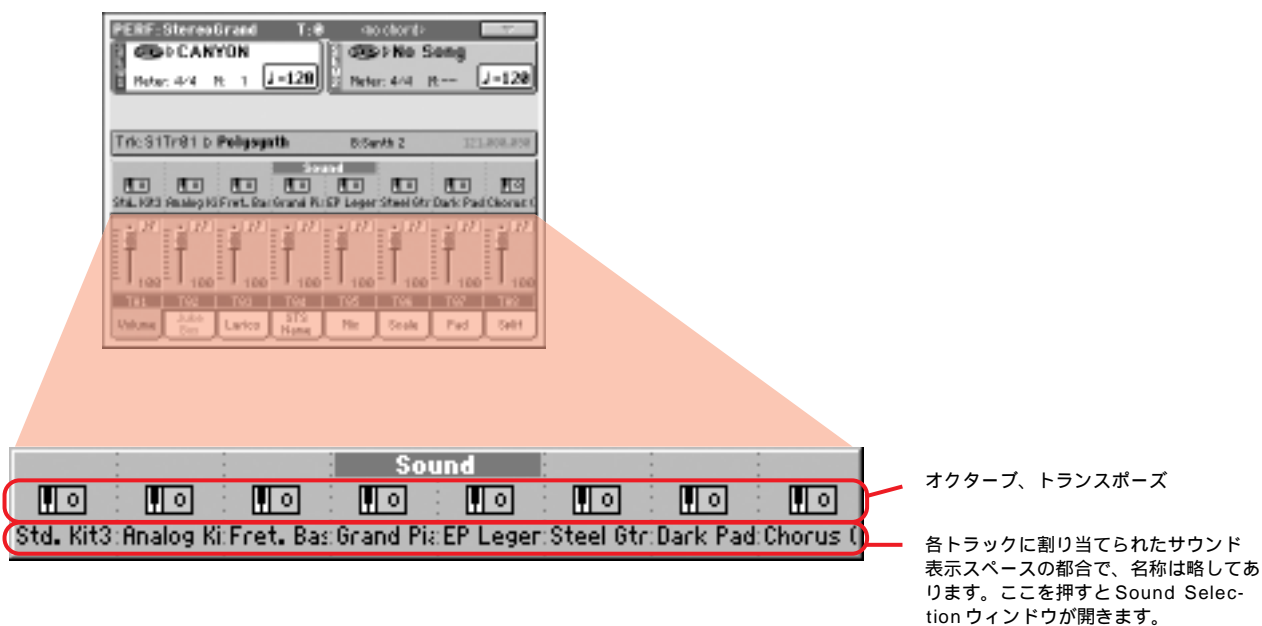


6 ソングを聴きながら、[TRK. SEL.]キーで表示モードを「ノーマル表示」、「トラック 1 ~ 8 表示」、「トラック 9 ~ 16 表示」と切り替えて、どのトラックが再生されているかを確認します。
各トラックにはサウンドが割り当てられているので、お聴きのサウンドの名前をご覧ください。

- ・ LCD 画面の各トラックのチャンネル欄を押すと、トラックの情報が、下記のように LCD 画面中央に表示されます。



- ・ トラック情報の下の Sound には、各トラックに割り当てられたサウンドとオクターブ、トランスポーズの情報が表示されます。



ソング・トラックをオン / オフにする

再生中のソングに合わせて歌ったり、インストルメンタルのパートの 1 つをキーボードで演奏したりするために、特定のトラックにミュートをかける場合があります。そのような場合にソング・トラックをオフにすることができます

ソング・トラックのミュート / 再生のコントロールの方法は、スタイル・トラックの場合と全く同じです。詳しくは、42 ページの「スタイル・トラックをオン / オフにする」を参照ください。

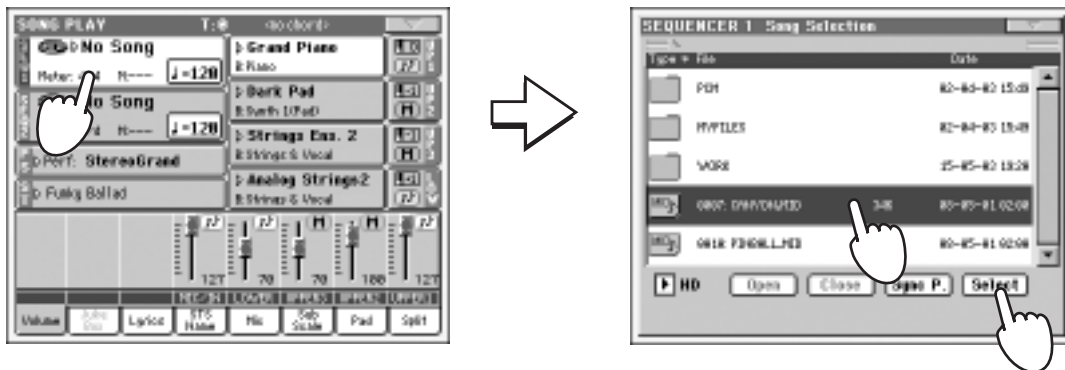
i Note : ソング・トラックのオン / オフの設定は、ソングには保存されません。設定を保存するときは、ソングを Sequencer モードで編集してください。



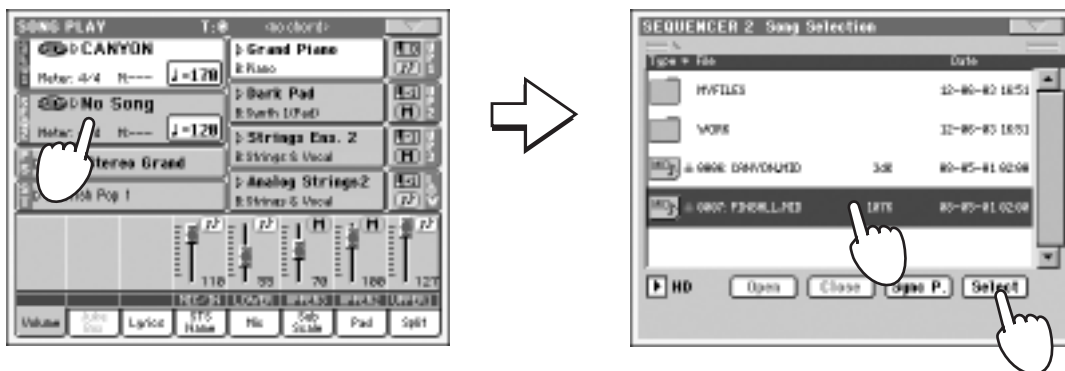
2つのソングをミックスする

2つのソングを同時に選択して、[BALANCE] スライダーを使って2つのソングをミックスできます。

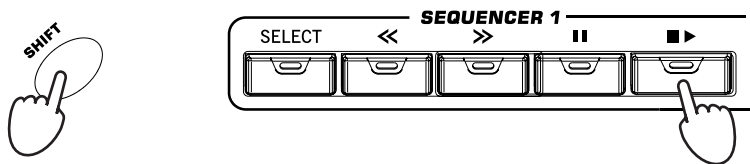
- 1 “SEQ 1” の欄を押して Song Selection ウィンドウを開き、Sequencer 1 で再生するソングを選びます。“Select” ボタンを押して確定します。



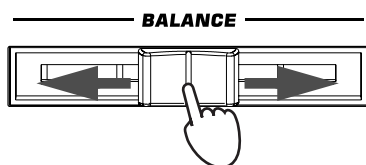
- 2 ソングを Sequencer 1 に割り当てたら、“SEQ 2” の欄を押して SEQUENCER 2 の Song Selection ウィンドウを開きます。Sequencer 2 で再生するソングを選び、“Select” ボタンを押して確定します。



- 3 [SHIFT] キーを押しながら、どちらかの SEQUENCER セクションの [■▶] キーを押すと、両方のシーケンサーが同時に再生を始めます。



- 4 再生中に、[BALANCE] スライダーを動かし、2つのソングをミックスします。



- 5 再生中は、それぞれの SEQUENCER セクションのキーを使って、2つのシーケンサーを個別にコントロールできます。

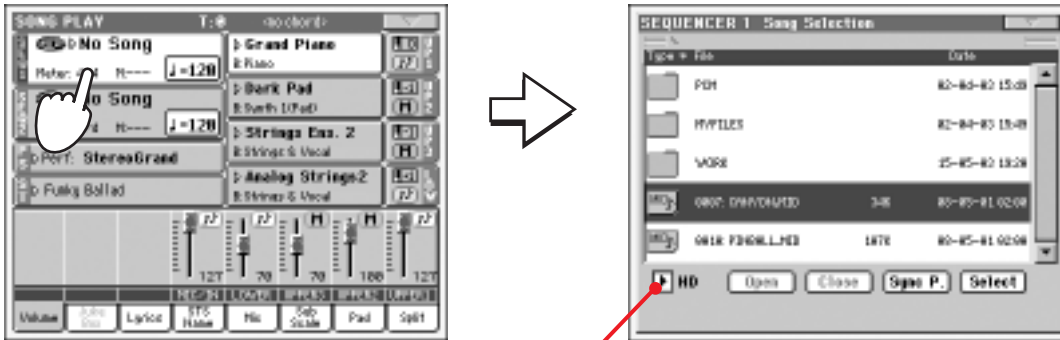
- 6 対応する [■▶] キーを押して、シーケンサーを停止します。

i Hint : 両方のシーケンサーを必ずしも同時にスタートさせる必要はありません。片方のシーケンサーで最初のソングの再生をスタートし、初めのソングの終わりに近づいたときに、もう一方のシーケンサーで次のソングの再生をスタートさせます。こうすると、[BALANCE] スライダーを使って、最初のソングの終わりと次のソングの始めをクロスフェードさせることができます。

CD を聴く

本機に CDRW-1 (オプション) が装備されているときは、オーディオ CD のソングを聴くことができます。また、1 つの CD トラックをどちらかのシーケンサーに割り当て、もう片方のシーケンサーに MIDI ファイルを割り当て、2 つをミックスすることができます。

- 1 CD プレーヤーに CD を入れます。
- 2 SEQ1 の欄を押して、Song Selection ウィンドウを開きます。



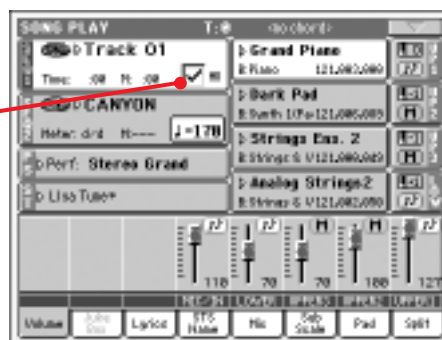
Device (デバイス)
ポップアップ・メニュー

- 3 Device ポップアップ・メニューから CD を選択します。



- 4 CD のトラックを選び、“ Select ” ボタンを押して、選択したシーケンサーに割り当てます。

選択したトラックから CD にある全てのトラックを聴くときは、“ All ” のチェック・ボックスにチェックを入れます。
[■▶] キーを押して、CD を再生します。



- 5 SEQUENCER セクションのキーを使って選択した CD のトラックを再生 / 停止します。
[SHIFT] キーを押しながら [>>>] キーを押すと、CD の次のトラックにジャンプできます。[SHIFT] キーを押しながら [<<<] キーを押すと、前のトラックにジャンプできます。

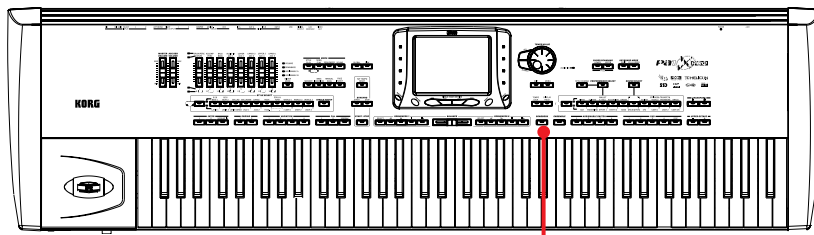
SongBook (ソング・ブック)

本機のパワフルな機能の一つに SongBook 機能があります。

SongBook では、ミュージック・データベースを使って、スタイルやソング・ファイル (SMF フォーマット、KAR フォーマット) の管理、検索、呼び出しが容易に行えます。SongBook の収録曲にはアーティスト、タイトル、ジャンル、キー、テンポ、拍子の情報を含めることができます。収録曲を選択すると、関連するスタイル、またはスタンダード MIDI ファイルが自動的に呼び出されます。

SongBook は、スタンダード MIDI ファイルに最大 4 つの STS を設定することもできます。これにより、スタンダード MIDI ファイルをリアルタイムで再生しながら、鍵盤を使ったリアルタイム演奏では、キーボード・トラック、エフェクト、あるいはボイス・プロセッサ、パッドの各設定を呼び出すことができます。

SongBook に収録曲を追加したり、既存の収録曲を編集したりすることができます。本機には数百の曲がすでに収録されていますが、SongBook を使用して、あなたの演奏スタイルに合わせ、さまざまなカスタム・リストを作ることができます。



[SONGBOOK] キー

メイン・リストから収録曲を選ぶ

本機は、内蔵されているデータベースをカスタマイズすることができます。データベースはさまざまな方法で閲覧できます。

- 1 Style Play あるいは Song Play モードで、[SONGBOOK] キーを押して SONG BOOK ウィンドウを開きます。

アレンジャーまたはシーケンサーに、現在割り当てられているスタイル、またはスタンダード MIDI ファイルが表示

SONGBOOK



SongBook のメイン・リスト

このチェック・ボックスを押して、表示フィルターをオンにします。



スクロール・バーを使えばリスト内の収録曲が閲覧できます。収録曲を選んでダイヤルを回しても閲覧できます。

このボタンを押して、曲を選択し再生します。

このキーを押して表示フィルターを編集します。

カスタム・リストに選んだエントリーを追加します (有効時、57 ページ参照)。

- 収録曲を閲覧します。
Type (タイプ) 欄のアイコンで、曲のタイプが分かります。初期設定では Genre (ジャンル) 欄が表示されていますが、Artist (アーティスト) 欄に切り替えることもできます (以下の「Artist、または Genre を表示する」を参照)。
- 曲が LCD 画面上にあるとき、曲を選んで画面の “ Select ” ボタンを押します。
曲が選択されると、対応するスタイル、SMF ファイル、KAR ファイルが、それぞれのオペレーティング・モード (Style Play、Song Play) で呼び出されます。最大 4 つの STS 設定も呼び出されます。
選択されたスタイル、SMF、KAR ファイルは画面の上部に表示されます。

Artist (アーティスト)、または Genre (ジャンル) を表示する

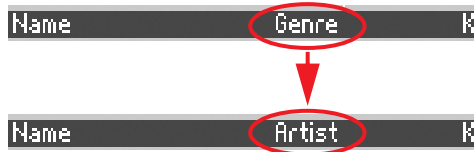
画面には、Artist と Genre のうち、どちらか一方が表示されます。

- ページ・メニュー・アイコンを押して、ページ・メニューを開きます。

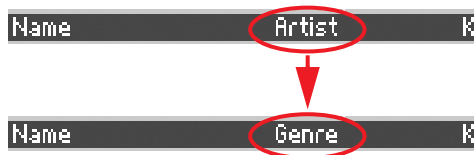


i Note:すでに収録されている Artist と Key 部分は、空白になっています。

- Show Artist (now Genre) を選んで、リスト表示の “ Genre ” を “ Artist ” に切り替えます。Artist の欄が表示されます。



- その後ページ・メニューを再度開いて、Show Genre (now Artist) を選ぶと、Genre の欄が再表示されます。



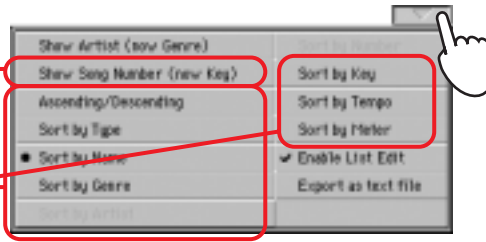
収録曲の並びを変える

LCD 画面に表示される曲の並び順を変えることができます。

- 1 ページ・メニュー・アイコンを押して、ページ・メニューを開きます。

リストの表示を昇順 (Ascending) にするか、降順 (Descending) にするかを選択します。

並び順を変更する条件を選択します。選択された条件はリストに赤色で表示されます。

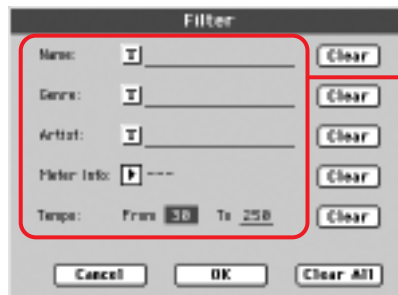
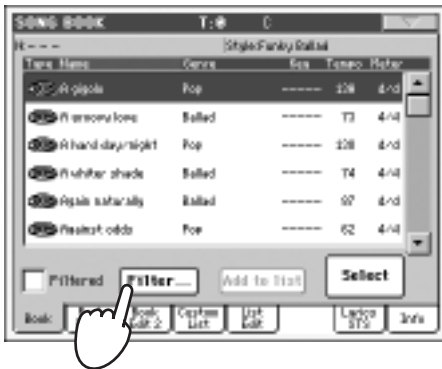


- 2 並び順の条件を選択します。
選んだ並び順の条件に従い、画面の曲の並び順が変わります。

収録曲を検索する

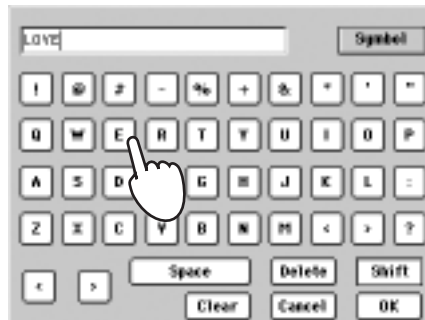
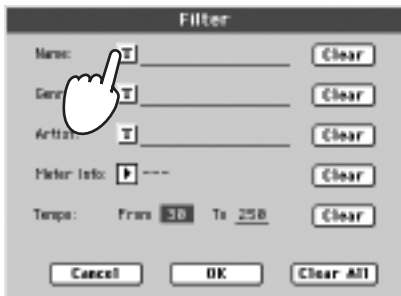
SongBook のデータベースは膨大ですが、フィルター機能を使って、例えば、特定のアーティストやソングのタイトルを探することができます。

- 1 LCD 画面の “Filter” ボタンを押して、Filter ダイアログ・ボックスを開きます。

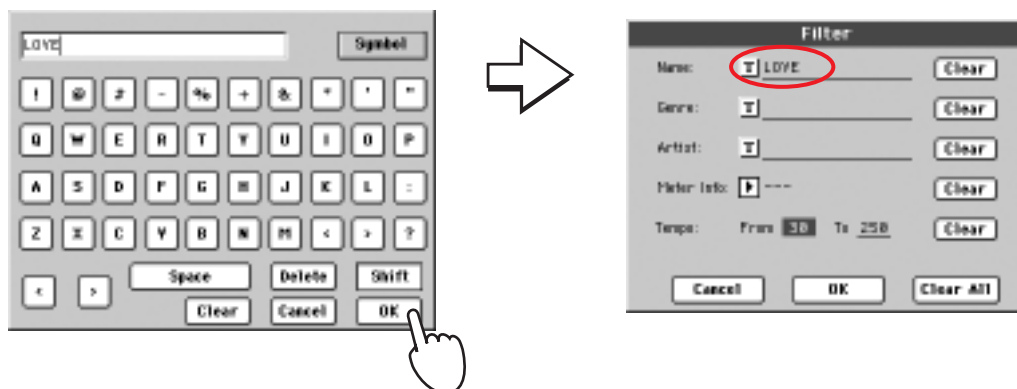


有効な検索条件。“Genre” と “Artist” は、リスト上には片方しか表示されませんが、検索条件としては同時に機能できます。

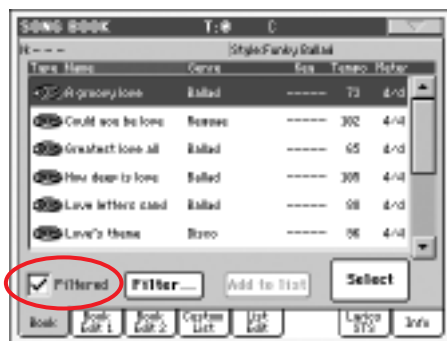
- 2 入力する検索条件 (複数も可能) の「T」 (テキスト編集) ボタンを押します。
例えば、タイトルに「love」という言葉を含む全てのソングを探るとします。そのときは、“Name” の条件を選択して「love」という言葉を入力します。大文字 / 小文字は、検索には関係ありません。



- 3 画面の“OK”ボタンを押して、テキスト編集ダイアログ・ボックスを閉じます。入力した文字が検索条件となります。



- 4 画面の“OK”ボタンを押して、Filterダイアログ・ボックスを閉じ、SongBookのページに戻ります。
“OK”ボタンを押してFilterダイアログ・ボックスを閉じると、“Filter”のチェック・ボックスには自動的にチェックが入り、フィルター機能が有効になったことを示します。メイン・リストには検索条件に合った収録曲だけが表示されます。



- 5 再度 SongBook のデータベースを見るときは、“Filter”のチェック・ボックスをもう一度押して、チェックを外します。

曲を追加する

SongBookのデータベースに、独自の曲を追加できます。

- 1 SongBookのデータベースに、スタイルを追加するときはStyle Playモードを選び、スタンダードMIDIファイルを追加するときはSong Playモードを選択します。
- 2 各モードで、追加するスタイルまたはスタンダードMIDIファイルを選びます。
- 3 必要に応じて、異なるサウンドやエフェクトを選択したり、その他のパラメーターを変更したりして、キーボード・トラックやスタイル・トラックをエディットします。
スタンダードMIDIファイルのトラックへの変更は、SongBookのデータとしては保存されません。スタンダードMIDIファイルに含まれるデータが常に対象となります。
- 4 必要ならば、ボイス・プロセッサの異なるプリセットを選択します。

- 5 曲の準備ができたなら、[SONGBOOK] キーを押し、“Book Edit 1”タブを押しして Book Edit タブ・ページを開きます。

チェックが入っていると、現在のスタイルの設定、または SMF ファイル、KAR ファイルへのパス “ / ” (ファイルの所在を示す情報) が収録曲に保存されます。チェックが外れているときは、オリジナルのスタイル・トラックの設定が保存されます。このパラメーターは、“New Song” ボタンを押して新規の曲を収録するときには、必須事項です。

チェックが入っていると、現在のキーボード・トラックとボイス・プロセッサの設定が各曲の 4 つの STS 設定の 1 つに保存されます。SongBook を抜けてキーボード・トラックをエディットし、再度 SongBook に戻って、新しい設定を別の STS に保存することができます。「T」(テキスト編集) ボタンを押して STS の名前を変更します。

曲に記録された、スタイル、SMF ファイル、KAR (カラオケ) ファイルの名前 (保存するときに “Write Current Resource” が選択された場合) 曲のパラメーター

曲名

現在選択されているリソース。異なるスタイル、SMF ファイル、KAR ファイルが選択されたときは、保存されているリソース (ページの上部に表示) と異なります。

曲で使える STS の 1 つで、キーボード・トラックとボイス・プロセッサの現在の設定を保存できます。

“New Song” ボタンを押して新規の曲を作ります。

- 6 LCD 画面の “New Song” ボタンを押して、SongBook リストに新規の曲を追加します。

- 7 エディットする項目の「T」(テキスト編集) ボタンを押し、名前を入力します。その他のパラメーターも設定します。

名前で使用できる文字数は、8 文字までです。

Genre、Artist、そして関連づけした STS 設定の名前を書き込むことができます。ソングのテンポ、拍子、キーを設定します。さらに、曲を選択したときに、マスター・トランスポーズが自動的に選択されるかを指定できます。

- 8 必要と思われる全ての項目を設定したら、LCD 画面の “Write” ボタンを押して、Write Song ダイアログ・ボックスを開きます。

- 9 「**T**」(テキスト編集)ボタンを押して新規の曲に名前をつけ、“OK”ボタンを押して SongBook のデータベースに新規の曲を保存します。

曲名。スタンダード MIDI ファイルと同じ名前、または関連したスタイルに適切な名前を、曲の名前として使うことをお勧めします。

既存の収録曲を上書きするときは、“Rename/Overwrite” を選択します。
 Warning : 古い曲は削除されます。

“New Song” を選択して、SongBook リストに新規の曲を追加します。新規の曲を作成 (“New Song” ボタンを押して)したときは、これが自動的に選ばれます。



カスタム・リストを作成する

SongBook に、演奏スタイルに合わせた一連の収録曲を、カスタム・リストとして作ることができます。新規のカスタム・リストを始める前に、SongBook のデータベースに必要な全ての曲が追加されていることを確認します (前述の「曲を追加する」を参照)。

- 1 SongBook モードで、ページ・メニューを開き、“Enable List Edit” にチェックを入れます。

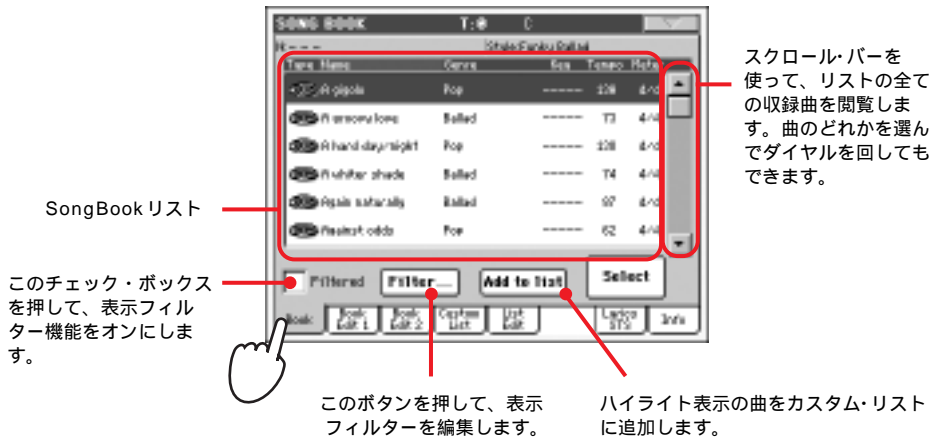


“Enable List Edit” にチェックを入れると、カスタム・リストの “List Edit” のページ・メニューが有効になります。

- 2 エディットするカスタム・リストを選択します。

既存のリストをエディットするときは、“Custom List” (カスタム・リスト) タブを押して Custom List ページを開き、カスタム・リストを選択します。新規のリストを作成するときは、“List Edit” タブを押して List Edit ページを開き、“New List” ボタンを押して新規のブランクのリストを作成します。

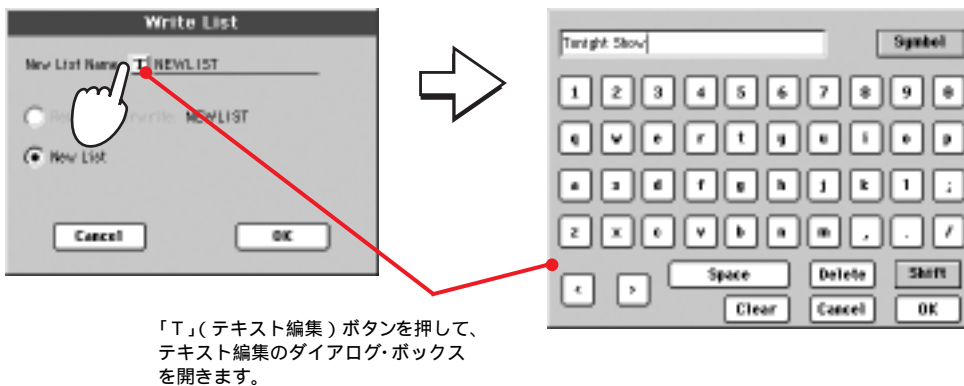
3 “Book”タブを押してBookタブ・ページを開きます。さまざまな並び替え、検索、フィルター条件(上記、参照)を使って、必要な曲を見つけます。必要な曲を選んだら、“Add to list”ボタンを押します。



4 カスタム・リストに全ての曲を追加したら、“List Edit”タブを押してList Editタブ・ページを開き、さまざまなコマンドを使ってリストをエディットします。



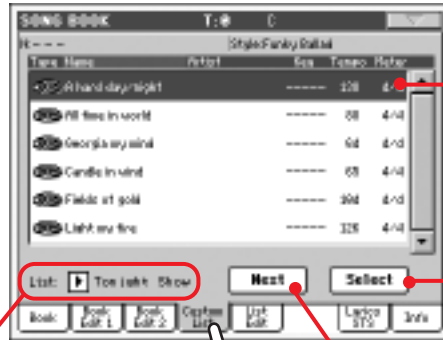
5 カスタム・リストが完成したら、LCD画面の“Write”ボタンを押してメモリーに保存します。必要に応じて、カスタム・リストに新規の名前をつけます。



カスタム・リストを選んで使う

カスタム・リストを作成したら、それを選んで演奏に使うことができます。

- 1 “Custom List” タブを押して Custom List タブ・ページを開きます。
- 2 List ポップアップ・メニューを使って、カスタム・リストを選択します。



この List ポップアップ・メニューを使ってカスタム・リストを選択します。

“Next” ボタンを押して、リスト上の次の曲を選択します（このコマンドは、[ASSIGNABLE SWITCH] にも割り当てることができます）。

再生中の収録曲です。他のものを選択するときは、選択する曲をハイライト表示させ、ディスプレイの “Select” ボタンを押します。

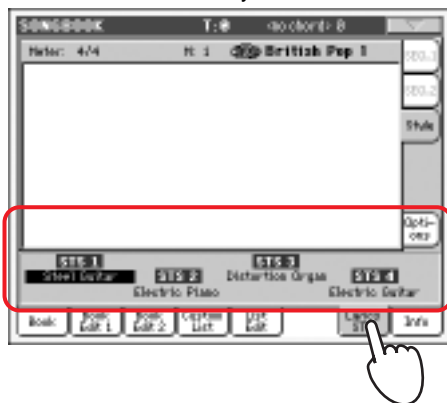
“Select” ボタンを押してハイライト表示の曲を選択します（自動的に選ばれているものと違うものを再生する場合）。

- 3 リスト上の曲を選び、LCD 画面の “Select” ボタンを押して再生をスタートさせます。

SongBook の STS を選択する

スタンダード MIDI ファイルを元にした曲では、最大 4 つの STS 設定を付けることができます。

- 1 “Lyrics STS” タブを押して、Lyrics STS タブ・ページを開きます。

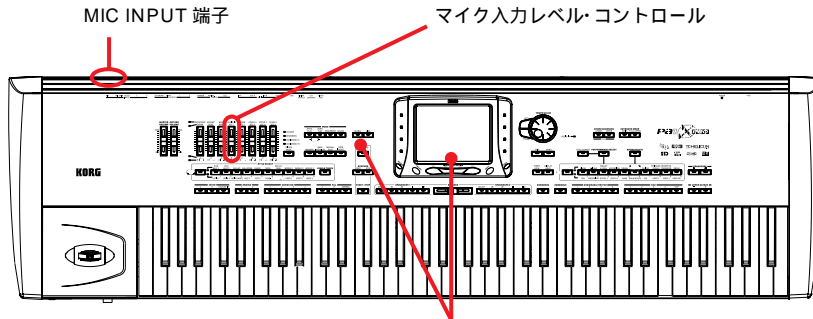


現在の曲に関連付けられた STS 設定。

- 2 対応する [STS 1 ~ 4] キーを押します。
 STS が選択されます。キーボード・トラック、ボイス・プロセッサの設定が変更されます。

マイクを使って歌う

本機には、TC Helicon 社によって開発された技術に基づいた、パワフルなデジタル・ボイス・プロセッサが搭載されており、エフェクト、4 パートのハーモナイザーが使用できます。さらに SUG-TC1 ソフトウェア・アップグレード（オプション）でソフトのバージョンを更新すると、ピッチ・コレクトやボイス・モデリング機能がお使いになれます。

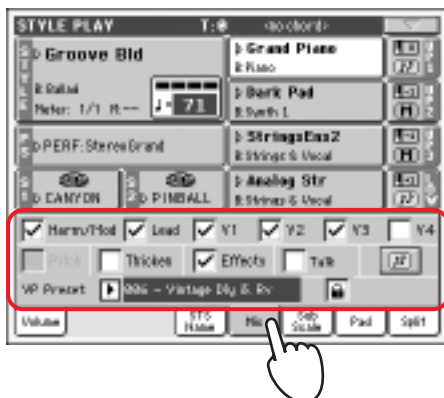


メイン・ページ（“ Mic ” タブ）から、または [GLOBAL] キーで “ Voice Processor Setup ”、“ Voice Processor Preset ” ページを開いて設定します。

マイクを接続する

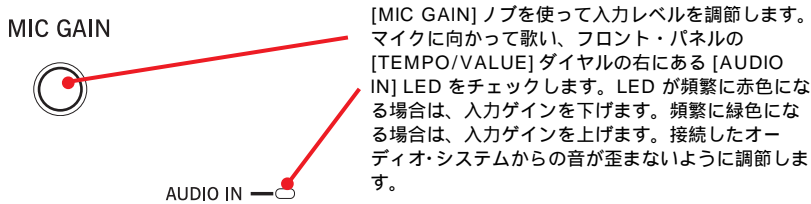
本機に合わせて歌うときは、まず適切なマイクを [MIC] 入力端子に接続します。ダイナミック・マイクは直接接続できます。コンデンサー・マイクを接続する場合は、外部のファンタム電源が必要になります。また、マイクを外部ミキサーに接続し、そのミキサーのライン出力を本機の INPUT [1] ライン入力端子に接続することもできます。

- 1 マイクを接続します。
マイクを直接 [MIC] 入力端子に接続したときは、入力端子の隣にある SELECT [1/MIC] スイッチを「MIC」側にします。マイク信号は本機の高品位な内蔵プリアンプで増幅できます。
マイクをミキサーやプリアンプを介して INPUT [1] 入力端子に接続したときは、SELECT [1/MIC] スイッチを「1」側にします。本機をパワフルな外部エフェクト・プロセッサとして使えます。
- 2 Style Play、または Song Play モードのメイン・ページを開き、“ Mic ”タブを選びます。“ Harm/Mod ”、“ Pitch ”などの全ての“ マスター ”スイッチボタンのチェックを外します。



ボイス・プロセッサの“ マスター ”スイッチボタン。
マイクのレベルをテストするときは、“ Harm/Mod ”、“ Pitch ”、“ Thicken ”、“ Effects ”、“ Talk ”のチェックを外し、これらの効果がからないようにします。

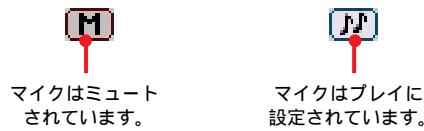
3 マイクに向かって歌い、入力ゲインを調節します。



4 必要な“マスター”スイッチボタンに、再びチェックを入れます。

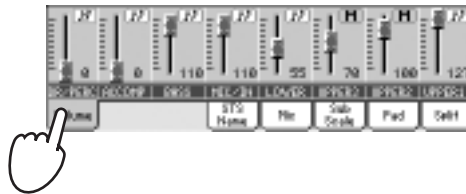


5 上記画面の右にあるステータス・ボックスで、M (ミュート) / プレイ・アイコンを押して、マイク・セクション全体をミュートまたはプレイに設定します。

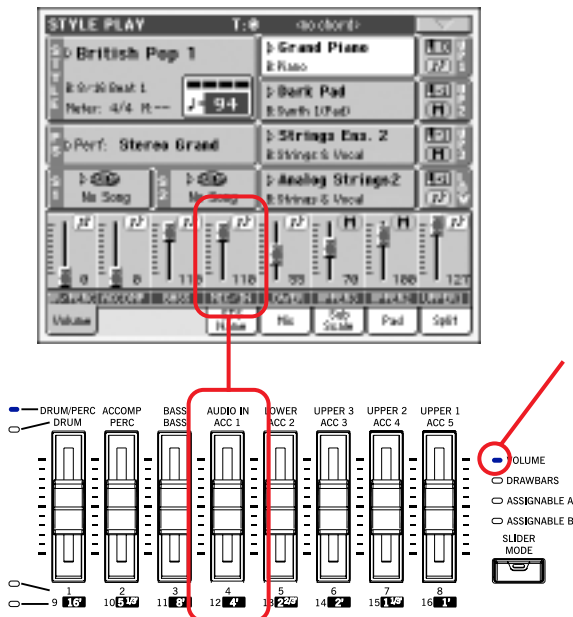


i Note : このアイコンは Volume ページの “MIC/IN” チャンネルにある、プレイ / ミュート・コントロールのアイコンと連動しており、ここでミュートにすると、Volume ページのプレイ / ミュート・コントロールも、ミュートになります。

6 “Volume” タブを押して、Volume タブ・ページを選択します。



7 必要に応じ、スタイル、またはソングをスタートします。マイク最終レベルは、アサインابل・スライダーの [AUDIO IN] スライダーを使って調節します。

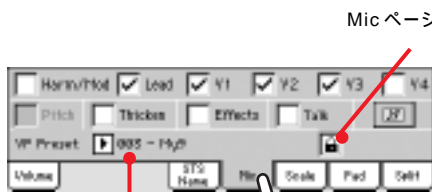


音量をコントロールするときは、[VOLUME] LED が点灯していません。消灯のときは、[SLIDER MODE] キーを繰り返し押して [VOLUME] LED を点灯させます。[SLIDER MODE] キーの設定は、パフォーマンスに保存されません。

- 8 その他の設定を調節し、[ACC/SEQ VOLUME] スライダーと [AUDIO IN] スライダーを使い、スタイル / ソングとマイクのバランスをとります。
[ACC/SEQ VOLUME] スライダーと [AUDIO IN] スライダーの設定はメモリーに保存されません。設定の異なったスタイルやパフォーマンス、ソング、あるいはボイス・プロセッサーを選択してもここで調節したバランスは使用されません。

ボイスにハーモニーを追加する

- 1 Style Play モードで、お気に入りのスタイルを選択します。
- 2 “Mic” タブを押して Mic タブ・ページを表示させ、画面下にある VP Preset (ボイス・プロセッサーのプリセット) を選択します。
ボイス・プロセッサー・プリセットは、さまざまなボイス・プロセッサー・モジュールの設定です。プリセットを選択すると、全てのパラメーターが変更されます。
ボイス・プロセッサー・プリセットは、パフォーマンスまたは STS 設定に割り当てられます。異なるパフォーマンス、または STS 設定を選択すると、ボイス・プロセッサー・プリセットが変更され、ボイスの信号処理のタイプが変わります。Mic ページがロックされているときは、このボイス・プロセッサー・プリセットは変わりません。



このポップアップ・メニューを使って、ボイス・プロセッサー・プリセットを選択します。

Mic ページのロック



- 3 スタイルをスタートします。
- 4 “Harm/Mod” チェック・ボックスにチェックを入れて、ハーモニーをオンにします。
- 5 キーボードを演奏すると、自動的に認識されたコード情報がボイス・プロセッサーに送られます。これによって、最大 4 パートのハーモニーが自動的につくことになります。
- 6 キーボードで演奏したメロディとコードに合わせて歌います。
- 7 スタイルをストップします。

i Note: ピッチ・コレクトとボイス・モデリングは、オプションの *SUG-TC1* ソフトウェア・アップ・グレードにより実現する機能です。

i Note: 初期設定では、マイク信号に不必要な処理がからないように、最初のパフォーマンス、STS 設定には、ハーモニー・エフェクトは含まれません。お好みのプリセットを選んで、パフォーマンス、または STS 設定に保存できます。33 ページの「設定をパフォーマンスに保存する」を参照ください。

i Note: 初期設定では、表示されているページに関係なく、[ASSIGNABLE SWITCH 2] キーを押して、ハーモニー・セクションをオン / オフできます。

ボイスのソロ (トークバック) をする

ライブでは、客席に向かって話をしたりすることがあります。TalkBack (トークバック) 機能を使うと、バックの音楽の音量を小さくしてボイスがよく聞こえるようになります。

- 1 Style Play、または Song Play モードのメイン・ページで、“Mic” タブを押してボイス・プロセッサの“マスター”スイッチボタンを表示させます。
- 2 再生中に“Talk”のチェック・ボックスを押し、チェックを入れます。



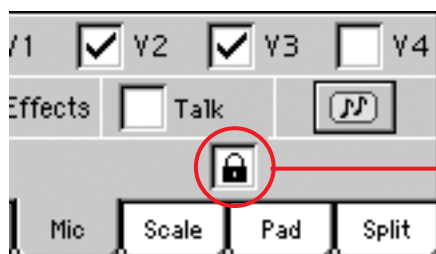
- 3 マイクに向かって歌ってください。
バックの音楽が小さくなって、声が大きく聞こえます。
- 4 TalkBack 機能をオフにするときは、“Talk”のチェック・ボックスをもう一度押し、チェックを外します。
バックの音楽は元の音量に戻ります。

i Note : 初期設定では、表示されているページに関係なく、[ASSIGNABLE SWITCH 4] キーを押して、TalkBack 機能をオン / オフできます。

ボイス・プロセッサの設定をロックする

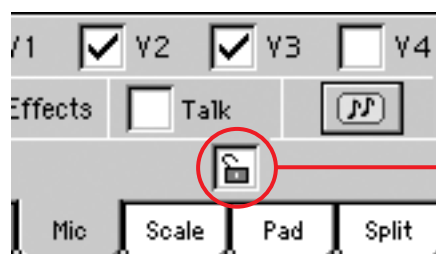
選択したボイス・プロセッサ・プリセットと Mic タブ・ページで行ったその他の設定を、異なった設定を持つ、別のパフォーマンスやスタイル、STS に切り替えるたびに変更されないように、ロックすることができます。

- 1 ディスプレイに Mic 画面が表示されているとき、“ロック”アイコンを押して、鍵をかけた状態にします。



ロックされています。
ボイス・プロセッサの設定は、異なるパフォーマンスや STS 設定を選択しても変わりません。

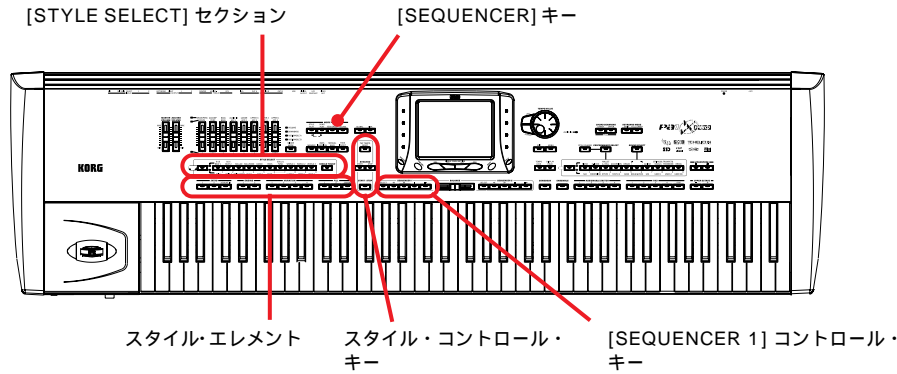
- 2 ロックを解除するときは、“ロック”のアイコンをもう一度押します。



ロックされていません。
新しいパフォーマンスや STS 設定を選択すると、ボイス・プロセッサの設定が変わります。

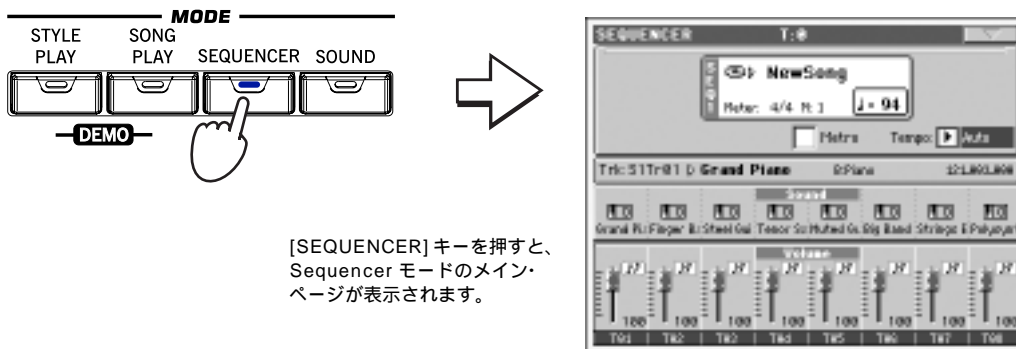
新しいソングを録音する

本機では、いろいろな方法でソングを作ることができます。最も簡単で早い方法は、スタイル・プレイを使って、本機のアレンジャー機能でアカンパニメント・トラックを再生しながら、キーボードの演奏をリアルタイムにレコーディングすることです。

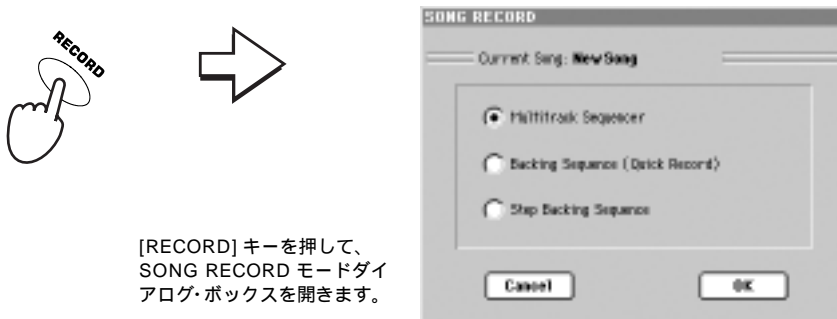


B. SEQ RECORD : パッキング・シーケンス (Quick record) モードにする

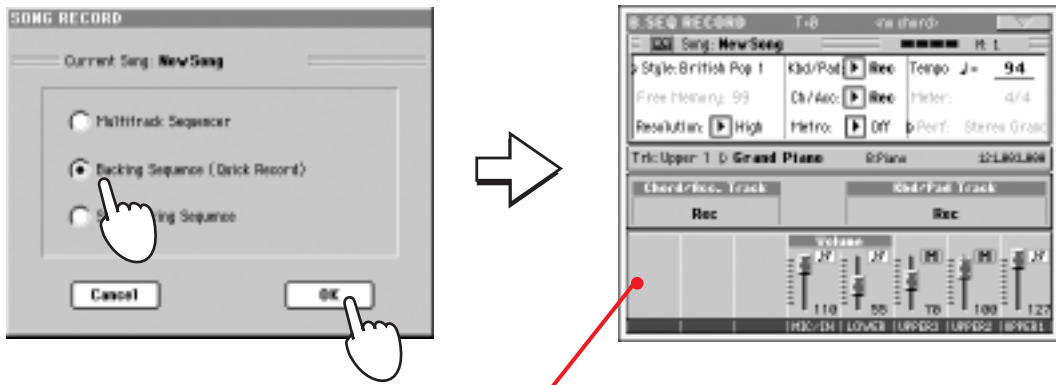
1 [SEQUENCER] キーを押して、Sequencer モードに切り替えます。



2 [RECORD] キーを押して、SONG RECORD モードのダイアログ・ボックスを開きます。



- 3 “Backing Sequence(Quick Record)”を選択し、“OK”ボタンを押して B. SEQ RECORD モードに入ります。



“Backing Sequence (Quick Record)”を選択すると、B. SEQ RECORD ページが表示されます。

レコーディングの準備

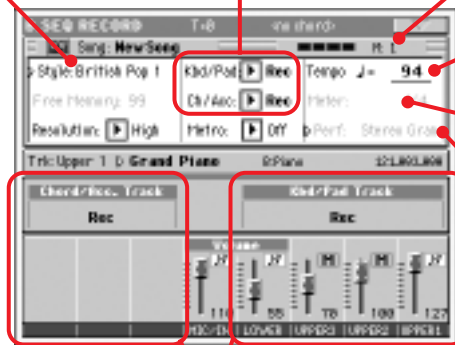
B. SEQ RECORD ページには、すでに最新のスタイルが選択されていて、全てのトラックのレコーディング準備ができています。スタイルを使ってリアルタイムに演奏する、スタイル・プレイと同じように、レコーディングをスタートできます。必要に応じてエディットできる設定もあります。

- 必要に応じて、画面ページ上のエディット可能なパラメーターを調整します。

トラック・ステータス。
 Rec : レコーディング準備完了
 Play : レコーディング済み、再生可能
 Mute : ミュートされ、再生しても聴くことはできない

小節カウンター。マイナスの数字 (- 2、- 1) はプリ・カウントで、この後にレコードがスタートします。

“Style”パラメーター(または [STYLE SELECT] キー)を押して Style Select ウィンドウを開き、異なるスタイルを選択します(36 ページを参照)。



スタイルのテンポ。変更可能

スタイルの拍子。変更不可能

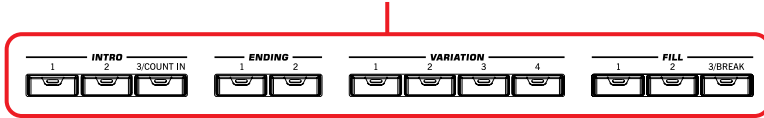
“Perf/STS”パラメーターを押して Performance Select ウィンドウを開き、異なるパフォーマンスを選択します(32 ページを参照)。別の方法として、[SOUND/PERFORMANCE SELECT] キー、または [SINGLE TOUCH SETTING] キーを使います。

グループ化されたトラック。
 Quick Record 中は、個別のソング・トラックにはアクセスできません。使いやすさのために、“Kbd/Pad”(Keyboard/Pad)と“Ch/Acc”(Chord/Accompaniment)の、2つの「マスター」トラックのみがあります。

レコーディングする

1 演奏をスタートする前に、スタイル・エレメントを選択します。

一般的には、はじめにイントロを選択し、イントロを使ってスタートします。レコーディングの前にバリエーションを選択しておきま



2 [START/STOP] キーを押して、レコーディングをスタートします。



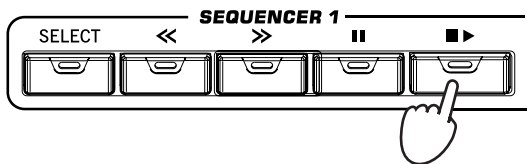
i Note :スタイルを再生しないでソングをスタートするときは、SEQUENCER 1 セクションの[■▶]キーを押してレコーディングをスタートし、その後でスタイルをスタートさせます。スタイルは次の強拍でスタートします。

3 スタイルを選んで、リアルタイムに演奏してください。

レコーディング中は、スタイル・エレメント（イントロ、バリエーション、フィル、エンディング）を選択できます。[START/STOP] キーを押してスタイルをストップし、もう一度押してスタイルを再スタートさせることもできます。

B. SEQ RECORD モードでは、[SYNCHRO]、[TAP TEMPO/RESET]、[ACC/SEQ VOLUME]のキーは無効になりますのでご注意ください。

4 ソングのレコーディングが終了したら、SEQUENCER 1 セクションの [■▶] キーを押してレコーディングから抜け、Sequencer モードのメイン・ページに戻ります。



[■▶] キーを押すと、Sequencer モードのメイン・ページに戻ります。



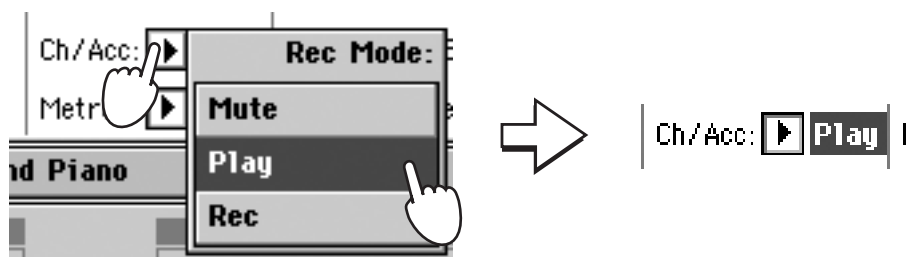
5 Sequencerモードのメイン・ページで、SEQUENCER 1セクションの[■▶]キーを押し、レコーディングされたソングを聴きます。

Backing Sequence のソングは、通常のソング（Multitrack Sequence）に変換されています。これで良ければ、ディスクに保存し、Song Play モードで読み込んだり、外部シーケンサーで使ったりします。

セカンド・テイクのレコーディングをする (オーバーダビング)

通常は、ファースト・テイクですべてのコードやスタイル・エレメントをレコーディングし、セカンド・テイクでキーボード・トラックやパッドをレコーディングします。レコーディングをやり直すとき、レコーディングに失敗して上書きするとき、または 2 つにグループ化された Keyboard/Pad セクションと Chord/Accompaniment セクションのうち、どちらかのマスター・トラックへ演奏を追加するときなどに、オーバーダビングを行います。

- 1 [RECORD] キーを押して、再度 Rec モードにします。SONG RECORD モードのダイアログボックスが表示されたら、“Backing Sequence (Quick Record)” を選択します。
- 2 Kbd/Pad マスター・トラック、または Ch/Acc マスター・トラックのどちらか片方にレコーディングするときは、保存するトラックのトラック・ステータスを Play に設定します。



- 3 レコーディングの手順を繰り返し、SEQUENCER 1 セクションの [■▶] キーを押してレコーディングをストップし、Sequencer モードのメイン・ページに戻ります。
- 4 Sequencerモードのメイン・ページで、SEQUENCER 1 セクションの[■▶]キーを押し、レコーディングしたソングを聴きます。
Backing Sequence ソングは、再度、通常のソングに変換されています。

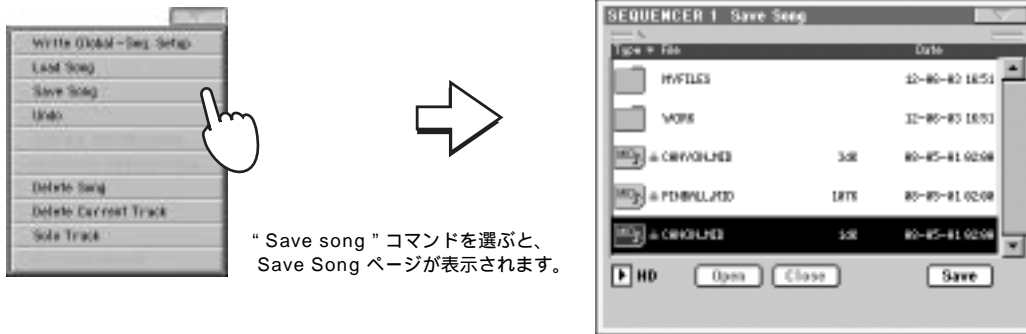
ソングをディスクに保存する

ソングをレコードしたら、本機をオフにしたときに消えてしまうことがないように、ディスクに保存します。

- 1 Sequencer モードのメイン・ページで、ページ・メニューのアイコンを押してページ・メニューを開きます。

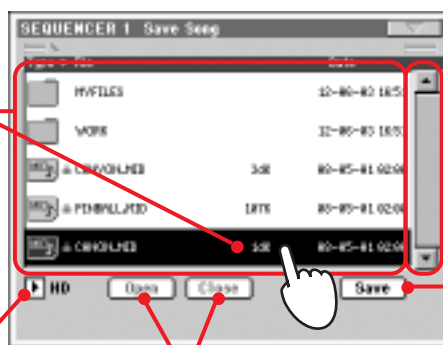


2 “ Save song ” コマンドを選んで、 Save Song ウィンドウを開きます。



3 ソングを保存するデバイスとフォルダを選択します。

ソングが選択 (ハイライト表示) されている場合、ソングの名前を変更しないで保存すると、そのソングに新しいソングが上書きされます。ソングが選ばれていない場合、ソングを保存すると、ディスク上に新規のソング・ファイルが作られます。選択されたソングを解除するときは、ソング・リストの他の部分を押すか、Device (デバイス) ポップアップ・メニューで、同じ保存先を選択します。



スクロール・バーを使ってリスト内の全てのソングを閲覧します。または、ソングのどれかを 1 つ選びダイヤルを回しても、ソングが閲覧できます。

“ Save ” ボタンを押し、ソングを現在のフォルダに保存します。

Device (デバイス) ポップアップ・メニューを使って、保存先 (フロッピー・ディスク、内蔵ハード・ディスク) を選択します。

“ Open ”、“ Close ” ボタンを使って、フォルダ内を閲覧できます。



ソングを保存しないでこのページから抜けるときは、[EXIT] キーを押します。

4 ディスプレイ画面の “ Save ” ボタンを押して、 Save Song ダイアログ・ボックスを開きます。



「 T 」 ボタンを押して、テキスト編集ダイアログ・ボックスでソングの名前を変更します。

5 ディスプレイ画面の “ OK ” ボタンを押して、ディスクにソングを保存します。または、“ Cancel ” ボタンを押して保存の操作を中止します。

Paa1

professional
arranger



Paa1

professional
arranger



PRO

Appendix

ファクトリー・データ

スタイル

Note : 本機のスタイルは、バンク・セレクト MSB (CC#0) バンク・セレクト LSB (CC#32) そしてプログラム・チェンジ (PC) メッセージを、Control を設定した MIDI チャンネル (Global モード、MIDI ページの MIDI In Channel タブ・ページで設定) で、外部から選択することができます。

#	CC#0	CC#32	PC	バンク : 8/16 Beat 1 (8/16 ビート 1)	CC#0	CC#32	PC	バンク : 8/16 Beat 2 (8/16 ビート 2)	CC#0	CC#32	PC	バンク : Ballad (バラード)
1	0	0	0	Moonlight Ballad	0	1	0	Kool Beat	0	2	0	Funky Ballad
2			1	Easy Beat			1	Unplugged 16 Bt			1	Easy Ballad 3
3			2	Slow HipHop			2	Real 16 Beat			2	Analog Ballad
4			3	Unplugged Gtr1			3	Guitar Beat			3	Groove Ballad
5			4	British Pop 1			4	Easy Pop			4	Unplugged Gtr 3
6			5	Pop Chart 1			5	Standard 16 Bt 1			5	Pop & Sea
7			6	Soft Ballad			6	Unplugged Rock			6	Meditando
8			7	Easy Ballad 1			7	Pop Hits			7	Unplugged Gtr 4
9			8	British Pop 2			8	Half Time Lite			8	Unplugged Gtr 5
10			9	Classic 8 Bt 1			9	Analog Beat 1			9	Serenade
11			10	Classic 8 Bt 2			10	Analog Beat 2			10	Unplugged Bld 1
12			11	Soft Beat 1			11	Guitar Ballad 1			11	Acoustic Ballad
13			12	Unplugged 8 Bt 1			12	Guitar Ballad 2			12	Unplugged Bld 2
14			13	Light Rock 1			13	8 Beat Analog 1			13	Pop Jazz
15			14	Light Rock 2			14	Analogyst			14	Diva
16			15	Easy Ballad 2			15	8 Beat Analog 2			15	Rock Ballad 1
17			16	Soft Beat 2			16	Trendy Beat			16	Folk Ballad
18			17	Pop Beat 2			17	Slow Ballad			17	Pop Ballad 2
19			18	Standard 8 Beat			18	6 Strings Beat			18	Half Time Ballad
20			19	Unplugged 8 Bt 2			19	Half Time Guitar			19	Country Ballad 1
21			20	Love 8 Beat			20	Standard 16 Bt 2			20	4/4 Ballad
22			21	Half Beat			21	Pop 16 Beat 1			21	Love Ballad
23			22	UK 8 Beat			22	Pop 16 Beat 2			22	Natural Beat
24			23	8 Beat Groove			23	Cinema Ballad			23	Celtic Ballad
25			24	UK R & B			24	Windy Beat			24	16 Beat Analog 1
26			25	Pop Ballad 1			25	Home Beat			25	Color Beat
27			26	HipHop Beat			26				26	Pop Ballad 3
28			27	Miami Beat			27				27	8 Beat Analog 3
29			28	Classic Beat 3			28				28	16 Beat Analog 2
30			29	Real 8 Beat			29				29	
31			30	Easy Groove			30				30	
32			31				31				31	

#	CC#0	CC#32	PC	バンク : Ballroom (ボールルーム)	CC#0	CC#32	PC	バンク : Dance (ダンス)	CC#0	CC#32	PC	バンク : Rock (ロック)
1	0	3	0	Easy Listening	0	4	0	Dance Fever	0	5	0	Big Band Jump
2			1	Pop Shuffle			1	Groove It Up			1	English Rock
3			2	Slow Band			2	Club Latin			2	Open Rock 1
4			3	Foxtrot 1			3	Barry Dance			3	Open Rock 2
5			4	Organ Foxtrot			4	Sister & Girl			4	Pop Rock
6			5	Movie Ballad			5	Philly Disco			5	Fire Rock
7			6	Pop Chart 2			6	Oriental Dance 1			6	Hard Rock
8			7	Candy & Sweet			7	Twist			7	Heavy Rock
9			8	Organ Waltz			8	House Garage			8	South Strait
10			9	Slow Waltz 1			9	House			9	South Shuffle
11			10	Slow Waltz 2			10	Dream			10	Rock Shuffle
12			11	Slow Waltz 3			11	Techno			11	Rock Ballad 2
13			12	Slow Waltz 4			12	Underground			12	Half Time
14			13	Slow Waltz 5			13	Progressive			13	Rock 6/8
15			14	Slow 6/8			14	Jungle			14	Abbey Road
16			15	Slow Pop			15	Rap			15	Soft Rock
17			16	Slow Rock 1			16	HipHop			16	Surf Rock
18			17	Slow Rock 2			17	Disco 70			17	Pop Shuffle 1
19			18	Unpl. Slow Rock			18	80's Dance			18	Blues Shuffle
20			19	Big Band Fox 1			19	Love Disco			19	60's Rock
21			20	Big Band Fox 2			20	Disco Party			20	Rock & Roll
22			21	Big Band Fox 3			21	Disco Funky			21	
23			22	Operetta			22	Disco Gully			22	
24			23	Quick Step 1			23	Dance 80			23	
25			24	Quick Step 2			24				24	
26			25	New Jive			25				25	
27			26	Charleston			26				26	
28			27	Foxtrot 2			27				27	
29			28	Slow Fox			28				28	
30			29	Foxtrot 3			29				29	
31			30				30				30	
32			31				31				31	
#	CC#0	CC#32	PC	バンク : Soul & Funk (ソウル & ファンク)	CC#0	CC#32	PC	バンク : World 1 (ワールド 1)	CC#0	CC#32	PC	バンク : World 2 (ワールド 2)
1	0	6	0	Kool Funk	0	7	0	Oberkr. Waltz 1	0	8	0	Hawaiian
2			1	Swing HipHop			1	Oberkr. Waltz 2			1	Country Beat
3			2	Funky Sisters			2	Oberkr. Waltz 3			2	Folk Beat
4			3	Steely Feel			3	Oberkr. Polka 1			3	Kountry Pop
5			4	Al Funk			4	Oberkr. Polka 2			4	Bluegrass
6			5	Elektrik Funk			5	German Polka 1			5	Country 8 Beat
7			6	Classic Funk			6	German Polka 2			6	Country 16 Beat
8			7	Talkin' Jazz			7	Oberkr. Polka			7	Country Beat
9			8	Pop Shuffle			8	Bavarian Pop 1			8	Modern Country
10			9	Easy Funk			9	Bavarian Pop 2			9	Country Boogie
11			10	Dance Funk			10	Polka Pop 1			10	Country Shuffle 1
12			11	Club Funk			11	Polka Pop 2			11	Country Shuffle 2
13			12	Blues Ballad			12	Party Polka			12	Country Ballad 2
14			13	Modern Gospel 1			13	Classic Flipper			13	Country 3/4
15			14	Modern Gospel 2			14	Flipper 6/8			14	Orleans
16			15	Gospel Shuffle			15	Flipper 4/4			15	Celtic Waltz
17			16	Rubber Funk			16	Dance Schlager			16	Mexican Waltz
18			17	Groove Funk			17	Fox Schlager			17	Norteno 1
19			18	Acid Jazz 1			18	Medium Schlager			18	Banda 2/4
20			19	Double Beat			19	Disco Schlager			19	Norteno 2
21			20	Groove			20	Schlager 1			20	Quebradita
22			21	Jazz Funk			21	Schlager 2			21	Tejano
23			22	Al Swing			22	Schlager 3			22	Cajun
24			23	HipHop Funk			23	Schlager 4			23	Zydeco
25			24	HipHop Soul			24	Pop Schlager			24	Celtic Dream
26			25	Motown Shuffle			25	Petry Rock 1			25	
27			26	Pop Ballad 4			26	Petry Rock 2			26	
28			27	Rhythm & Blues			27	Trucker			27	
29			28	Soul 1			28	Schlager 5			28	
30			29	Memphis			29	Volkst.Schlager			29	
31			30	Motown 1			30	Sambamedley			30	
32			31	Gospel			31	Partymix			31	

#	CC#0	CC#32	PC	バンク : World 3 (ワールド3)	CC#0	CC#32	PC	バンク : Latin 1 (ラテン 1)	CC#0	CC#32	PC	バンク : Latin 2 (ラテン 2)
1	0	9	0	Flamenco	0	10	0	Guitar Bossa	0	11	0	Salsa 1
2			1	Oriental Dance 2			1	Unplugged Bossa			1	Salsa 2
3			2	Oriental Ballad			2	Cool Bossa			2	Mambo 1
4			3	Hora			3	Orchestral Bossa			3	Mambo Party
5			4	Sevillana 1			4	Meditation Bossa			4	English Tango
6			5	Sevillana 2			5	Basic Bossa			5	Orchestral Tango
7			6	Jota			6	L.A. Bossa			6	Tango.it
8			7	Copla			7	Groove Bossa			7	Italian Tango
9			8	Classic 3/4			8	New Bossa			8	Habanera 1
10			9	Bolero			9	Lite Bossa			9	Habanera 2
11			10	Minuetto			10	Lite Beguine			10	Mambo 2
12			11	Baroque			11	Latin Pop			11	Mambo 3
13			12	New Age			12	Latin Rock 1			12	Mambo 2000
14			13	Tarantella			13	Latin Rock 2			13	Salsa 3
15			14	Raspa			14	Latin Funk			14	Salsa 4
16			15	Vahde			15	Unplugged Latin			15	Mariachi
17			16	Oriental			16	Cha Cha 1			16	Reggae 1
18			17	Roman			17	Pop Cha Cha			17	Happy Reggae
19			18	Ciftetelli			18	Disco Cha Cha 1			18	Reggae 2
20			19				19	Disco Cha Cha 2			19	Reggae 3
21			20				20	Cha Cha 2			20	Pasodoble 1
22			21				21	Funky Cha Cha			21	Pasodoble Banda
23			22				22	Beguine 1			22	Pasodoble 2
24			23				23	Pop Beguine			23	Argentina Tango
25			24				24	Tradit. Bolero			24	
26			25				25	Slow Bolero			25	
27			26				26	Sabor			26	
28			27				27				27	
29			28				28				28	
30			29				29				29	
31			30				30				30	
32			31				31				31	
#	CC#0	CC#32	PC	バンク : Latin Dance (ラテン・ダンス)	CC#0	CC#32	PC	バンク : Jazz 1 (ジャズ 1)	CC#0	CC#32	PC	バンク : Jazz 2 (ジャズ 2)
1	0	12	0	Brazilian Samba	0	13	0	Bigger Band	0	14	0	Fast Big Band 1
2			1	Andean			1	Big Band 1			1	Dance Band
3			2	Gipsy Dance			2	Soft Jazz			2	Show Time
4			3	Latin Dance 1			3	BeBop 1			3	Movie Swing
5			4	Slow Latin Rock			4	Jazz Brush			4	Xmas Swing
6			5	Samba			5	Medium Swing			5	Django
7			6	Sambalegre			6	Slow Swing			6	Hollywood 1
8			7	Disco Samba			7	Swing Ballad 1			7	Hollywood 2
9			8	Samba Funk			8	50's Swing			8	Broadway
10			9	Rhumba 1			9	Swing Ballad 2			9	Dixieland
11			10	Merengue 1			10	Unplug. Swing 1			10	Big Band 4
12			11	Merengue 2			11	Swing Ballad 3			11	Swing Shuffle
13			12	Cumbia			12	BeBop 2			12	Fast Big Band 2
14			13	Latin Dance 2			13	Big Band Medium			13	Latin Big Band
15			14	Batucada			14	Big Band 40's			14	Big Band Fox 4
16			15	Rhumba 2			15	Big Band 2			15	Acid Jazz 2
17			16	Gipsy			16	Jazz Waltz 1			16	New Jazz
18			17	Pop Rhumba			17	Jazz Waltz 2			17	Latin Jazz
19			18	Calypso			18	Jazz Waltz 3			18	Fusion
20			19	Lambada			19	5/4 Swing			19	Ragtime Piano
21			20	Meneito			20	Vocal Swing			20	Shuffle Piano
22			21	Macarena			21	Big Band 3			21	Boogie Piano
23			22				22	Mood Swing			22	Bossa Piano
24			23				23	Unplug. Swing 2			23	
25			24				24	Big Band Ballad			24	
26			25				25				25	
27			26				26				26	
28			27				27				27	
29			28				28				28	
30			29				29				29	
31			30				30				30	
32			31				31				31	

#	CC#0	CC#32	PC	バンク : Traditional (トラディショナル)	CC#0	CC#32	PC	バンク : User 1 (ユーザー 1)	CC#0	CC#32	PC	バンク : User 2 (ユーザー 2)
1	0	15	0	Italian Waltz 1	0	17	0	New Beguine	0	18	0	The Avalon
2			1	German Waltz 1			1	Schlager Mix 1			1	6/8 R&B
3			2	Walzer Musette			2	Schlager Mix 2			2	Groovin'
4			3	Vienna Waltz			3	Dance Mix			3	90's Funk
5			4	Viennese			4	Soca Dance			4	Party Funk
6			5	Tradit. Polka			5	60's Dance			5	Fusion Funk
7			6	French March			6	70's Disco			6	New 3/4
8			7	March			7	MOtown 2			7	Fast 6/8
9			8	Italian Waltz 2			8	16 Beat John			8	Medium 6/4
10			9	Italian Waltz 3			9	8 Beat John			9	Rock Stomper
11			10	Italian Waltz 4			10	2 Beat Country			10	Bar Country
12			11	Valzer			11	Bajon			11	Wave Jazz 1
13			12	Italian Waltz 5			12	Ipanema			12	Wave Jazz 2
14			13	German Waltz 2			13	Samba De Sol			13	J-Ska Rock
15			14	German Waltz 3			14	Esta es la vida			14	J-Shamisen Rock
16			15	Laendler			15	Pop Shuffle 4			15	J-Okinawa Pop
17			16	Mazurka 1			16	Front Beat			16	J-Dance Pop
18			17	Mazurka 2			17	Long Train			17	Sound Track
19			18	Mazurka 3			18	2000 Hits			18	
20			19	Italian Polka			19	Questions			19	
21			20	Polka 1			20	8 Beat Rock 1			20	
22			21	Polka 2			21	8 Beat Rock 2			21	
23			22	German Polka			22	L.A. R & B			22	
24			23	Mazurka 4			23	Soul 2			23	
25			24	Polka 3			24	Boston Boy			24	
26			25				25	6/8 Jazz Pop			25	
27			26				26	J-Pop			26	
28			27				27	HipHop Funk 2			27	
29			28				28	Shuffle			28	
30			29				29	Jazz_Funk 2			29	
31			30				30	Blues			30	
32			31				31	6/8 Swing			31	
#	CC#0	CC#32	PC	バンク : User 3 (ユーザー 3)	CC#0	CC#32	PC	バンク : Direct FD 1-9 (ダイレクトFD 1 ~ 9)	CC#0	CC#32	PC	バンク : Direct HD 1-9 (ダイレクトHD 1 ~ 9)
1	0	19	0	El Bimbo	0	20-28	0		0	29-31	0	
2			1	Penelope			1				1	
3			2	Aoi Kage			2				2	
4			3	My Life			3				3	
5			4	Dancing Queen			4				4	
6			5	September			5				5	
7			6	Superstition			6				6	
8			7	Separate Ways			7				7	
9			8	Last Christmas			8				8	
10			9	Rule The world			9				9	
11			10	Lupin the 3rd'79			10				10	
12			11	Taiyo Ni Hoero			11				11	
13			12	MissionImpossibl			12				12	
14			13	60's Folk			13				13	
15			14	60's Rock 2			14				14	
16			15	70's Rock			15				15	
17			16	70's Soul			16				16	
18			17	70's Fusion			17				17	
19			18	80's PianoBallad			18				18	
20			19	80's Rock			19				19	
21			20	80's Pop			20				20	
22			21	80's Dance Pop			21				21	
23			22	Garage			22				22	
24			23	Samba House			23				23	
25			24	Brazilian D&B			24				24	
26			25	Trance			25				25	
27			26	Dance Classic			26				26	
28			27	R&B Classic			27				27	
29			28	Dancehall/Soca			28				28	
30			29	Reggae Dub			29				29	
31			30	J-Pop 2			30				30	
32			31	J-Guitar Pop			31				31	

スタイル・エレメント

Note : 本機のスタイル・エレメントは、プログラム・チェンジ (PC) メッセージを、Control を設定した MIDI チャンネル (Global モード、MIDI ページの MIDI In Channel タブ・ページで設定) で、外部から選択することができます。

PC	スタイル・エレメント	PC	スタイル・エレメント	PC	スタイル・エレメント	PC	スタイル・エレメント	PC	スタイル・エレメント
80	Variation 1	81	Variation 2	82	Variation 3	83	Variation 4	84	Intro 1
85	Intro 2	86	Fill 1	87	Fill 2	88	Ending 1	89	Ending 2
90	Fiil 3/Break	91	Fade IN/OUT	92	Memory	93	Bass Inversion	94	Manual Bass
95	Tempo Lock	96	Single Touch	97	Style Change	98	Intro 3/Count In		

シングル・タッチ・セッティング (STS)

Note : 本機のスタイルは、バンク・セレクト MSB (CC#0) バンク・セレクト LSB (CC#32) そしてプログラム・チェンジ (PC) メッセージを、Control を設定した MIDI チャンネル (Global モード、MIDI ページの MIDI In Channel タブ・ページで設定) で、外部から選択することができます。

CC#0	CC#32	PC	STS	PC	STS	PC	STS	PC	STS
STSを含むスタイルと同じ		64	STS 1	65	STS 2	66	STS 3	67	STS 4

サウンド

本機のファクトリー・サウンドのリストは以下の通りで、バンク・セレクトとプログラム・チェンジ・ナンバーの順で並んでいます。

リストには、サウンドを外部MIDI機器から選択するためのMIDIデータが含まれています。

CC00 : コントロール・チェンジ #0、またはバンク・セレクト MSB

CC32 : コントロール・チェンジ #32、またはバンク・セレクト LSB

PC : プログラム・チェンジ・ナンバー

バンク : サウンド / パフォーマンス・セレクトの名称

CC00	CC32	PC	サウンド名	バンク	GM2
121	0	0	Acoustic Piano	Piano	√
121	1	0	Ac. Piano Wide	Piano	√
121	2	0	Ac. Piano Dark	Piano	√
121	3	0	Grand Piano	Piano	
121	4	0	Classic Piano	Piano	
121	5	0	L/R Piano	Piano	
121	6	0	Piano & Vibes	Piano	
121	7	0	Piano & Strings	Piano	
121	0	1	Bright Piano	Piano	√
121	1	1	Bright PianoWide	Piano	√
121	2	1	Piano Pad 1	Piano	
121	3	1	Piano Pad 2	Piano	
121	4	1	Piano StringPad	Piano	
121	0	2	E. Gran Piano	Piano	√
121	1	2	E. Grand Wide	Piano	√
121	2	2	M1 Piano	Piano	
121	3	2	90's Piano	Piano	
121	4	2	2000's Piano	Piano	
121	5	2	Chorus Piano	Piano	
121	6	2	Piano Layers	Piano	
121	0	3	Honky-Tonk	Piano	√
121	1	3	Honky Wide	Piano	√
121	0	4	Electric Piano 1	E. Piano	√
121	1	4	Detuned EP 1	E. Piano	√
121	2	4	EP1 Veloc.sw	E. Piano	√
121	3	4	60's E. Piano	E. Piano	√
121	4	4	Vintage EP	E. Piano	
121	5	4	Pro Dyno EP	E. Piano	
121	6	4	Pro Stage EP	E. Piano	
121	7	4	Studio EP	E. Piano	
121	8	4	R&B E. Piano	E. Piano	
121	9	4	Thin E. Piano	E. Piano	
121	10	4	Dyno Tine EP	E. Piano	
121	11	4	Club E. Piano	E. Piano	
121	12	4	Classic Wurly	E. Piano	
121	13	4	Soft Wurly	E. Piano	
121	14	4	Hard Wurly	E. Piano	
121	15	4	Vel. Wurly	E. Piano	
121	16	4	Tremolo Wurly	E. Piano	
121	0	5	Electric Piano 2	E. Piano	√
121	1	5	Detuned EP 2	E. Piano	√
121	2	5	EP2 Veloc.sw	E. Piano	√
121	3	5	EP Legend	E. Piano	√
121	4	5	EP Phase	E. Piano	√
121	5	5	Syn Piano X	E. Piano	
121	6	5	Stereo Dig. EP	E. Piano	
121	7	5	Classic Dig. EP	E. Piano	
121	8	5	Hybrid EP	E. Piano	

CC00	CC32	PC	サウンド名	バンク	GM2
121	9	5	Classic Tines	E. Piano	
121	10	5	Phantom Tine	E. Piano	
121	11	5	DW8000 EP	E. Piano	
121	12	5	Sweeping EP	E. Piano	
121	13	5	White Pad EP	E. Piano	
121	0	6	Harpsichord	Piano	√
121	1	6	Harpsi Octave	Piano	√
121	2	6	Harpsi Wide	Piano	√
121	3	6	Harpsi Key Off	Piano	√
121	4	6	Harpsi Korg	Piano	
121	0	7	Clav	Piano	√
121	1	7	Pulse Clav	Piano	√
121	2	7	Clav Wah	Piano	
121	3	7	Clav Snap	Piano	
121	4	7	Sticky Clav	Piano	
121	0	8	Celesta	Mallet & Bell	√
121	0	9	Glocken	Mallet & Bell	√
121	1	9	Sistro	Mallet & Bell	
121	0	10	Music Box	Mallet & Bell	√
121	1	10	Orgel	Mallet & Bell	
121	0	11	Vibraphone 1	Mallet & Bell	√
121	1	11	Vibrap. Wide	Mallet & Bell	√
121	2	11	Vibraphone 2	Mallet & Bell	
121	0	12	Marimba	Mallet & Bell	√
121	1	12	Marimba Wide	Mallet & Bell	√
121	2	12	Marimba Key Off	Mallet & Bell	
121	3	12	Monkey Skuls	Mallet & Bell	
121	4	12	Log Drum	Drum & Perc.	
121	5	12	Mallet Clock	Mallet & Bell	
121	6	12	Balaphon	Mallet & Bell	
121	0	13	Xylophone	Mallet & Bell	√
121	0	14	Tubular Bell	Mallet & Bell	√
121	1	14	Church Bell 1	Mallet & Bell	√
121	2	14	Carillon	Mallet & Bell	√
121	3	14	Church Bell 2	Mallet & Bell	
121	0	15	Dulcimer	Mallet & Bell	√
121	1	15	Santur	Mallet & Bell	
121	0	16	Drawbars Organ1	Organ	√
121	1	16	Det.DrawbarsOrg.	Organ	√
121	2	16	lt. 60's Organ	Organ	√
121	3	16	Drawbars Organ2	Organ	√
121	4	16	Dark Jazz Organ	Organ	
121	5	16	Iper Dark Organ	Organ	
121	6	16	Full Drawbars	Organ	
121	7	16	DWGS Organ	Organ	
121	8	16	Jazz Organ	Organ	
121	9	16	Gospel Organ	Organ	
121	10	16	Good Old B	Organ	
121	11	16	VOX Legend	Organ	
121	12	16	Arabian Organ	Organ	
121	13	16	Gospel Organ Vel	Organ	
121	0	17	Perc. Organ 1	Organ	√
121	1	17	Det.Perc.Organ	Organ	√
121	2	17	Perc. Organ 2	Organ	√
121	3	17	Old Wheels	Organ	
121	4	17	Percuss. BX3	Organ	
121	5	17	M1 Organ	Organ	

CC00	CC32	PC	サウンド名	バンク	GM2
121	6	17	Techno Org.Bass	Organ	
121	7	17	BX3 Short Decay	Organ	
121	8	17	Rotary Organ	Organ	
121	9	17	Perc.StereoOrgan	Organ	
121	0	18	Rock Organ	Organ	√
121	1	18	BX3 Vel. Sw	Organ	
121	2	18	Killer B	Organ	
121	3	18	Dirty B	Organ	
121	4	18	Classic Click	Organ	
121	5	18	Distortion Organ	Organ	
121	6	18	Super BX Perc.	Organ	
121	7	18	Dirty Jazz Organ	Organ	
121	8	18	Perc.Short Decay	Organ	
121	9	18	Perc. Wheels	Organ	
121	10	18	Jimmy Organ	Organ	
121	0	19	Church Organ	Organ	√
121	1	19	Church Oct. Mix	Organ	√
121	2	19	Detuned Church	Organ	√
121	3	19	Pipe Mixture	Organ	
121	4	19	Church Pipes	Organ	
121	5	19	Full Pipes	Organ	
121	6	19	Pipe Tutti 1	Organ	
121	7	19	Positive Organ	Organ	
121	8	19	Pipe Tutti 2	Organ	
121	9	19	Pipe Tutti 3	Organ	
121	0	20	Reed Organ	Organ	√
121	1	20	Puff Organ	Organ	√
121	2	20	Small Pipe	Organ	
121	3	20	Flauto Pipes	Organ	
121	4	20	Pipe Flute	Organ	
121	0	21	Accordion 1	Accordion	√
121	1	21	Accordion 2	Accordion	√
121	2	21	Akordeon	Accordion	
121	3	21	Musette 1	Accordion	
121	4	21	Musette 2	Accordion	
121	5	21	Musette Clar.	Accordion	
121	6	21	Fisa 16, 8 1	Accordion	
121	7	21	Fisa 16, 4 1	Accordion	
121	8	21	Fisa Master	Accordion	
121	9	21	Cassotto	Accordion	
121	10	21	Arabic Accordion	Accordion	
121	11	21	Sweet Musette	Accordion	
121	12	21	Cassotto 16'	Accordion	
121	13	21	Cassotto Or.Tune	Accordion	
121	14	21	Cassotto NorTune	Accordion	
121	15	21	Detune Accordion	Accordion	
121	16	21	2 Voices Musette	Accordion	
121	17	21	3 Voices Musette	Accordion	
121	18	21	France Musette	Accordion	
121	19	21	Acc.Clarinet OT	Accordion	
121	20	21	Acc. Clarinet NT	Accordion	
121	21	21	Acc. Piccolo OT	Accordion	
121	22	21	Acc. Piccolo NT	Accordion	
121	23	21	Master Accordion	Accordion	
121	0	22	Harmonica 1	Accordion	√
121	1	22	Sweet Harmonica	Accordion	
121	2	22	Harmonica 2	Accordion	
121	3	22	Harmonica AT	Accordion	
121	0	23	Tango Accordion	Accordion	√
121	1	23	Fisa Tango!	Accordion	
121	2	23	Accordion 16 8'	Accordion	

CC00	CC32	PC	サウンド名	バンク	GM2
121	3	23	Accordion16 8 4'	Accordion	
121	4	23	Acc.16 8' & Bass	Accordion	
121	5	23	Accordion Bass	Accordion	
121	6	23	Acc.Voice Change	Accordion	
121	7	23	Accordion 16 4'	Accordion	
121	8	23	Acc.16 8 4' Plus	Accordion	
121	9	23	Acc. & Acc. Bass	Accordion	
121	0	24	Nylon Guitar 1	Guitar	√
121	1	24	Ukulele	Guitar	√
121	2	24	Nylon Key Off	Guitar	√
121	3	24	Nylon Guitar 3	Guitar	√
121	4	24	Nylon Bossa	Guitar	
121	5	24	Ac.Guitar KeyOff	Guitar	
121	6	24	Spanish Guitar	Guitar	
121	7	24	Guitar Strings	Guitar	
121	8	24	Nylon Gtr Pro1	Guitar	
121	9	24	Brazilian Guitar	Guitar	
121	10	24	Nylon Vel. Harm.	Guitar	
121	11	24	Nylon Gtr Pro2	Guitar	
121	12	24	Nylon Gtr RX1	Guitar	
121	13	24	Nylon Gtr RX2	Guitar	
121	14	24	Nylon Slide Pro	Guitar	
121	15	24	Nylon Guitar 2	Guitar	
121	0	25	Steel Guitar 1	Guitar	√
121	1	25	12 Strings Gtr	Guitar	√
121	2	25	Mandolin	Guitar	√
121	3	25	Steel & Body	Guitar	√
121	4	25	Steel Guitar 2	Guitar	
121	5	25	Steel 12 Strings	Guitar	
121	6	25	Hackbrett	Guitar	
121	7	25	Finger Key Off	Guitar	
121	8	25	Finger Tips	Guitar	
121	9	25	Steel Folk Gtr	Guitar	
121	10	25	Mandolin Key Off	Guitar	
121	11	25	Mandolin Trem.	Guitar	
121	12	25	Reso. Guitar	Guitar	
121	13	25	Steel Slide Pro1	Guitar	
121	14	25	Steel Slide Pro2	Guitar	
121	15	25	Steel Guitar RX1	Guitar	
121	16	25	Steel Guitar RX2	Guitar	
121	17	25	12 Strings Pro	Guitar	
121	18	25	12 Strings RX	Guitar	
121	19	25	Steel Guitar Pro	Guitar	
121	20	25	Steel Guitar 3	Guitar	
121	0	26	Jazz Guitar	Guitar	√
121	1	26	Pedal Steel Gtr1	Guitar	√
121	2	26	Club Jazz Gtr 1	Guitar	
121	3	26	Club Jazz Gtr 2	Guitar	
121	4	26	Pedal Steel Gtr2	Guitar	
121	5	26	Soft Jazz Guitar	Guitar	
121	6	26	JazzGtr SlidePro	Guitar	
121	0	27	Clean Guitar 2	Guitar	√
121	1	27	Det. Clean Gtr	Guitar	√
121	2	27	Mid Tone Gtr	Guitar	√
121	3	27	Chorus Guitar	Guitar	
121	4	27	Vintage S.2	Guitar	
121	5	27	Proces.E.Guitar	Guitar	
121	6	27	Single Coil	Guitar	
121	7	27	New Stra.Guitar	Guitar	
121	8	27	Guitarish	Guitar	
121	9	27	L&R E.Guitar 1	Guitar	

CC00	CC32	PC	サウンド名	バンク	GM2
121	10	27	L&R E.Guitar 2	Guitar	
121	11	27	Country Nu	Guitar	
121	12	27	Funky Wah Sw.	Guitar	
121	13	27	Clean Gtr Pro1	Guitar	
121	14	27	Single Coil Pro	Guitar	
121	15	27	Clean Gtr Pro2	Guitar	
121	16	27	Stra. Vel. Pro	Guitar	
121	17	27	Stra. Gtr Slide	Guitar	
121	18	27	Chorus Gtr Pro	Guitar	
121	19	27	Vintage S.1	Guitar	
121	20	27	Clean Guitar 1	Guitar	
121	21	27	Solid Guitar	Guitar	
121	22	27	Stein Guitar 1	Guitar	
121	23	27	Stein Guitar 2	Guitar	
121	24	27	Stein Guitar 3	Guitar	
121	0	28	Muted Guitar	Guitar	√
121	1	28	Funky Cut Gtr	Guitar	√
121	2	28	Mute Vel. Gtr	Guitar	√
121	3	28	Jazz Man	Guitar	√
121	4	28	R&R Guitar	Guitar	
121	5	28	Stra. Chime	Guitar	
121	6	28	Clean Mute Gtr	Guitar	
121	7	28	Rhythm E.Guitar	Guitar	
121	8	28	Clean Funk	Guitar	
121	9	28	Disto Mute	Guitar	
121	10	28	Clean Funk RX1	Guitar	
121	11	28	Clean Funk RX2	Guitar	
121	12	28	Funk Stein RX1	Guitar	
121	13	28	Funk Stein RX2	Guitar	
121	14	28	Clean Guitar RX1	Guitar	
121	15	28	Clean Guitar RX2	Guitar	
121	16	28	Clean Guitar RX3	Guitar	
121	17	28	Clean Guitar RX4	Guitar	
121	18	28	Clean Guitar RX5	Guitar	
121	0	29	Overdrive Guitar	Guitar	√
121	1	29	Guitar Pinch	Guitar	√
121	0	30	Distortion Gtr	Guitar	√
121	1	30	Feedback Guitar	Guitar	√
121	2	30	Dist.Rhythmic Gtr	Guitar	√
121	3	30	Joystick Gtr Y-	Guitar	
121	4	30	Power Chords	Guitar	
121	5	30	Mute Monster	Guitar	
121	6	30	Wet Dist. Guitar	Guitar	
121	7	30	Solo Dist. Guitar	Guitar	
121	8	30	Stereo Dist. Gtr	Guitar	
121	9	30	Dist. Guitar RX1	Guitar	
121	10	30	Dist. Guitar RX2	Guitar	
121	0	31	Guitar Harmonic	Guitar	√
121	1	31	Guitar Feedback	Guitar	√
121	2	31	E.Gtr Harmonics	Guitar	
121	0	32	Acoustic Bass	Bass	√
121	1	32	Ac. Bass Buzz	Bass	
121	2	32	Bass & Ride 2	Bass	
121	3	32	Acous. Bass Pro1	Bass	
121	4	32	Acous. Bass Pro2	Bass	
121	5	32	DarkWoody A.Bass	Bass	
121	6	32	Bass & Ride 1	Bass	
121	7	32	Acous. Bass RX	Bass	
121	0	33	Finger Bass 3	Bass	√
121	1	33	Finger Slap 2	Bass	√
121	2	33	Finger E.Bass1	Bass	

CC00	CC32	PC	サウンド名	バンク	GM2
121	3	33	Finger E.Bass2	Bass	
121	4	33	Finger E.Bass3	Bass	
121	5	33	Stick Bass	Bass	
121	6	33	Finger Bass 1	Bass	
121	7	33	Finger Bass 2	Bass	
121	8	33	Chorus Fing.Bass	Bass	
121	9	33	Bright Finger B.	Bass	
121	10	33	Finger Bass Vel.	Bass	
121	11	33	More mid! Bass	Bass	
121	12	33	Finger Slap 1	Bass	
121	13	33	Finger Bass RX	Bass	
121	14	33	FingerB.& Guitar	Bass	
121	0	34	Picked E.Bass 3	Bass	√
121	1	34	Picked E.Bass 1	Bass	
121	2	34	Picked E.Bass 2	Bass	
121	3	34	Stein Bass	Bass	
121	4	34	Guitar Bass	Bass	
121	5	34	Bass Mute	Bass	
121	6	34	Bass&Gtr Double	Bass	
121	7	34	Pick Bass Vel.1	Bass	
121	8	34	Pick Bass Vel.2	Bass	
121	9	34	Ticktacing Bass	Bass	
121	10	34	Picked Bass RX	Bass	
121	0	35	Fretless Bass 1	Bass	√
121	1	35	Fretless Bass2	Bass	
121	2	35	Fretless Sw.	Bass	
121	3	35	Sweet Fretless	Bass	
121	4	35	Dark R&B Bass1	Bass	
121	5	35	Dark R&B Bass2	Bass	
121	6	35	Woofer Pusher B.	Bass	
121	0	36	Slap Bass 2	Bass	√
121	1	36	Super Sw.Bass1	Bass	
121	2	36	Super Sw.Bass2	Bass	
121	3	36	FunkSlap Bass RX	Bass	
121	4	36	SlapFing Bass RX	Bass	
121	5	36	SlapPick Bass RX	Bass	
121	0	37	Slap Bass 3	Bass	√
121	1	37	Thumb Bass	Bass	
121	2	37	Dyna Bass	Bass	
121	3	37	Slap Bass Vel.	Bass	
121	4	37	Chorus Slap Bass	Bass	
121	5	37	The Other Slap	Bass	
121	6	37	Slap Bass 1	Bass	
121	0	38	Synth Bass 1	Bass	√
121	1	38	Syn Bass Warm	Bass	√
121	2	38	Syn Bass Reso	Bass	√
121	3	38	Clav Bass	Bass	√
121	4	38	Hammer	Bass	√
121	5	38	30303 Bass	Bass	
121	6	38	30303 Square	Bass	
121	7	38	Bass Square	Bass	
121	8	38	Syn Bass Res	Bass	
121	9	38	Digi Bass 1	Bass	
121	10	38	Digi Bass 2	Bass	
121	11	38	Digi Bass 3	Bass	
121	12	38	Blind as a Bat	Bass	
121	13	38	Jungle Bass	Bass	
121	14	38	Auto Pilot 1	Synth 2	
121	15	38	Hybrid Bass	Bass	
121	16	38	Dr. Octave	Bass	
121	17	38	Drive Bass	Bass	

CC00	CC32	PC	サウンド名	バンク	GM2
121	0	39	Synth Bass 2	Bass	√
121	1	39	Attack Bass	Bass	√
121	2	39	Rubber Bass	Bass	√
121	3	39	Attack Pulse	Bass	√
121	4	39	Euro Bass	Bass	
121	5	39	Jungle Rez	Bass	
121	6	39	Nasty Bass	Bass	
121	7	39	Phat Bass	Bass	
121	8	39	Poinker Bass	Bass	
121	9	39	Synth Bass 80ish	Bass	
121	10	39	Autofilter Bass	Bass	
121	11	39	Monofilter Bass	Bass	
121	12	39	Reso Bass	Bass	
121	13	39	Auto Pilot 2	Bass	
121	14	39	Bass4 Da Phunk	Bass	
121	0	40	Violin	Strings & Vocal	√
121	1	40	Slow Att.Violin	Strings & Vocal	√
121	2	40	Solo Violin	Strings & Vocal	
121	3	40	Slow Violin	Strings & Vocal	
121	0	41	Viola	Strings & Vocal	√
121	0	42	Cello	Strings & Vocal	√
121	0	43	Contrabass	Strings & Vocal	√
121	0	44	Tremolo Strings	Strings & Vocal	√
121	0	45	Pizzicato Str.	Strings & Vocal	√
121	1	45	Pizz. Ensemble	Strings & Vocal	
121	2	45	Pizz. Section	Strings & Vocal	
121	3	45	Double Strings	Strings & Vocal	
121	0	46	Orchestral Harp	Strings & Vocal	√
121	1	46	Yang Chin	Strings & Vocal	√
121	0	47	Timpani	Drum & Perc.	√
121	0	48	Strings Ens. 1	Strings & Vocal	√
121	1	48	Strings & Brass	Strings & Vocal	√
121	2	48	60 1 s Strings	Strings & Vocal	√
121	3	48	Stereo Strings	Strings & Vocal	
121	4	48	Legato Strings	Strings & Vocal	
121	5	48	i3 Strings	Strings & Vocal	
121	6	48	N Strings	Strings & Vocal	
121	7	48	Arco Strings	Strings & Vocal	
121	8	48	Octave Strings	Strings & Vocal	
121	9	48	Strings Quartet	Strings & Vocal	
121	10	48	Symphonic Bows	Strings & Vocal	
121	11	48	Ensemble & Solo	Strings & Vocal	
121	12	48	Camera Strings	Strings & Vocal	
121	13	48	Arabic Strings	Strings & Vocal	
121	14	48	Orchestra Tutti1	Strings & Vocal	
121	15	48	Strings & Horns	Strings & Vocal	
121	16	48	Orch. & Oboe 1	Strings & Vocal	
121	17	48	Orch. & Oboe 2	Strings & Vocal	
121	18	48	Strings & Glock.	Strings & Vocal	
121	19	48	Orchestra Tutti2	Strings & Vocal	
121	20	48	Orchestra&Flute	Strings & Vocal	
121	0	49	Strings Ens. 2	Strings & Vocal	√
121	1	49	Sweeper Strings	Strings & Vocal	
121	2	49	Full Strings	Strings & Vocal	
121	0	50	Synth Strings 1	Strings & Vocal	√
121	1	50	Synth Strings 3	Strings & Vocal	√
121	2	50	Analog Strings 2	Strings & Vocal	
121	3	50	Analog Velve	Strings & Vocal	
121	4	50	Odissey	Strings & Vocal	
121	5	50	Analog Strings 1	Strings & Vocal	
121	0	51	Synth Strings 2	Strings & Vocal	√

CC00	CC32	PC	サウンド名	バンク	GM2
121	0	52	Choir Aahs 1	Strings & Vocal	√
121	1	52	Choir Aahs 2	Strings & Vocal	√
121	2	52	Oooh Voices	Strings & Vocal	
121	3	52	Oooh Slow Voice	Strings & Vocal	
121	4	52	Take Voices 1	Strings & Vocal	
121	5	52	Take Voices 2	Strings & Vocal	
121	6	52	Oooh Choir	Strings & Vocal	
121	7	52	Aaah Choir	Strings & Vocal	
121	8	52	Mmmh Choir	Strings & Vocal	
121	9	52	Oh-Ah Voices	Strings & Vocal	
121	10	52	Slow Choir	Strings & Vocal	
121	11	52	Grand Choir	Strings & Vocal	
121	12	52	Choir Light	Strings & Vocal	
121	13	52	Strings Choir	Strings & Vocal	
121	0	53	Voice Ooohs	Strings & Vocal	√
121	1	53	Humming	Strings & Vocal	√
121	2	53	Doolally	Strings & Vocal	
121	3	53	Airways	Strings & Vocal	
121	0	54	Synth Voice	Strings & Vocal	√
121	1	54	Analog Voice	Strings & Vocal	√
121	2	54	Vocalesque	Strings & Vocal	
121	3	54	Vocalscape	Strings & Vocal	
121	4	54	Classic Vox	Strings & Vocal	
121	5	54	Dream Voice	Strings & Vocal	
121	0	55	Orchestra Hit	Brass	√
121	1	55	Bass Hit Plus	Brass	√
121	2	55	6th Hit	Brass	√
121	3	55	Euro Hit	Brass	√
121	4	55	Brass Impact	Brass	
121	5	55	Hit in India	SFX	
121	6	55	Wild Arp	Synth 2	
121	7	55	Flip Blip	Synth 2	
121	8	55	Netherland Hit	Brass	
121	0	56	Trumpet 1	Trumpet & Trbn.	√
121	1	56	Dark Trumpet	Trumpet & Trbn.	√
121	2	56	Trumpet 2	Trumpet & Trbn.	
121	3	56	Mono Trumpet	Trumpet & Trbn.	
121	4	56	Trumpet Expr	Trumpet & Trbn.	
121	5	56	Trumpet Pitch	Trumpet & Trbn.	
121	6	56	Dual Trumpets	Trumpet & Trbn.	
121	7	56	Flugel Horn	Trumpet & Trbn.	
121	8	56	Warm Flugel	Trumpet & Trbn.	
121	9	56	BeBop Cornet	Trumpet & Trbn.	
121	10	56	Trumpet Pro 1	Trumpet & Trbn.	
121	11	56	Trumpet Pro 2	Trumpet & Trbn.	
121	12	56	Sweet FlugelHorn	Trumpet & Trbn.	
121	13	56	Flugel Horn Pro	Trumpet & Trbn.	
121	0	57	Trombone 1	Trumpet & Trbn.	√
121	1	57	Trombone 2	Trumpet & Trbn.	√
121	2	57	Bright Trombone	Trumpet & Trbn.	√
121	3	57	Hard Trombone	Trumpet & Trbn.	
121	4	57	Soft Trombone	Trumpet & Trbn.	
121	5	57	Pitch Trombone	Trumpet & Trbn.	
121	6	57	Trombone Expr. 1	Trumpet & Trbn.	
121	7	57	Trombone Expr. 2	Trumpet & Trbn.	
121	8	57	Trombone Vel. 1	Trumpet & Trbn.	
121	9	57	Trombone Vel. 2	Trumpet & Trbn.	
121	10	57	Trombone Vel. 3	Trumpet & Trbn.	
121	11	57	Trombone Pro Vel	Trumpet & Trbn.	
121	0	58	Tuba	Trumpet & Trbn.	√
121	1	58	Oberkr. Tuba	Trumpet & Trbn.	

CC00	CC32	PC	サウンド名	バンク	GM2
121	2	58	Tuba Gold	Trumpet & Trbn.	
121	3	58	Dynabone	Trumpet & Trbn.	
121	0	59	Mute Trumpet 1	Trumpet & Trbn.	√
121	1	59	Mute Trumpet 2	Trumpet & Trbn.	√
121	2	59	Wah Trumpet	Trumpet & Trbn.	
121	3	59	Mute Ensemble 1	Brass	
121	4	59	Mute Ensemble 2	Brass	
121	0	60	French Horn 1	Brass	√
121	1	60	French Horn 2	Brass	√
121	2	60	French Section	Brass	
121	3	60	Classic Horns	Brass	
121	4	60	Horns & Ensemble	Brass	
121	0	61	Brass Section 1	Brass	√
121	1	61	Brass Section 2	Brass	√
121	2	61	Tight Brass 3	Brass	
121	3	61	Glen & Friends	Brass	
121	4	61	Big Band Brass	Brass	
121	5	61	Sax & Brass	Brass	
121	6	61	Glen & Boys	Brass	
121	7	61	Trumpet & Brass	Brass	
121	8	61	Attack Brass	Brass	
121	9	61	Trumpet Ens.	Brass	
121	10	61	Trombone Ens.	Brass	
121	11	61	Trombones	Brass	
121	12	61	Tight Brass 4	Brass	
121	13	61	Fat Brass	Brass	
121	14	61	Dyna Brass 1	Brass	
121	15	61	Brass Expr.	Brass	
121	16	61	Brass Band	Brass	
121	17	61	Film Brass	Brass	
121	18	61	Brass Slow	Brass	
121	19	61	Fanfare	Brass	
121	20	61	Movie Brass	Brass	
121	21	61	Power Brass	Brass	
121	22	61	Dyna Brass 2	Brass	
121	23	61	Storzato Brass	Brass	
121	24	61	Double Brass	Brass	
121	25	61	Brass Hit	Brass	
121	26	61	Brass Fall	Brass	
121	27	61	Tight Brass 1	Brass	
121	28	61	Tight Brass Pro	Brass	
121	29	61	Tight Brass 2	Brass	
121	30	61	Brass of Power	Brass	
121	0	62	Synth Brass 1	Brass	√
121	1	62	Synth Brass 3	Brass	√
121	2	62	Analog Brass 1	Brass	√
121	3	62	Jump Brass	Brass	√
121	4	62	Electrik Brass	Brass	
121	5	62	Synth Brass 5	Brass	
121	0	63	Synth Brass 2	Brass	√
121	1	63	Synth Brass 4	Brass	√
121	2	63	Analog Brass 2	Brass	√
121	3	63	Brass Pad	Brass	
121	4	63	Big Panner	Synth 1	
121	0	64	Soprano Sax	Sax	√
121	1	64	Sweet Soprano 3	Sax	
121	2	64	Soprano Pro	Sax	
121	3	64	Sweet Soprano 1	Sax	
121	4	64	Sweet Soprano 2	Sax	
121	0	65	Alto Sax	Sax	√
121	1	65	Alto Breath	Sax	

CC00	CC32	PC	サウンド名	バンク	GM2
121	2	65	Sax Ensemble	Sax	
121	3	65	Breathy Alto Sax	Sax	
121	4	65	Alto Sax Growl	Sax	
121	5	65	Sweet Alto Sax 1	Sax	
121	6	65	Sweet Alto Sax 2	Sax	
121	7	65	Soft Alto Sax	Sax	
121	8	65	Alto Sax Pro	Sax	
121	0	66	Tenor Sax	Sax	√
121	1	66	Tenor Sax Noise 1	Sax	
121	2	66	Soft Tenor	Sax	
121	3	66	Tenor Breath	Sax	
121	4	66	Tenor Growl	Sax	
121	5	66	Folk Sax	Sax	
121	6	66	Tenor Sax Noise 2	Sax	
121	7	66	Tenor Sax Expr. 1	Sax	
121	8	66	Tenor Sax Expr. 2	Sax	
121	9	66	Jazz Tenor Vel. 1	Sax	
121	10	66	Jazz Tenor Vel. 2	Sax	
121	11	66	Reed of Power	Sax	
121	0	67	Baritone Sax	Sax	√
121	1	67	Baritone Growl	Sax	
121	2	67	Breathy Baritone	Sax	
121	3	67	Baritone Sax Pro	Sax	
121	0	68	Oboe	Woodwind	√
121	1	68	Double Reed	Woodwind	
121	0	69	English Horn 1	Woodwind	√
121	1	69	English Horn 2	Woodwind	
121	0	70	Bassoon	Woodwind	√
121	0	71	Clarinet	Woodwind	√
121	1	71	Jazz Clarinet	Woodwind	
121	2	71	Clarinet G	Woodwind	
121	3	71	Section Winds 1	Woodwind	
121	4	71	Section Winds 2	Woodwind	
121	5	71	Clarinet Ens.	Woodwind	
121	6	71	Woodwinds	Woodwind	
121	7	71	Folk Clarinet	Woodwind	
121	0	72	Piccolo	Woodwind	√
121	1	72	Small Orchestra	Woodwind	
121	2	72	Nay	Woodwind	
121	0	73	Flute 1	Woodwind	√
121	1	73	Jazz Flute	Woodwind	
121	2	73	Flute Switch	Woodwind	
121	3	73	Flute Dyn. 5th	Woodwind	
121	4	73	Flute Frullato	Woodwind	
121	5	73	Orchestra Flute	Woodwind	
121	6	73	Flute Muted	Brass	
121	7	73	Wooden Flute	Woodwind	
121	8	73	Bambu Flute	Woodwind	
121	9	73	Flute 2	Woodwind	
121	0	74	Recorder 1	Woodwind	√
121	1	74	Recorder 2	Woodwind	
121	0	75	Pan Flute	Woodwind	√
121	1	75	Kawala	Woodwind	
121	0	76	Blown Bottle	Woodwind	√
121	0	77	Shakuhachi 1	Woodwind	√
121	1	77	Old Shakuhachi	Woodwind	
121	2	77	Shakuhachi 2	Woodwind	
121	0	78	Whistle 1	Woodwind	√
121	1	78	Whistle 2	Woodwind	
121	0	79	Ocarina	Woodwind	√
121	0	80	Lead Square 1	Synth 2	√

CC00	CC32	PC	サウンド名	バンク	GM2
121	1	80	Lead Square 2	Synth 2	√
121	2	80	Lead Sine	Synth 2	√
121	3	80	Old Portamento	Synth 2	
121	4	80	Dance Lead	Synth 2	
121	5	80	Wave Lead	Synth 2	
121	6	80	Sine Wave	Synth 2	
121	7	80	Analog Lead	Synth 2	
121	8	80	Old & Analog	Synth 2	
121	9	80	Gliding Square	Synth 2	
121	10	80	Sine Switch	Synth 2	
121	11	80	Square Rez	Synth 2	
121	12	80	Port Whine	Synth 2	
121	13	80	2VCO Planet Lead	Synth 2	
121	0	81	Lead Saw 1	Synth 2	√
121	1	81	Lead Saw 2	Synth 2	√
121	2	81	Lead Saw Pulse	Synth 2	√
121	3	81	Lead Double Saw	Synth 2	√
121	4	81	Seq. Analog	Synth 2	√
121	5	81	Power Saw	Synth 2	
121	6	81	Octo Lead	Synth 2	
121	7	81	Seq Lead	Synth 2	
121	8	81	Phat Saw Lead	Synth 2	
121	9	81	Glide Lead	Synth 2	
121	10	81	Fire Wave	Synth 2	
121	11	81	Rezbo	Synth 2	
121	12	81	Synth Pianoid	Synth 2	
121	0	82	Calliope	Synth 2	√
121	0	83	Chiff	Synth 2	√
121	0	84	Charang	Synth 2	√
121	1	84	Wire Lead	Synth 2	√
121	2	84	Synchro City	Synth 2	
121	3	84	Sync Kron	Synth 2	
121	4	84	Metallic Rez	Synth 2	
121	5	84	Brian Sync	Synth 2	
121	6	84	Arp Twins	Synth 2	
121	7	84	LoFi Ethnic	Synth 2	
121	0	85	Voice Lead	Strings & Vocal	√
121	1	85	Ether Voices	Strings & Vocal	
121	2	85	Cyber Choir	Strings & Vocal	
121	0	86	Fifths Lead	Synth 2	√
121	1	86	Crimson 5ths	Synth 1	
121	0	87	Bass & Lead	Synth 2	√
121	1	87	Soft Wrl	Synth 2	√
121	2	87	Electro Lead	Synth 2	
121	3	87	Rich Lead	Synth 2	
121	4	87	Thin Analog Lead	Synth 2	
121	5	87	Express. Lead	Synth 2	
121	6	87	HipHop Lead	Synth 2	
121	7	87	Square Bass	Synth 2	
121	8	87	Big & Raw	Synth 2	
121	9	87	Cat Lead	Synth 2	
121	10	87	OB Lead	Synth 2	
121	11	87	A Leadload	Synth 2	
121	0	88	New Age Pad	Synth 2	√
121	1	88	Virtual Traveler	Synth 1	
121	2	88	Arp Angeles	Synth 2	
121	0	89	Warm Pad	Synth 1	√
121	1	89	Sine Pad	Synth 1	√
121	2	89	Master Pad	Strings & Vocal	
121	3	89	Power Synth	Synth 2	
121	4	89	The Pad	Synth 1	

CC00	CC32	PC	サウンド名	バンク	GM2
121	5	89	Money Pad	Synth 1	
121	6	89	Dark Pad	Synth 1	
121	7	89	Freedom Pad	Synth 1	
121	8	89	Analog Pad 1	Synth 1	
121	9	89	Analog Pad 2	Synth 1	
121	10	89	Analog Pad 3	Synth 1	
121	11	89	Vintage Pad	Synth 1	
121	12	89	OB Pad	Synth 1	
121	13	89	Dark Anna	Synth 1	
121	14	89	Symphonic Ens.	Synth 1	
121	0	90	Polysynth	Synth 2	√
121	1	90	Reso Sweep	Synth 2	
121	2	90	Sky Watcher	Synth 1	
121	3	90	Synth Sweeper	Synth 2	
121	4	90	Super Sweep	Synth 1	
121	5	90	Wave Sweep	Synth 1	
121	6	90	Cross Sweep	Synth 1	
121	7	90	Digital PolySix	Synth 2	
121	8	90	Noisy Stabb	Synth 2	
121	9	90	Mega Synth	Synth 2	
121	10	90	Tecno Phonic	Synth 2	
121	11	90	Farluce	Synth 1	
121	12	90	Big Sweep Stab	Synth 1	
121	13	90	Korgmatose	Synth 1	
121	0	91	Choir Pad	Strings & Vocal	√
121	1	91	Itopia Pad	Synth 1	√
121	2	91	Fresh Air	Strings & Vocal	
121	3	91	Heaven	Strings & Vocal	
121	4	91	Pop Synth Pad	Synth 2	
121	5	91	Future Pad	Synth 1	
121	6	91	Tsunami Wave	Synth 1	
121	7	91	Fresh Breath	Strings & Vocal	
121	8	91	Ravelian Pad	Synth 1	
121	9	91	Full Vox Pad	Strings & Vocal	
121	10	91	Dance ReMix	Synth 1	
121	0	92	Bowed Glass	Synth 2	√
121	0	93	Metallic Pad	Synth 2	√
121	1	93	Cosmic	Synth 2	
121	0	94	Halo Pad	Strings & Vocal	√
121	0	95	Sweep Pad	Synth 1	√
121	1	95	Astral Dream	Synth 1	
121	2	95	Meditate	Synth 1	
121	3	95	Dark Element	Synth 2	
121	4	95	Mellow Pad	Synth 1	
121	5	95	Cinema Pad	Synth 1	
121	6	95	Reoccurring Astra	Synth 1	
121	7	95	Vintage Sweep	Synth 1	
121	8	95	You Decide	Synth 1	
121	0	96	Ice Rain	SFX	√
121	1	96	Motion Ocean	Synth 1	
121	2	96	Caribbean	Synth 2	
121	0	97	Soundtrack	Synth 1	√
121	1	97	Air Clouds	Synth 1	
121	2	97	Reso Down	Synth 1	
121	3	97	Tinklin Pad	Synth 1	
121	4	97	Pods In Pad	Synth 1	
121	5	97	Noble Pad	Synth 1	
121	6	97	Rave	Synth 1	
121	7	97	Elastick Pad	Synth 1	
121	0	98	Crystal	Synth 2	√
121	1	98	Synth Mallet	SFX	√

CC00	CC32	PC	サウンド名	バンク	GM2
121	2	98	Vs Bell Boy	Mallet & Bell	
121	3	98	Krystal Bell	Mallet & Bell	
121	4	98	Digi Bell	Mallet & Bell	
121	5	98	Moving Bell	Synth 1	
121	6	98	Bell Pad	Synth 1	
121	7	98	Bell Choir	Synth 1	
121	0	99	Atmosphere	Synth 2	√
121	0	100	Brightness	Synth 2	√
121	1	100	Lonely Spin	Synth 1	
121	2	100	Synth Ghostly	Synth 1	
121	0	101	Goblins	SFX	√
121	1	101	Motion Raver	Synth 2	
121	2	101	Digi Ice Pad	Synth 1	
121	3	101	VCF Modulation	Synth 2	
121	0	102	Echo Drops	SFX	√
121	1	102	Echo Bell	SFX	√
121	2	102	Echo Pan	SFX	√
121	3	102	Band Passed	Synth 2	
121	4	102	Pan Reso	Synth 2	
121	5	102	Moon Cycles	Synth 1	
121	0	103	Star Theme	SFX	√
121	0	104	Sitar 1	Guitar	√
121	1	104	Sitar 2	Guitar	√
121	2	104	Sitar Tambou	Guitar	
121	3	104	Indian Stars	Guitar	
121	4	104	Indian Frets	Guitar	
121	5	104	Bouzouki	Guitar	
121	6	104	Tambra	Guitar	
121	7	104	Sitar Sitar	Guitar	
121	0	105	Banjo	Guitar	√
121	1	105	Banjo Key Off	Guitar	
121	2	105	Oud	Guitar	
121	3	105	Jaw Harp	SFX	
121	0	106	Shamisen	Guitar	√
121	0	107	Koto	Guitar	√
121	1	107	Taisho Koto	Guitar	√
121	2	107	Kanun	Guitar	
121	3	107	Kanun Trem.	Guitar	
121	4	107	Kanun Mix	Guitar	
121	0	108	Kalimba	Mallet & Bell	√
121	1	108	Kalimba Vel.	Mallet & Bell	
121	0	109	Bag Pipes	Woodwind	√
121	1	109	War Pipes	Woodwind	
121	2	109	Uilleann BagPipes	Woodwind	
121	3	109	HighlandBagPipes	Woodwind	
121	0	110	Fiddle	Strings & Vocal	√
121	0	111	Shanai	Woodwind	√
121	1	111	Zurna	Woodwind	
121	2	111	Hichiriki	Woodwind	
121	0	112	Tinkle Bell	Mallet & Bell	√
121	1	112	Gamelan	Mallet & Bell	
121	2	112	Bali Gamelan	Mallet & Bell	
121	3	112	Garbage Mall	Mallet & Bell	
121	0	113	Agogo	Drum & Perc.	√
121	0	114	Steel Drums	Mallet & Bell	√
121	1	114	Warm Steel	Mallet & Bell	
121	0	115	Woodblock	Drum & Perc.	√
121	1	115	Castanets	Drum & Perc.	√
121	0	116	Taiko Drum	Drum & Perc.	√
121	1	116	Concert BassDrum	Drum & Perc.	√
121	0	117	Melodic Tom 1	Drum & Perc.	√

CC00	CC32	PC	サウンド名	バンク	GM2
121	1	117	Melodic Tom 2	Drum & Perc.	√
121	2	117	Reverse Tom	Drum & Perc.	
121	0	118	Synth Drum	Drum & Perc.	√
121	1	118	Rhythm Box Tom	Drum & Perc.	√
121	2	118	Electric Drum	Drum & Perc.	√
121	3	118	Reverse Snare	Drum & Perc.	
121	0	119	Reverse Cymbal	Drum & Perc.	√
121	1	119	Dragon Gong	Drum & Perc.	
121	0	120	Guitar FretNoise	SFX	√
121	1	120	Guitar Cut Noise	SFX	√
121	2	120	Ac. Bass String	SFX	√
121	3	120	Vox Wah Chick	Guitar	
121	0	121	Breath Noise	SFX	√
121	1	121	Flute Click	Woodwind	√
121	0	122	Seashore	SFX	√
121	1	122	Rain	SFX	√
121	2	122	Thunder	SFX	√
121	3	122	Wind	SFX	√
121	4	122	Stream	SFX	√
121	5	122	Bubble	SFX	√
121	0	123	Bird Tweet 1	SFX	√
121	1	123	Dog	SFX	√
121	2	123	Horse Gallop	SFX	√
121	3	123	Bird Tweet 2	SFX	√
121	0	124	Telephone 1	SFX	√
121	1	124	Telephone 2	SFX	√
121	2	124	Door Creak	SFX	√
121	3	124	Door	SFX	√
121	4	124	Scratch	SFX	√
121	5	124	Wind Chime	SFX	√
121	0	125	Helicopter	SFX	√
121	1	125	Car Engine	SFX	√
121	2	125	Car Stop	SFX	√
121	3	125	Car Pass	SFX	√
121	4	125	Car Crash	SFX	√
121	5	125	Siren	SFX	√
121	6	125	Train	SFX	√
121	7	125	Jet Plane	SFX	√
121	8	125	Starship	SFX	√
121	9	125	Burst Noise	SFX	√
121	0	126	Applause	SFX	√
121	1	126	Laughing	SFX	√
121	2	126	Screaming	SFX	√
121	3	126	Punch	SFX	√
121	4	126	Heart Beat	SFX	√
121	5	126	Footsteps	SFX	√
121	6	126	Stadium	SFX	
121	0	127	Gun Shot	SFX	√
121	1	127	Machine Gun	SFX	√
121	2	127	Laser Gun	SFX	√
121	3	127	Explosion	SFX	√
121	127	16	Digital Drawbars	Digi Organ	
121	64	0	Wah Gtr JS-Y	User 1	
121	64	1	Old Vibrato Syn	User 1	
121	64	2	Synth Oboe	User 1	
121	64	3-127	...	User 1	
121	65	0-127	...	User 2	
121	68	0-127	...	EXB1 Bank 1	
121	69	0-127	...	EXB1 Bank 2	
121	70	0-127	...	EXB2 Bank 1	
121	71	0-127	...	EXB2 Bank 2	

ドラム・キット

本機のファクトリー・ドラム・キットのリストは以下の通りで、バンク・セレクトとプログラム・チェンジ・ナンバーの順で並んでいます。

リストには、ドラム・キットを外部 MIDI 機器から選択するための MIDI データが含まれています。

CC00 : コントロール・チェンジ #0、またはバンク・セレクト MSB

CC32 : コントロール・チェンジ #32、またはバンク・セレクト LSB

PC : プログラム・チェンジ・ナンバー

CC00	CC32	PC	ドラム・キット名	GM2
120	0	0	Standard Kit RX1	√
120	0	1	Standard Kit RX2	
120	0	2	Standard Kit RX3	
120	0	3	Acoustic Kit	
120	0	4	Pop Std. Kit RX	
120	0	5	Standard Kit 1	
120	0	6	Standard Kit 2	
120	0	7	Standard Kit 3	
120	0	8	Room Kit 1	√
120	0	9	HipHop Kit 1	
120	0	10	Jungle Kit	
120	0	11	Techno Kit 1	
120	0	12	Room Kit 2	
120	0	13	HipHop Kit 2	
120	0	14	Techno Kit 2	
120	0	15	Techno Kit 3	
120	0	16	Power Kit 1	√
120	0	17	Power Kit 2	
120	0	18	Power Kit RX1	
120	0	19	Power Kit RX2	
120	0	20-23	(remap to 16)	
120	0	24	Electro Kit	√
120	0	25	Analog Kit	√
120	0	26	House Kit 1	
120	0	27	House Kit 2	
120	0	28	House Kit 3	
120	0	29	House Kit 4	

CC00	CC32	PC	ドラム・キット名	GM2
120	0	30	House Kit RX1	
120	0	31	House Kit RX2	
120	0	32	Jazz Kit RX1	√
120	0	33	Jazz Kit	
120	0	34	Jazz Kit RX2	
120	0	35	Jazz Kit RX3	
120	0	36-39	(remap to 32)	
120	0	40	Brush Kit 1	√
120	0	41	Brush Kit 2 VS	
120	0	42	Brush Kit RX	
120	0	43-47	(remap to 40)	
120	0	48	Orchestra Kit	√
120	0	49	(remap to 48)	
120	0	50	Bdrum & Sdrum	
120	0	51	Arabian Kit 1	
120	0	52-55	(remap to 48)	
120	0	56	SFX Kit	√
120	0	57-63	(remap to 56)	
120	0	64	Percussion Kit	
120	0	65	Latin Perc. Kit	
120	0	66	Trinity Perc.Kit	
120	0	67	i30 Perc. Kit	
120	0	68-71	(remap to 64)	
120	0	72	Hip Hop Kit RX	
120	0	73	Techno Kit RX	
120	0	74	Dance Kit RX	
120	0	75-87	(remap to 5)	
120	0	88	Standard Kit 4	
120	0	89-115	(remap to 5)	
120	0	116	(remap to 51)	
120	0	117	Arabian Kit 2	
120	0	118-127	(remap to 5)	
120	64	0-63	User DrumKits (1-64)	
120	68	0-63	EXB1 DrumKits (1-64)	
120	70	0-63	EXB2 DrumKits (1-64)	

マルチサンプル

ROM に内蔵された本機のファクトリー・マルチサンプルのリストは、以下の通りです。

0	AcousticPiano_L	41	Pipe Flute_L	82	Bariton Sax mf	123	Flugel Vibrato
1	AcousticPiano_R	42	Pipe Flute_R	83	Bariton Sax f	124	Flugel Horn M1
2	M1 Piano	43	Pipe Positive	84	Bariton Sax T1	125	Tuba
3	El.GrandPiano	44	Pipe Mixture	85	Tenor SaxVibrato	126	Trombone Vibrato
4	E.P. FM 1	45	Pipe Full 1_L	86	Tenor Sax	127	Trombone1 mf
5	E.P. FM 1LP	46	Pipe Full 1_R	87	Tenor Sax M1	128	Trombone1 ff
6	E.P. FM 2	47	Pipe Full 2	88	Tenor Sax Expr.	129	Trombone2 Soft
7	E.P. Dyno Soft	48	Kalimba	89	Alto Sax Vibrato	130	Trombone2 Bright
8	E.P. Dyno SoftLP	49	MusicBox	90	Alto Sax p	131	Trombone SlurUp
9	E.P. StageHard	50	MusicBoxLP	91	Alto Sax mf	132	Trombone Fall
10	E.P. StageHardLP	51	Marimba	92	Alto Sax Growl	133	Trumpet Medium
11	E.P. Wurly Soft	52	MarimbaLP	93	Alto Sax 01W	134	Trump. Overblown
12	E.P. Wurly Hard	53	Xylophone	94	Soprano SaxVibr.	135	Trumpet Expr.
13	E.P. Pad 1LP	54	Vibraphone	95	Soprano Sax	136	Trumpet Muted
14	E.P. Pad 2	55	VibraphoneLP	96	French Musette	137	Trumpet Wah Wah
15	Clav.	56	Celesta	97	Musette 1	138	Trumpet Doit
16	Harpsichord	57	CelestaLP	98	Musette 1LP	139	Trumpet Fall
17	GospelOrg.Slow_L	58	Glockenspiel	99	Musette 2	140	Brass Ens. 1
18	GospelOrg.Slow_R	59	GlockenspielLP	100	Accordion 16'	141	Brass Ens. 2
19	GospelOrg.Fast_L	60	Tubular Bell	101	Acc.16' OrigTune	142	Brass Ens. 2LP
20	GospelOrg.Fast_R	61	Log Drum	102	Accordion 8'	143	Voice Choir
21	E.Organ Perc 1	62	SteelDr Hard	103	Acc. 8' OrigTune	144	Voice ChoirREV
22	E.Organ Perc 2	63	SteelDr HardLP	104	Accordion 4'	145	Voice Pop Ooh
23	E.Organ Perc 3	64	Gamelan	105	Acc. 4' OrigTune	146	Voice Pop OohREV
24	E.Organ 2'Perc	65	FM Bell	106	Accordion 1	147	Voice Pop Ah
25	M1 Organ 1	66	Flute	107	Accordion 2	148	Voice Pop AhREV
26	M1 Organ 2	67	Flute Frull	108	Fisa Bassoon	149	Doo Voice
27	Organ 1	68	Voice Flute	109	Fisa Clarinet	150	Doo VoiceLP
28	Organ 2	69	Jazz Flute	110	Bandoneon	151	String Ens.
29	Organ 2LP	70	Piccolo	111	Accordion Bass	152	String Ens.REV
30	E.Organ Jazz	71	Pan Flute	112	Acc.Noise KeyOn	153	Pizzicato Ens.
31	Bx3&Perc 3rd	72	Shakuhachi	113	Acc.Noise KeyOff	154	Violin
32	E.Organ Vox	73	Shakuhachi Atk	114	Acc.Change Voic	155	Viola
33	E.Organ Soft	74	Bottle	115	Harmonica	156	Cello&Contrabass
34	E.Organ Full	75	Recorder	116	Harmonica Wah	157	Violin & Cello
35	E.Organ Dist	76	Ocarina	117	Highland B.Pipes	158	Pizzicato
36	Rotary Org1	77	Clarinet	118	Highland Drones	159	SteelGtr Pick p
37	Rotary Org1LP	78	M1 DoubleReed	119	Uilleann Pipes	160	SteelGtr Pick mf
38	Rotary Org2	79	Oboe	120	Bag Pipes	161	SteelGtr pick f
39	SuperBX3	80	English Horn	121	French Horn T1	162	SteelGtr Mute
40	SuperBX3LP	81	Bassoon	122	French Horn Ens.	163	SteelGtr Slide

164	A.Guitar Finger	209	Funky Gtr 1 Stra	254	Thumb Bass	299	An.Strings 1
165	A.Guitar Pick	210	Funky Gtr 2 Stra	255	SlapBassThumb	300	An.Strings 1 REV
166	A.Guitar Harmo.	211	Jazz Guitar1	256	SlapBassThumbLP	301	An.Strings 2
167	Folk Guitar	212	Jazz Guitar2	257	SlapBass Pull	302	An.Strings 2 REV
168	Folk 12 Strings	213	Jazz Guitar3 p	258	Fretless Bass	303	Analog Vintage
169	Nylon Guitar mp	214	Jazz Guitar3 mf	259	Bass Harmonics	304	White Pad
170	Nylon Guitar mf	215	Jazz Guitar3 f	260	Bass HarmoLP	305	White Pad REV
171	Nylon Guitar ff	216	Pedal Steel Gtr	261	Sitar	306	N1 Air Vox
172	Nylon GuitarAtk	217	Reso Guitar	262	Santur	307	N1 Air Vox REV
173	A.Gtr HiStrings	218	Overdrive Gtr	263	SanturLP	308	Ether Bell
174	A.Gtr 12Strings	219	Dist Guitar	264	Tambura	309	Ether BellLP
175	A.Gtr Harmonics	220	Dist Gtr1 Harmo.	265	TamburaLP	310	Lore
176	A.Gtr Noise	221	Dist Gtr1 Mute	266	Bouzouki	311	Lore NT
177	Clean Gtr1 Stra	222	Dist Gtr2 Harmo.	267	BouzoukiLP	312	Space Lore
178	Clean Gtr1 Mute	223	Dist Gtr2 Mute1	268	Ukulele	313	Space Lore REV
179	Clean Gtr2 Stra	224	Dist Gtr2 Mute2	269	Oud	314	Wave Sweep 1
180	Clean Gtr2 Mute	225	Power Chord	270	ClarinetLP	315	Wave Sweep 2
181	Clean Gtr3 Tele	226	A.Bass1	271	Kanun	316	Wave Sweep 3
182	Clean Gtr4 Str p	227	A.Bass2 mf	272	Kanun Tremolo	317	Syn Ghostly
183	Clean Gtr4 Str f	228	A.Bass2 f	273	Nay	318	Syn Ghostly REV
184	Clean Gtr4 Mute	229	E.Bass1 Finger	274	Mandolin	319	Syn Air Pad
185	Clean Gtr4 Dead	230	E.Bass2 P.B.1	275	MandolinLP	320	Syn Air Pad REV
186	Clean Gtr4 Slap	231	E.Bass2 P.B.2	276	Banjo	321	Dream Str
187	Clean Gtr4 Slide	232	E.Bass2 LH Stop	277	BanjoLP	322	Dream Str REV
188	E.Gtr Sberg p1	233	E.Bass2 RH Stop	278	Shamisen	323	Syn AirVortexREV
189	E.Gtr Sberg f1	234	E.Bass2 Harmo.	279	Koto	324	Syn Clicker
190	E.Gtr Sberg p2	235	E.Bass3 p	280	Harp	325	Syn Clicker REV
191	E.Gtr Sberg f2	236	E.Bass3 mf	281	Mouth Harp 1	326	Cricket Spectrum
192	E.Gtr Le Neck	237	E.Bass3 f Slap	282	Mouth Harp 2	327	Noise 1
193	E.Gtr Le Bridge	238	E.Bass4 Pick	283	Mouth Harp 3	328	Noise 2
194	E.Gtr Le Mute p	239	E.Bass4 Harmo.	284	Mouth Harp 4	329	Swish Terra
195	E.Gtr Le Mute mf	240	E.Bass4 Slap	285	Mouth Harp 5	330	Gamelan XEQ
196	E.Gtr Le Ghost1	241	E.Bass4 SlapHar	286	Syn Bass Reso 1	331	Saw 1
197	E.Gtr Le Ghost2	242	E.Bass4 LH Mute	287	Syn Bass FM 1	332	Saw 2
198	E.Gtr Vintage p	243	E.Bass4 RH Mute	288	Syn Bass FM 1LP	333	Saw 3
199	E.Gtr Vintage mf	244	E.Bass Gliss	289	Syn Bass FM 2	334	Pulse 02%
200	E.Gtr Solid p	245	E.Bass Noise1	290	Syn Bass FM 2LP	335	Pulse 05%
201	E.Gtr Solid mf	246	E.Bass Noise2	291	Syn Bass TB	336	Pulse 08%
202	E.Gtr Solid f	247	Finger Bass 1	292	RB Saw Bass	337	Pulse 16%
203	E.Gtr Harmonics	248	Finger Bass 1LP	293	RB Square Bass	338	Pulse 33%
204	E.Gtr Gliss Down	249	Finger Bass 2	294	Chrom Res	339	Pulse 40%
205	E.Gtr Gliss Up	250	Finger Bass 2LP	295	DetunedSuper	340	Square
206	E.Gtr Noise	251	Finger Bass 3	296	DetunedSuperREV	341	Square MG
207	E.Gtr ShortNoise	252	Pick Bass	297	Detuned PWM	342	Square JP
208	E.Gtr FretNoise	253	Pick Bass LP	298	Detuned PWM REV	343	Triangle MG

344 Ramp	389 Tele Ring REV	434 Cowbell
345 Ramp MG	390 Scream	435 Click
346 Sine	391 Punch	436 Temple Blocks
347 DWGS Syn Sine 1	392 Heart Beat	437 Orchestra BD
348 DWGS Syn Sine 2	393 Footstep 1	438 Castanet
349 DWGS Organ 1	394 Footstep 2	439 Taiko
350 DWGS Organ 2	395 Door Creak	440 Djembe Open
351 DWGS Bell 1	396 Door Slam	441 Djembe Mute
352 DWGS Bell 2	397 Car Engine	442 Chinese Gong
353 DWGS Bell 3	398 Car Engine LP	443 Snare Ghost
354 DWGS Bell 4	399 Car Stop	444 RainStick
355 DWGS Clav.	400 Car Pass	445 Empty
356 DWGS Digi 1	401 Car Crash	
357 DWGS Digi 2	402 Train	
358 DWGS Wire 1	403 Train REV	
359 DWGS Wire 2	404 Helicopter	
360 DWGS Sync 1	405 Helicopter REV	
361 DWGS Sync 2	406 Gun Shot	
362 DWGS Sync 3	407 Machine Gun	
363 Orchestra Hit	408 Machine Gun REV	
364 Band Hit	409 Laser Gun	
365 Impact Hit	410 Explosion	
366 Brass Fall	411 Wind	
367 Vox Wah Gtr	412 Timpani	
368 Vibe Chord	413 Crash	
369 Zap 1	414 Crash Reverse	
370 Zap 2	415 Orchestra Crash	
371 Stadium	416 Ride Jazz	
372 Applause	417 Ride Edge 1	
373 Birds 1	418 Ride Edge 2	
374 Birds 1 REV	419 HiHat Closed	
375 Birds 2	420 88 HiHat Open	
376 Crickets	421 88 Cowbell	
377 Crickets REV	422 88 Tom	
378 Church Bell	423 88 Conga	
379 Church Bell REV	424 88 Crash	
380 Thunder	425 Tom	
381 Stream	426 Tom Brush	
382 Bubble	427 Tom Process	
383 Bubble REV	428 Electric Tom	
384 Dog	429 Flexatone	
385 Gallop	430 Tambourine	
386 Gallop REV	431 Agogo Bell	
387 Laughing	432 Marc Tree	
388 Telephone Ring	433 Marc TreeLP	

ドラム・サンプル

ROM に内蔵された本機のファクトリー・ドラム・サンプルのリストは、以下の通りです。

0	BD Acoustic 1 p	41	BD Klanger	82	SD Dry 1	123	SD Vintage6
1	BD Acoustic 1 mf	42	SD Wood 1 p	83	SD Dry 2	124	SD AmbiHop
2	BD Acoustic 1 f	43	SD Wood 1 mf	84	SD Dry 3	125	SD Brasser
3	BD Acoustic 2 mf	44	SD Wood 1 f	85	SD Ghost Roll	126	SD Chili
4	BD Acoustic 2 f	45	SD Wood 2 pp	86	SD Ghost p	127	SD Whopper
5	BD Dry 1	46	SD Wood 2 p	87	SD Ghost f	128	Rim Shot p
6	BD Dry 2	47	SD Wood 2 mf	88	SD Full Room	129	Rim Shot f
7	BD Dry 3	48	SD Wood 2 f	89	SD Off Center	130	Side Stick Dry
8	BD Normal	49	SD Piccolo 1 pp	90	SD Jazz Ring	131	Side Stick Amb
9	BD SoftRoom	50	SD Piccolo 1 p	91	SD Amb.Piccolo	132	DrumStick Hit
10	BD Jazz	51	SD Piccolo 1 mf	92	SD Paper	133	Tom 1 Hi p
11	BD Pillow	52	SD Piccolo 1 f	93	SD Brush Hit	134	Tom 1 Hi f
12	BD Woofer	53	SD Piccolo 2 pp	94	SD Brush Tap 1	135	Tom 1 Mid p
13	BD MondoKill	54	SD Piccolo 2 p	95	SD Brush Tap 2	136	Tom 1 Mid f
14	BD Terminator	55	SD Piccolo 2 mf	96	SD Brush Swirl	137	Tom 1 Low p
15	BD Tubby	56	SD Piccolo 2 f	97	SD Big Rock	138	Tom 1 Low f
16	BD Gated	57	SD Solid 1 p	98	SD Yowie	139	Tom 1 Floor p
17	BD Tight	58	SD Solid 1 mf	99	SD Processed	140	Tom 1 Floor f
18	BD Squash	59	SD Solid 1 f	100	SD Cracker Room	141	Tom 2 Hi
19	BD Dance 1	60	SD Solid 2 p	101	SD Dance	142	Tom 2 Floor
20	BD Dance 2	61	SD Solid 2 mf	102	SD House 1	143	Tom 3 Hi
21	BD Dance 3	62	SD Solid 2 f	103	SD House 2	144	Tom 3 Lo
22	BD House 1	63	SD Maple 1 pp	104	SD House 3	145	Tom 3 Floor
23	BD House 2	64	SD Maple 1 p	105	SD House 4	146	Tom 4 Hi
24	BD House 3	65	SD Maple 1 mp	106	SD Small	147	Tom 4 Lo
25	BD House 4	66	SD Maple 1 mf	107	SD Rap	148	Tom Processed
26	BD House 5	67	SD Maple 1 f	108	SD Noise	149	Tom Jazz Hi
27	BD Liquid	68	SD Maple 1 ff	109	SD Reverse	150	Tom Jazz Floor
28	BD Techno 1	69	SD Maple 2 pp	110	SD Hip 1	151	Tom Brush Hi
29	BD Techno 2	70	SD Maple 2 p	111	SD Hip 2	152	HH1 Closed pp
30	BD Hip 1	71	SD Maple 2 mp	112	SD Hip 3	153	HH1 Closed p
31	BD Hip 2	72	SD Maple 2 mf	113	SD Hip 4	154	HH1 Closed mf
32	BD Hip 3	73	SD Maple 2 f	114	SD Hip 5	155	HH1 Closed f
33	BD Hip 4	74	SD Maple 2 ff	115	SD Hip 6	156	HH1 Foot mp
34	BD Pop Kick	75	SD Brass 1 p	116	SD Ringy	157	HH1 Foot mf
35	BD Dance 99	76	SD Brass 1 mf	117	SD Tiny	158	HH1 Open mp
36	BD Ambient	77	SD Brass 1 f	118	SD Vintage1	159	HH1 Open mf
37	BD Amb.Crackle	78	SD Brass 2 p	119	SD Vintage2	160	HH2 Closed pp
38	BD Amb.Rocker	79	SD Brass 2 mf	120	SD Vintage3	161	HH2 Closed p
39	BD Pop 99	80	SD Brass 2 f	121	SD Vintage4	162	HH2 Closed mp
40	BD Deep 88	81	SD Roll	122	SD Vintage5	163	HH2 Closed mf

164	HH2 Closed f	209	Ride 20' mf 2	254	Syn. Bongo 2	299	Bongo Hi Slap
165	HH2 Closed ff	210	Ride Brush	255	Syn. Castanet	300	Bongo Hi Stick1
166	HH2 Foot p	211	Ride Rivet	256	Syn. Shaker	301	Bongo Hi Stick2
167	HH2 Foot f	212	Ride Edge 1	257	Syn. Noise	302	Djembe Open
168	HH2 Open p	213	Ride Edge 2	258	Syn. FX 1	303	Djembe Mute
169	HH2 Open f	214	Ride Jazz	259	Syn. FX 2	304	Djembe Slap
170	HH3 Closed 1	215	Ride Cup	260	Syn. FX 3	305	Castanet Single
171	HH3 Closed 2	216	BD Orchestra	261	Syn. FX 4	306	Castanet Double
172	HH3 Foot	217	Orchestra Cymbal	262	Syn. FX 5	307	Guiro Long
173	HH3 Open 1	218	Timpani	263	Perc. Ahh	308	Guiro Short
174	HH3 Open 2	219	SD Orch. Roll	264	Boom	309	Maracas Push
175	HH3 Sizzle	220	SD Orchestra	265	E.Tom FM	310	Maracas Pull
176	HH4 Closed 1	221	Finger Snaps	266	E.Tom Real	311	Baya Open
177	HH4 Closed 2	222	Claps 1	267	Rim House 1	312	Baya Ghe
178	HH4 Foot	223	Claps 2	268	Rim House 2	313	Baya Mute 1
179	HH4 FootOpen	224	Claps 3	269	Zap 1	314	Baya Mute 2
180	HH4 Open	225	Claps 4	270	Zap 2	315	Baya Mute 3
181	HH Old Close 1	226	88 BD	271	DJ Scratch 1	316	Tabla Na
182	HH Old Open 1	227	88 SD	272	DJ Scratch 2	317	Tabla Open
183	HH Old TiteClose	228	99 SD	273	DJ Scratch 3	318	Tabla Tin
184	HH Old Close 2	229	88 Rimshot	274	DJ Scratch 4	319	Tabla Mute 1
185	HH Old Open 2	230	88 Claps	275	DJ Scratch 5	320	Tabla Mute 2
186	HH House Open 1	231	88 HH Close	276	DJ Scratch 6	321	Tabla Mute 3
187	HH House Open 2	232	88 HH Open	277	DJ Hit Rub	322	Taiko Open
188	HH Hip	233	99 HH Close	278	DJ Vocal Rub 1	323	Taiko Rim
189	HH Alpo Close	234	99 HH Open	279	DJ Vocal Rub 2	324	Tsuzumi
190	Crash 15' Edge 1	235	88 Crash	280	DJ BD Rub	325	Vibraslap
191	Crash 15' Edge 2	236	88 Tom	281	DJ SD Rub	326	Claves
192	Crash 17' Edge 1	237	88 Conga	282	Orchestra Hit	327	Woodblock 1
193	Crash 17' Edge 2	238	88 Claves	283	Band Hit	328	Woodblock 2
194	Crash 19' Open 1	239	88 Cowbell	284	Impact Hit	329	Timbale Lo Open
195	Crash 19' Open 2	240	88 Maracas	285	Conga Lo Open	330	Timbale Lo Mute
196	Crash 1	241	Syn. BD 1	286	Conga Lo MtSlap	331	Timbale Lo Rim
197	Crash 2	242	Syn. BD 2	287	Conga Lo Slap	332	Timbale Hi Edge
198	China	243	Syn. BD 3	288	Conga Hi Open	333	Timbale Hi Rim 1
199	Splash 8' Edge 1	244	Syn. BD 4	289	Conga Hi Mute	334	Timbale Hi Rim 2
200	Splash 8' Edge 2	245	Syn. BD Buzz	290	Conga Hi MtSlap	335	Timbale Paila
201	Splash	246	Syn. SD 1	291	Conga Hi Slap 1	336	Tambourine Push
202	Crash Reverse	247	Syn. SD 2	292	Conga Hi Slap 2	337	Tambourine Pull
203	Crash Dance 99	248	Syn. SD 3	293	Conga Heel	338	Tambourine Acc 1
204	Crash DDD-1	249	Syn. SD 4	294	Conga Toe	339	Tambourine Acc 2
205	Ride Dance 99	250	Syn. Rim Click	295	Bongo Lo Open	340	Triangle Open
206	Ride 20' mp 1	251	Syn. HH Closed	296	Bongo Lo Slap	341	Triangle Mute
207	Ride 20' mp 2	252	Syn. HH Open	297	Bongo Lo Stick	342	Cuica Hi
208	Ride 20' mf 1	253	Syn. Bongo 1	298	Bongo Hi Open	343	Cuica Lo

344 Shaker 1	381 Crickets	418 Fret Noise	455 Tabla Dom
345 Shaker 2	382 Cat	419 Dist. Slide 1	456 Tabla Flam
346 Cabasa Up	383 Growl	420 Dist. Slide 2	457 Tabla Rim
347 Cabasa Down	384 Heart Beat	421 E.Gtr Pick 1	458 Tabla Tak
348 Cabasa Tap	385 Punch	422 E.Gtr Pick 2	459 Tambourine Mute 1
349 Caxixi Hard	386 Tribe	423 Gtr Scratch 1	460 Tambourine Mute 2
350 Caxixi Soft	387 Rainstick	424 Gtr Scratch 2	461 Tambourine Open
351 Agogo Bell	388 Door Creak	425 Amp Noise	462 Timbales
352 Cowbell	389 Door Slam	426 Space Lore	463 Udu f open
353 Chacha Bell	390 Car Engine	427 Swish Terra	464 Alkis
354 Mambo Bell	391 Car Stop	428 Hand Drill	465 Bandir
355 Sleigh Bell	392 Car Pass	429 Mouth Harp	466 Bandir Closed
356 Rap Sleigh Bell	393 Car Crash	430 Jingle Bell	467 Bongo Roll
357 Finger Cymbal	394 Train	431 Bells Open	468 Darbuka 1 Tek 1
358 Marc Tree	395 Helicopter	432 Dbk Tky Mute	469 Darbuka 1 Tek 2
359 Marc Tree LP	396 Gun Shot 1	433 Dbk Tky Open	470 Darbuka 1 DumOp
360 Flexatone	397 Gun Shot 2	434 Dbk Tky Rim	471 Darbuka 1 Closed
361 Samba Whistle	398 Machine Gun	435 Djembe Bass	472 Darbuka 2
362 Chinese Gong	399 Laser Gun	436 Douf Dom Ak	473 Darbuka 3
363 Metal Hit	400 Explosion	437 Douf Rim Ak	474 Darbuka 4
364 Yeah!	401 Thunder	438 Douf Tek Ak 1	475 Darbuka D 1
365 Yeah! Solo	402 Wind	439 Douf Tek Ak 2	476 Darbuka D 2
366 Uhh	403 Stream	440 Pand Open	477 Darbuka D 3
367 Hit It	404 Bubble	441 Pand Pattern 1	478 Davul
368 Uhhhh Solo	405 Church Bell	442 Pand Pattern 2	479 Hollo 1
369 Comp Voice Noise	406 Telephone Ring	443 Pand Pattern 3	480 Hollo 2
370 Stadium	407 Xylophone Spectr	444 Pand Pattern 4	481 Kup 1
371 Applause	408 Cricket Spectrum	445 Rek Dom Ak	482 Kup 2
372 Scream	409 Air Vortex	446 Rek Jingle	483 Ramazan DVL 1
373 Laughing	410 Noise White	447 Rik 1	484 Ramazan DVL 2
374 Footsteps 1	411 Noise FM Mod	448 Rik 2	485 Ramazan DVL 3
375 Footsteps 2	412 Tubular	449 Rik 3	486 Tef 1
376 Click	413 Gamelan	450 Sagat Half Open	487 Tef 2
377 Bird 1	414 Tambura	451 Sagat Close	488 Tef 3
378 Bird 2	415 Gtr CutNois 1	452 Surdo L Mute	489 Empty
379 Dog	416 Gtr CutNois 2	453 Surdo L Open	490 SD Rock
380 Gallop	417 Power Chord	454 Tabla Medium	491 SD Normal

パフォーマンス

パフォーマンスは全てエディットが可能です。下の表を独自のパフォーマンス・リストのひな型としてお使いください。

Note : 本機のパフォーマンスは、バンク・セレクト MSB (CC#0) バンク・セレクト LSB (CC#32) そしてプログラム・チェンジ (PC) メッセージを、Control に設定した MIDI チャンネルで、外部から選択することができます。Control を設定したチャンネルは、Global モード、MIDI ページの MIDI In Channels タブ・ページで設定します。

#	CC#0	CC#32	PC	Bank: 1	CC#0	CC#32	PC	Bank: 2	CC#0	CC#32	PC	Bank: 3	CC#0	CC#32	PC	Bank: 4
1	1	0	0		1	1	0		1	2	0		1	3	0	
2			1				1				1				1	
3			2				2				2				2	
4			3				3				3				3	
5			4				4				4				4	
6			5				5				5				5	
7			6				6				6				6	
8			7				7				7				7	
9			8				8				8				8	
10			9				9				9				9	
11			10				10				10				10	
12			11				11				11				11	
13			12				12				12				12	
14			13				13				13				13	
15			14				14				14				14	
16			15				15				15				15	
#	CC#0	CC#32	PC	Bank: 5	CC#0	CC#32	PC	Bank: 6	CC#0	CC#32	PC	Bank: 7	CC#0	CC#32	PC	Bank: 8
1	1	4	0		1	5	0		1	6	0		1	7	0	
2			1				1				1				1	
3			2				2				2				2	
4			3				3				3				3	
5			4				4				4				4	
6			5				5				5				5	
7			6				6				6				6	
8			7				7				7				7	
9			8				8				8				8	
10			9				9				9				9	
11			10				10				10				10	
12			11				11				11				11	
13			12				12				12				12	
14			13				13				13				13	
15			14				14				14				14	
16			15				15				15				15	

#	CC#0	CC#32	PC	Bank: 9	CC#0	CC#32	PC	Bank: 10	CC#0	CC#32	PC	Bank: 11	CC#0	CC#32	PC	Bank: 12
1	1	8	0		1	9	0		1	10	0		1	11	0	
2			1				1				1				1	
3			2				2				2				2	
4			3				3				3				3	
5			4				4				4				4	
6			5				5				5				5	
7			6				6				6				6	
8			7				7				7				7	
9			8				8				8				8	
10			9				9				9				9	
11			10				10				10				10	
12			11				11				11				11	
13			12				12				12				12	
14			13				13				13				13	
15			14				14				14				14	
16			15				15				15				15	
#	CC#0	CC#32	PC	Bank: 13	CC#0	CC#32	PC	Bank: 14	CC#0	CC#32	PC	Bank: 15	CC#0	CC#32	PC	Bank: 16
1	1	12	0		1	13	0		1	14	0		1	15	0	
2			1				1				1				1	
3			2				2				2				2	
4			3				3				3				3	
5			4				4				4				4	
6			5				5				5				5	
7			6				6				6				6	
8			7				7				7				7	
9			8				8				8				8	
10			9				9				9				9	
11			10				10				10				10	
12			11				11				11				11	
13			12				12				12				12	
14			13				13				13				13	
15			14				14				14				14	
16			15				15				15				15	
#	CC#0	CC#32	PC	Bank: 17	CC#0	CC#32	PC	Bank: 18	CC#0	CC#32	PC	Bank: 19	CC#0	CC#32	PC	Bank: 20
1	1	16	0		1	17	0		1	18	0		1	19	0	
2			1				1				1				1	
3			2				2				2				2	
4			3				3				3				3	
5			4				4				4				4	
6			5				5				5				5	
7			6				6				6				6	
8			7				7				7				7	
9			8				8				8				8	
10			9				9				9				9	
11			10				10				10				10	
12			11				11				11				11	
13			12				12				12				12	
14			13				13				13				13	
15			14				14				14				14	
16			15				15				15				15	

サウンド(パッド用)

フロント・パネルの [PAD]1 ~ 4 にアサインできるサウンドは以下の通りです。

Style Play モード、Song Play モードで、サウンドをアサインすることができます。サウンドのアサインは、以下の手順で行います。

1. STYLE PLAY キー (または SONG PLAY キー) を押し、Style Play モード (または Song Play モード) へ入ります。
2. メイン・ページで Pad タブを押すと、アサインする画面が表示されます。
または MENU キー、「Pad Assign. Switch」を続けて押し、Pad タブを押してもアサインする画面が表示されます。
3. Pad タブ・ページで Pad 1 ~ 4 を設定します。

#	HIT - Drum	#	HIT - Percussion	#	HIT - World 1	#	Hit - World 2	#	HIT - Orchestral
1	88 Cowbell	1	Agogo 1	1	Baja 1	1	Kup 1	1	Brass Fall
2	88 Crash	2	Agogo 2	2	Baja 2	2	Kup 2	2	Orch.Cymbal 1
3	China	3	Castanet 1	3	China Gong	3	Kup 3	3	Orch.Cymbal 2
4	Crash 1	4	Castanet 2	4	Darbuka 1	4	Kup 4	4	Orch. Hit
5	Crash 2	5	Conga Hi	5	Darbuka 2	5	Ramazan 1	5	Orch. Snare
6	Rev. Cymbal	6	Conga Low	6	Darbuka 3	6	Ramazan 2	6	Orch. Sn. Roll
7	Ride 1	7	Conga Mute	7	Darbuka 4	7	Ramazan 3	7	Timpani 1
8	Ride 2	8	Conga Slap	8	Darbuka 5	8	Rek Dom Ak	8	Timpani 2
9	Ride Bell	9	Cowbell	9	Darbuka 6	9	Rik 1	9	Timpani 3
10	Splash	10	Cuica 1	10	Darbuka 7	10	Rik 2	10	Timpani 4
11	Sticks	11	Cuica 2	11	Darbuka 8	11	Rik 3	11	Orchestra Tutti
12	Rim-Shot	12	Jingle Bell	12	Davul	12	Sagat 1	12	
13	Hi Tom Flam	13	Long Guiro	13	Douf Rim Ak	13	Sagat 2	13	
14	Mid Tom Flam	14	Short Guiro	14	Dragon Gong	14	Tef 1	14	
15	Low Tom Flam	15	Open Bells	15	Hollo 1	15	Tef 2	15	
16	Tom Flam End	16	Rain Stick	16	Hollo 2	16	Tef 3	16	
17	Drum Single A	17	Tamb. Acc. 1	17		17	Tef 4	17	
18	Drum Single B	18	Tamb. Acc. 2	18		18	Tef 5	18	
19	Drum Single C	19	Tamb. Open	19		19	Tef 6	19	
20	Drum Single D	20	Tamb. Push	20		20		20	
21	Drum Sing.HouseA	21	Timbale Hi	21		21		21	
22	Drum Sing.HouseB	22	Timbale Low	22		22		22	
23	Drum Sing.HouseC	23	Timbale Rim 1	23		23		23	
24	Drum Sing.HouseD	24	Timbale Rim 2	24		24		24	
25	Drum Kit A	25	Triangle 1	25		25		25	
26	Drum Kit B	26	Triangle 2	26		26		26	
27	Drum Kit C	27	Vibra Slap	27		27		27	
28	Drum Kit D	28	Whistle 1	28		28		28	
29	Drum Kit E	29	Whistle 2	29		29		29	
30	Drum Kit F	30	Windchimes 1	30		30		30	
31		31	Windchimes 2	31		31		31	
32		32	Windchimes 3	32		32		32	

#	HIT - Drum	#	HIT - Voice	#	HIT - Blocks	#	HIT - Misc&SFX 1	#	HIT - Misc&SFX 2
1	Cosmic	1	Aah !	1	Blk Funk 1 A	1	Applause	1	Bubble
2	VCF Modulation	2	Hit it !	2	Blk Funk 1 B	2	Bird 1	2	Car Crash
3	Planet Lead	3	Laughing	3	Blk Funk 1 C	3	Bird 2	3	Car Engine
4	Brightness	4	Scream	4	Blk Funk 1 D	4	Cat	4	Car Pass
5	Crystal	5	Uuh !	5	Blk Funk 2 A	5	Church Bell	5	Car Stop
6	New Age Pad	6	Yeah ! 1	6	Blk Funk 2 B	6	Crickets	6	Explosion
7	Fifths Lead	7	Yeah ! 2	7	Blk Funk 2 C	7	Dist. Slide 1	7	Gun Shot
8	Calliope	8		8	Blk Funk 2 D	8	Dist. Slide 2	8	Helicopter
9	Caribbean	9		9	Blk Organ A	9	Dog	9	Jet Plane
10	Rezbo	10		10	Blk Organ B	10	Door Creak	10	Laser Gun
11	Digital Polixix	11		11	Blk Organ C	11	Door Slam	11	Machine Gun
12	Motion Raver	12		12	Blk Organ D	12	Footsteps 1	12	Phone Ring
13	Moving Bell	13		13	Blk Choir A	13	Footsteps 2	13	Punch
14	Elastick Pad	14		14	Blk Choir B	14	Heart Beat	14	River
15	Rave	15		15	Blk Choir C	15	Horse Gallop	15	Seashore
16	Dance Remix	16		16	Blk Choir D	16	Lion	16	Siren
17	Vintage Sweep	17		17		17	Scratch 1	17	Starship
18	You Decide	18		18		18	Scratch 2	18	Thunder
19		19		19		19	Scratch 3	19	Train
20		20		20		20	Scratch 4	20	Wind
21		21		21		21	Scratch 5	21	
22		22		22		22	Scratch 6	22	
23		23		23		23	Stadium	23	
24		24		24		24		24	
25		25		25		25		25	
26		26		26		26		26	
27		27		27		27		27	
28		28		28		28		28	
29		29		29		29		29	
30		30		30		30		30	
31		31		31		31		31	
32		32		32		32		32	

#	SEQ - Drum	#	SEQ - Percussion	#	SEQ - Groove	#	SEQ - Bass	#	SEQ - Piano
1	Drum DrumBasSolo	1	Perc FingerSnap	1	Grv Drum 1	1	Bass Pick Easy	1	Piano Accomp 1
2	Drum Snare Solo	2	Perc Triang.+HH	2	Grv Drum 2	2	Bass Pick Med.	2	Piano Accomp 2
3	Drum 8 Bt Easy	3	Perc Latin 1	3	Grv Brush	3	Bass Pick Busy	3	Piano Accomp 3
4	Drum 8 Bt Medium	4	Perc Latin 2	4	Grv Jazzy	4	Bass Finger Easy	4	Piano Accomp 4
5	Drum Rock 1	5	Perc Latin 3	5	Grv Latin	5	Bass Finger Med.	5	Piano Accomp 5
6	Drum Rock 2	6	Perc Mix	6	Grv HipHop 1	6	Bass Finger Walk	6	Piano Accomp 6
7	Drum Brush 1 æ	7	Perc Soft	7	Grv HipHop 2	7	Bass Latin	7	Piano Accomp 7
8	Drum Brush 2 æ	8	Perc Conga	8	Grv HipHop 3	8	Bass Slap	8	Piano Accomp 8
9	Drum Disco 1	9	Perc Conga+Ride	9	Grv HipHop 4	9	Bass Digital	9	Piano Accomp 9
10	Drum Disco 2	10	Perc Conga+Mix	10	Grv HipHop 5	10	Bass Synth	10	Piano Arpeg. 1
11	Drum Disco 3	11	Perc Conga+Bongo	11	Grv HipHop 6	11	Bass DigiFilter1	11	Piano Arpeg. 2
12	Drum Disco 4	12	Perc Conga+Tamb.	12	Grv Funk 1	12	Bass DigiFilter2	12	Piano Arp 1 æ
13	Drum Funk 1	13	Perc Shaker	13	Grv Funk 2	13	Bass DigiFilter3	13	Piano Arp 2 æ
14	Drum Funk 2	14	Perc Shak+Tamb 1	14	Grv Funk 3	14		14	Piano Arp Down
15	Drum Brush Shuff	15	Perc Shak+Tamb 2	15	Grv House 1	15		15	Piano Arp Up
16	Drum Latin	16	Perc Shak+Cong 1	16	Grv House 2	16		16	Piano Rhythm 1/8
17	Drum Progressiv1	17	Perc Shak+Cong 2	17	Grv Analog	17		17	Piano Rhythm1/8T
18	Drum Progressiv2	18	Perc Tambourine1	18	Grv Garage 1	18		18	Piano Latin Rock
19	Drum Fill 1	19	Perc Tambourine2	19	Grv Garage 2	19		19	Piano Salsa 1
20	Drum Fill 2	20	Perc Tamb+Conga1	20	Grv Dance 1	20		20	Piano Salsa 2
21	Drum Break	21	Perc Tamb+Conga2	21	Grv Dance 2	21		21	Pno GlissDwnWhit
22	Drum End	22	Perc Guiro+Bongo	22	Grv Techno 1	22		22	Pno GlissUpWhite
23		23	Perc Cowbel+Tamb	23	Grv Techno 2	23		23	Pno GlissDwnBlak
24		24	Perc æ	24		24		24	Pno GlissUpBlack
25		25	Perc 6/8	25		25		25	Honky End
26		26		26		26		26	
27		27		27		27		27	
28		28		28		28		28	
29		29		29		29		29	
30		30		30		30		30	
31		31		31		31		31	
32		32		32		32		32	

#	SEQ - Guitar	#	SEQ - Orchestral	#	SEQ - Solo	#	SEQ - Synth&Pad	#	SEQ - Misc&SFX
1	Gtr Steel Strum1	1	Timpani Roll 1	1	Solo Marimba	1	Synth Seq 1	1	Military 1
2	Gtr Steel Strum2	2	Timpani Roll 2	2	Solo Kalimba 1	2	Synth Seq 2	2	Military 2
3	Gtr Steel Strum3	3	Orch. Tutti 1	3	Solo Kalimba 2	3	Synth Seq 3	3	Military 3
4	Gtr Steel Strum4	4	Orch. Tutti 2	4	Solo Steel Drums	4	Synth Seq 4	4	Military 4
5	Gtr Steel Strum5	5	Orch. Tutti 3	5	Solo Vibes	5	Synth Seq 5	5	Horror 1
6	Gtr Steel Strum6	6	Orch. Tutti 4	6	Solo Gtr Dist.	6	Synth Seq 6	6	Horror 2
7	GtSteelStrum æ	7	Orch. Harp 1	7	Solo Slide Steel	7	Synth Seq 7	7	Horror 3
8	Gtr Steel Arp 1	8	Orch. Harp 2	8	Solo Banjo	8	Synth Seq 8	8	Horror 4
9	Gtr Steel Arp 2	9	Orch. Harp 3	9	Solo Violin	9	Synth Seq 9	9	Lullaby 1
10	Gtr Steel Arp 3	10	Orch. Harp 4	10	Solo Harpsi æ	10	Synth Seq 10	10	Lullaby 2
11	GtrSteel Arp 6/8	11	Orch. Harp 5	11	Solo Harpsi 4/4	11	Synth Seq 11	11	Nature - River
12	Gtr Steel Mute 1	12	French Horns 1	12	Solo Gtr Funk	12	Synth Portam. 1	12	Nature - Storm
13	Gtr Steel Mute 2	13	French Horns 2	13	Solo Piano 1	13	Synth Portam. 2	13	Metronome æ
14	Guitar Country	14	Strings 1	14	Solo Piano 2	14	Synth Portam. 3	14	PreCount æ
15	Gtr Nylon Strum1	15	Strings 2	15	Solo Piano 3	15	Synth Portam. 4	15	Metronome 4/4
16	Gtr Nylon Strum2	16	Strings 3	16	Solo Piano 4	16	Synth Filter 1	16	PreCount 4/4
17	Gtr Nylon Strum3	17	Strings 4	17	Solo Synth 1	17	Synth Filter 2	17	PreCount 4/4 Dbl
18	Gtr Nylon Strum4	18	Strings 5	18	Solo Synth 2	18	Synth Pad Panned	18	Toccatà
19	Gtr Nylon Strum5	19	Strings 6	19	Solo Synth 3	19	Synth Master Pad	19	5th Intro
20	Gtr Nylon Strum6	20	Strings 7	20	Solo Synth 4	20	Synth Dark Pad	20	Primavera
21	Gtr Nylon Arp 1	21		21	Solo Synth 5	21		21	Circus 1
22	Gtr Nylon Arp 2	22		22	Solo Synth 6	22		22	Circus 2
23	Gtr Nylon Arp 3	23		23	Solo Guitar 1	23		23	
24	GtrNylon Arp æ	24		24	Solo Guitar 2	24		24	
25		25		25	Solo Guitar 3	25		25	
26		26		26				26	
27		27		27				27	
28		28		28				28	
29		29		29				29	
30		30		30				30	
31		31		31				31	
32		32		32				32	

MIDI の設定

		初期値	マスター・ キーボード	シーケンサー 1	シーケンサー 2	MIDI アコーディオン 1	MIDI アコーディオン 2	MIDI アコーディオン 3	外部シーケンサー
MIDI IN チャンネル	1	S1 Tr 1	グローバル (Global)	S1 Tr 1	S2 Tr 1	グローバル (Global)	アッパー 1 (Upp1)	アッパー 1 (Upp1)	S1 Tr 1
	2	S1 Tr 2	コントロール (Control)	S1 Tr 2	S2 Tr 2	ローワー (Lower)	ローワー (Lower)	ローワー (Lower)	S1 Tr 2
	3	S1 Tr 3		S1 Tr 3	S2 Tr 3	Bass (ベース)		ベース (Bass)	S1 Tr 3
	4	S1 Tr 4		S1 Tr 4	S2 Tr 4		アッパー 2 (Upp2)	アッパー 2 (Upp2)	S1 Tr 4
	5	S1 Tr 5		S1 Tr 5	S2 Tr 5		アッパー 3 (Upp3)	アッパー 3 (Upp3)	S1 Tr 5
	6	S1 Tr 6		S1 Tr 6	S2 Tr 6				S1 Tr 6
	7	S1 Tr 7		S1 Tr 7	S2 Tr 7				S1 Tr 7
	8	S1 Tr 8		S1 Tr 8	S2 Tr 8				S1 Tr 8
	9	S1 Tr 9		S1 Tr 9	S2 Tr 9		ベース (Bass)		S1 Tr 9
	10	S1 Tr 10		S1 Tr 10	S2 Tr 10	ドラム (Drum)	ドラム (Drum)	ドラム (Drum)	S1 Tr 10
	11	S1 Tr 11		S1 Tr 11	S2 Tr 11	パーカッション (Perc)	パーカッション (Perc)	パーカッション (Perc)	S1 Tr 11
	12	S1 Tr 12		S1 Tr 12	S2 Tr 12	伴奏 1 (Acc1)	伴奏 1 (Acc1)	伴奏 1 (Acc1)	S1 Tr 12
	13	S1 Tr 13		S1 Tr 13	S2 Tr 13	伴奏 2 (Acc2)	伴奏 2 (Acc2)	伴奏 2 (Acc2)	S1 Tr 13
	14	S1 Tr 14		S1 Tr 14	S2 Tr 14	伴奏 3 (Acc3)	伴奏 3 (Acc3)	伴奏 3 (Acc3)	S1 Tr 14
	15	S1 Tr 15		S1 Tr 15	S2 Tr 15	伴奏 4 (Acc4)	伴奏 4 (Acc4)	伴奏 4 (Acc4)	S1 Tr 15
	16	S1 Tr 16		S1 Tr 16	S2 Tr 16	伴奏 5 (Acc5)	伴奏 5 (Acc5)	伴奏 5 (Acc5)	S1 Tr 16
MIDI OUT チャンネル	1	アッパー 1 (Upp1)	アッパー 1 (Upp1)	S1 Tr 1	S2 Tr 1	アッパー 1 (Upp1)	S1 Tr 1	S2 Tr 1	アッパー 1 (Upp1)
	2	アッパー 2 (Upp2)	アッパー 2 (Upp2)	S1 Tr 2	S2 Tr 2	アッパー 2 (Upp2)	S1 Tr 2	S2 Tr 2	
	3	アッパー 3 (Upp3)	アッパー 3 (Upp3)	S1 Tr 3	S2 Tr 3	アッパー 3 (Upp3)	S1 Tr 3	S2 Tr 3	
	4	ローワー (Lower)	ローワー (Lower)	S1 Tr 4	S2 Tr 4	ローワー (Lower)	S1 Tr 4	S2 Tr 4	
	5			S1 Tr 5	S2 Tr 5		S1 Tr 5	S2 Tr 5	
	6			S1 Tr 6	S2 Tr 6		S1 Tr 6	S2 Tr 6	
	7			S1 Tr 7	S2 Tr 7		S1 Tr 7	S2 Tr 7	
	8			S1 Tr 8	S2 Tr 8		S1 Tr 8	S2 Tr 8	
	9	ベース (Bass)	ベース (Bass)	S1 Tr 9	S2 Tr 9	ベース (Bass)	S1 Tr 9	S2 Tr 9	
	10	ドラム (Drum)	ドラム (Drum)	S1 Tr 10	S2 Tr 10	ドラム (Drum)	S1 Tr 10	S2 Tr 10	
	11	パーカッション (Perc)	パーカッション (Perc)	S1 Tr 11	S2 Tr 11	パーカッション (Perc)	S1 Tr 11	S2 Tr 11	
	12	伴奏 1 (Acc1)	伴奏 1 (Acc1)	S1 Tr 12	S2 Tr 12	伴奏 1 (Acc1)	S1 Tr 12	S2 Tr 12	
	13	伴奏 2 (Acc2)	伴奏 2 (Acc2)	S1 Tr 13	S2 Tr 13	伴奏 2 (Acc2)	S1 Tr 13	S2 Tr 13	
	14	伴奏 3 (Acc3)	伴奏 3 (Acc3)	S1 Tr 14	S2 Tr 14	伴奏 3 (Acc3)	S1 Tr 14	S2 Tr 14	
	15	伴奏 4 (Acc4)	伴奏 4 (Acc4)	S1 Tr 15	S2 Tr 15	伴奏 4 (Acc4)	S1 Tr 15	S2 Tr 15	
	16	伴奏 5 (Acc5)	伴奏 5 (Acc5)	S1 Tr 16	S2 Tr 16	伴奏 5 (Acc5)	S1 Tr 16	S2 Tr 16	
コード 1 チャンネル	オフ (Off)	1	オフ (Off)	オフ (Off)	2	2	2	オフ (Off)	
コード 2 チャンネル	オフ (Off)	オフ (Off)	オフ (Off)	オフ (Off)	3	3	オフ (Off)	オフ (Off)	
ハーモニー・チャンネル	1	1	1	1	2	2	2	1	
ハーモニー・オクターブ	1	1	1	1	- 1	- 1	- 1	1	
ハーモニー・キー・レンジ HI	G9	G9	G9	G9	G9	G9	G9	G9	
ハーモニー・キー・レンジ LO	C -1	C -1	C -1	C -1	C -1	C -1	C -1	C -1	
MIDI IN ベロシティ	ノーマル	ノーマル	ノーマル	ノーマル	110	110	ノーマル	ノーマル	
MIDI IN オクターブ・トランスポーズ	√	√	√	√	√	√	√	√	
MIDI IN ミュート / アンミュート	√	√			√	√	√	√	
アッパー・オクターブ・トランスポーズ	0	0	0	0	0	0	0	0	
ローワー・オクターブ・トランスポーズ	0	0	0	0	0	0	0	0	

アサインブル・パラメーター

アサインブル・フットスイッチと EC5 のファンクション・リスト

[ASSIGN.] ペダル端子に接続した、アサインブル・フットスイッチ、または [EC5] マルチ・スイッチ端子に接続したコルグ EC5 スイッチ・ペダルにアサインできるファンクションは、以下の通りです。

Hint: アサインブル・フットスイッチにファンクションをアサインするときは、以下の手順で行います。

1. GLOBAL キーを押し、Global モードへ入ります。
2. MENU キー、「Controllers」を続けて押し、Pedal Switch タブを押しします。
3. 「Pedal/Footswitch」の Pedal/Footswitch のファンクションを設定します。

Hint: EC5 にファンクションにファンクションをアサインすることができます。ファンクションのアサインは、以下の手順で行います。

1. GLOBAL キーを押し、Global モードへ入ります。
2. MENU キー、「Controllers」を続けて押し、EC5 タブを押しします。
3. EC5 の A ~ E のファンクションをそれぞれ設定します。

ファンクション	動作	
Off (オフ)	アサインされた機能なし	
Style Start/Stop (スタイル・スタート/ストップ)	コントロール・パネル上のキーと同じ機能	
Play/Stop Seq 1 (シーケンサー 1 プレイ/ストップ)		
Play/Stop Seq 2 (シーケンサー 2 プレイ/ストップ)		
Pause Seq 1 (ポーズ・シーケンサー 1)		
Pause Seq 2 (ポーズ・シーケンサー 2)		
Synchro Start (シンクロ・スタート)		
Synchro Stop (シンクロ・ストップ)		
Tap Tempo/Reset (タップ・テンポ/リセット)		
Tempo Lock (テンポ・ロック)		
Ritardando (リタルダンド)		テンポの値が徐々に減少
Accelerando (アツチェランド)		テンポの値が徐々に増加
Tempo Up (テンポ・アップ)		テンポの値を増加
Tempo Down (テンポ・ダウン)		テンポの値を減少
Intro 1 (イントロ 1)	コントロール・パネル上のキーと同じ機能	
Intro 2 (イントロ 2)		
Intro 3/Count In (イントロ 3/カウント・イン)		
Ending 1 (エンディング 1)		
Ending 2 (エンディング 2)		
Fill 1 (フィル 1)		
Fill 2 (フィル 2)		
Fill 3/Break (フィル 3/ブレイク)		
Variation 1 (バリエーション 1)		
Variation 2 (バリエーション 2)		
Variation 3 (バリエーション 3)		
Variation 4 (バリエーション 4)		
Variation Up (バリエーション・アップ)		次のバリエーションを選択
Variation Down (バリエーション・ダウン)	前のバリエーションを選択	

ファンクション	動作
Fade In/Out (フェード・イン/アウト)	コントロール・パネル上のキーと同じ機能
Memory (メモリー)	
Bass Inversion (ベース・インバージョン)	
Manual Bass (マニュアル・ベース)	
Style Up (スタイル・アップ)	次のスタイルを選択
Style Down (スタイル・ダウン)	前のスタイルを選択
Single Touch (シングル・タッチ)	コントロール・パネル上のキーと同じ機能
STS 1	
STS 2	
STS 3	
STS 4	次の STS を選択
STS Up (STS アップ)	
STS Down (STS ダウン)	前の STS を選択
Perform. Up (パフォーマンス・アップ)	次のパフォーマンスを選択
Perform. Down (パフォーマンス・ダウン)	前のパフォーマンスを選択
Style Change (スタイル・チェンジ)	スタイル・ナンバー
Sound Up (サウンド・アップ)	次のサウンドを選択
Sound Down (サウンド・ダウン)	前のサウンドを選択
Transpose () (トランスポーズ・ダウン)	コントロール・パネル上のキーと同じ機能
Transpose () (トランスポーズ・アップ)	
Upper Octave Up (アッパー・オクターブ・アップ)	
Upper Octave Down (アッパー・オクターブ・ダウン)	
Punch In/Out (パンチ・イン/アウト)	パンチ・レコーディングのオン/オフ
FX A Mute (FX A ミュート)	FX A のミュート
FX B Mute (FX B ミュート)	FX B のミュート
FX C Mute (FX C ミュート)	FX C のミュート
FX D Mute (FX D ミュート)	FX D のミュート
All FX Mute (オールFX ミュート)	全 FX のミュート
Style-Upper 1 Mute (スタイル・アッパー 1 ミュート)	スタイル・アッパー 1 のミュートのオン/オフ
Style-Upper 2 Mute (スタイル・アッパー 2 ミュート)	スタイル・アッパー 2 のミュートのオン/オフ
Style-Upper 3 Mute (スタイル・アッパー 3 ミュート)	スタイル・アッパー 3 のミュートのオン/オフ
Style-Lower Mute (スタイル・ローワー ミュート)	スタイル・ローワーのミュートのオン/オフ
Style-Drum Mute (スタイル・ドラム ミュート)	スタイル・ドラムのミュートのオン/オフ
Style-Perc Mute (スタイル・パーカッション ミュート)	スタイル・パーカッションのミュートのオン/オフ
Style-Bass Mute (スタイル・ベース ミュート)	スタイル・ベースのミュートのオン/オフ
Style-Acc 1 Mute (スタイル・アカンパニメント 1 ミュート)	スタイル・伴奏 1 のミュートのオン/オフ
Style-Acc 2 Mute (スタイル・アカンパニメント 2 ミュート)	スタイル・伴奏 2 のミュートのオン/オフ
Style-Acc 3 Mute (スタイル・アカンパニメント 3 ミュート)	スタイル・伴奏 3 のミュートのオン/オフ
Style-Acc 4 Mute (スタイル・アカンパニメント 4 ミュート)	スタイル・伴奏 4 のミュートのオン/オフ
Style-Acc 5 Mute (スタイル・アカンパニメント 5 ミュート)	スタイル・伴奏 5 のミュートのオン/オフ
Style-Acc 1-5 Mute (スタイル・アカンパニメント 1 ~ 5 ミュート)	スタイル・伴奏 1 ~ 5 のミュートのオン/オフ
Song-Melody Mute (ソング・メロディ・ミュート)	ソング・トラック 4 (通常、メロディー・トラック) のミュートのオン/オフ

ファンクション	動作
Song-Drum&Bass Mute (ソング・ドラム&ベース・ミュート)	ソング・トラック 2 (通常、ベース・トラック) とトラック 10 (通常、ドラム・トラック) 以外の全トラックのミュートのオン / オフ
Solo Selected Track (ソロ・セレクト・トラック)	選択トラックのソロ
Damper Pedal (ダンパー・ペダル)	ダンパー・ペダル
Soft Pedal (ソフト・ペダル)	ソフト・ペダル
Sostenuto Pedal (ソステヌート・ペダル)	ソステヌート・ペダル
Bass&Lower Backing (ベース&ローワー・バック)	ベースとローワー・トラック以外の全トラックのミュートのオン / オフ
Ensemble On/Off (アンサンブル・オン / オフ)	アンサンブルのオン / オフ
QuarterTone (クォーター・トーン)	4 分音のオン / オフ
Chord Latch (コード・ラッチ)	認識されたコードをペダルを離すまで保持
Chord Latch + Damper (コード・ラッチ + ダンパー)	認識されたコードをペダルを離すまで保持し、ダンパーが使われているトラックのノートをサスティン
Glide (グライド)	ペダルを踏むと、アッパー・トラックの対象のノートが、同じトラックのピッチ・ベンドの設定によりピッチ・ダウン。ペダルを離すと、“Time” パラメーターで設定したスピードで、通常のピッチに復帰。
Audio In Mute (オーディオ・イン・ミュート)	オーディオ入力のミュート
Microphone Talkback (マイクフォン・トークバック)	全てのボイス・プロセッサー・エフェクトのレベルを下げ、マイクの音が聞こえるようにします。
Voice Proc. Sw. A Tog (ボイス・プロセッサー・スイッチ A トグル)	ボイス・プロセッサーにアサインされたトグル・タイプのスイッチで、スイッチを踏むたびにオン、オフが切り替わる。この機能を有効にするためには、別途 Global モードの設定が必要。詳しくは、100 ページの「ボイス・プロセッサー用スイッチのファンクション・リスト」を参照ください。
Voice Proc. Sw. B Tog (ボイス・プロセッサー・スイッチ B トグル)	
Voice Proc. Sw. C Tog (ボイス・プロセッサー・スイッチ C トグル)	
Voice Proc. Sw. D Tog (ボイス・プロセッサー・スイッチ D トグル)	
Voice Proc. Sw. A Mom (ボイス・プロセッサー・スイッチ A モーメンタリー)	ボイス・プロセッサーにアサインされたモーメンタリー・タイプのスイッチで、ペダルを踏んでいるときと、離れたときとでオン、オフが切り替わる。この機能を有効にするためには、別途 Global モードの設定が必要。詳しくは、100 ページの「ボイス・プロセッサー用スイッチのファンクション・リスト」を参照ください。
Voice Proc. Sw. B Mom (ボイス・プロセッサー・スイッチ B モーメンタリー)	
Voice Proc. Sw. C Mom (ボイス・プロセッサー・スイッチ C モーメンタリー)	
Voice Proc. Sw. D Mom (ボイス・プロセッサー・スイッチ D モーメンタリー)	
FX CC12 Switch (FX コントロール・チェンジ #12 スイッチ)	標準の FX コントロール
FX CC13 Switch (FX コントロール・チェンジ #13 スイッチ)	
Rotary Spkr On/Off (ロータリー・スピーカー・オン / オフ)	ロータリー・スピーカー のオン / オフ
Rotary Spkr Fast/Slow (ロータリー・スピーカー・ファースト / スロー)	ロータリー・スピーカー のファースト / スロー
Drawbar Perc On/Off (ドローバー・パーカッション・オン / オフ)	ドローバーのパーカッションのオン / オフ

ファンクション	動作
Drawbar Noise On/Off (ドローバー・ノイズ・オン / オフ)	ドローバーのノイズのオン / オフ
Text Page Up (テキスト・ページ・アップ)	歌詞情報込みのスタンダード MIDI ファイルをプレイ中に、テキストを前後にスクロールすることができます。
Text Page Down (テキスト・ページ・ダウン)	
SongBook Next (ソングブック・ネクスト)	選択されたカスタム・リスト内で、次の SongBook エントリーに移動
Pad 1 (パッド 1)	コントロール・パネル上のキーと同じ機能
Pad 2 (パッド 2)	
Pad 3 (パッド 3)	
Pad 4 (パッド 4)	
Pad Stop (パッド・ストップ)	

アサインابل・ペダルのファンクション・リスト

[ASSIGN.] ペダル端子に接続した、コンティニューアス・タイプのアサインابل・ペダルにアサインできるファンクションは、以下の通りです。

Hint: アサインابل・ペダルにファンクションをアサインするときは、以下の手順で行います。

1. GLOBAL キーを押し、Global モードへ入ります。
2. MENU キー、「Controllers」を続けて押し、Pedal Switch タブを押しします。
3. 「Pedal/Footswitch」の Pedal/Footswitch のファンクションを設定します。

ファンクション	動作
Off (オフ)	アサインされた機能なし
Style Start/Stop ~ Pad Stop	スイッチ類に効果的な機能で、ペダルにアサインしても、あまり効果はありません。前述の「アサインابل・フットスイッチと EC5 のファンクション・リスト」を参照ください。
Master Volume (マスター・ボリューム)	
Acc. Volume (アカンパニメント・ボリューム)	伴奏のボリューム
Keyboard Expression (キーボード・エクスプレッション)	
Joystick + X (ジョイスティック + X)	ジョイスティック右方向
Joystick - X (ジョイスティック - X)	ジョイスティック左方向
Joystick + Y (ジョイスティック + Y)	ジョイスティック前面方向
Joystick - Y (ジョイスティック - Y)	ジョイスティック背面方向
Upper VDF Cutoff (アッパー VDF カットオフ)	フィルター・カットオフ (アッパー・トラックにアサインされたサウンド用)
Upper VDF Resonance (アッパー VDF レゾナンス)	フィルター・レゾナンス (アッパー・トラックにアサインされたサウンド用)
Voice Proc. Cnt.Ctl A (ボイス・プロセッサー・コンティニューアス・コントロール A)	ボイス・プロセッサーにアサインされたコンティニューアス・タイプのコントローラー。
Voice Proc. Cnt.Ctl B (ボイス・プロセッサー・コンティニューアス・コントロール B)	この機能を有効にするためには、別途 Global モードの設定が必要。
Voice Proc. Cnt.Ctl C (ボイス・プロセッサー・コンティニューアス・コントロール C)	詳しくは、100 ページの「ボイス・プロセッサー用コントローラーのファンクション・リスト」を参照ください。
Voice Proc. Cnt.Ctl D (ボイス・プロセッサー・コンティニューアス・コントロール D)	
Mic In Volume (マイク・イン・ボリューム)	マイク入力のボリューム
FX CC12 Ctl (FX コントロール・チェンジ #12・コントロール)	標準の FX コントロール
FX CC13 Ctl (FX コントロール・チェンジ #13・コントロール)	
Max CD Volume [%] (マックス CD ボリューム)	
Max MP3 Volume [%] (マックス MP3 ボリューム)	使用できません

アサインابل・スライダーのファンクション・リスト

フロント・パネルのアサインابل・スライダーにアサインできるファンクションは、以下の通りです。

Hint: アサインابل・スライダーにファンクションをアサインするときは、以下の手順で行います。

1. GLOBAL キーを押し、Global モードへ入ります。
2. MENU キー、「Controllers」を続けて押し、Assign. Sliders タブを押しします。
3. 「Assignable Sliders A」、「Assignable Sliders B」のファンクションを設定します。

ファンクション	動作
Off (オフ)	アサインされた機能なし
Style Start/Stop ~ Pad Stop	スイッチ類に効果的な機能で、スライダーにアサインしても、あまり効果はありません。前述の「アサインابل・フットスイッチと EC5 のファンクション・リスト」を参照ください。
Master Volume (マスター・ボリューム)	
Acc. Volume (アカンパニメント・ボリューム)	伴奏のボリューム
Keyboard Expression (キーボード・エクスプレッション)	
Joystick + X (ジョイスティック + X)	ジョイスティック右方向
Joystick - X (ジョイスティック - X)	ジョイスティック左方向
Joystick + Y (ジョイスティック + Y)	ジョイスティック前面方向
Joystick - Y (ジョイスティック - Y)	ジョイスティック背面方向
Upper VDF Cutoff (アッパー VDF カットオフ)	フィルター・カットオフ (アッパー・トラックにアサインされたサウンド用)
Upper VDF Resonance (アッパー VDF レゾナンス)	フィルター・レゾナンス (アッパー・トラックにアサインされたサウンド用)
Voice Proc. Cnt.Ctl A (ボイス・プロセッサー・コンティニューアス・コントロール A)	ボイス・プロセッサーにアサインされたコンティニューアス・タイプのコントローラー。
Voice Proc. Cnt.Ctl B (ボイス・プロセッサー・コンティニューアス・コントロール B)	この機能を有効にするためには、別途 Global モードの設定が必要。
Voice Proc. Cnt.Ctl C (ボイス・プロセッサー・コンティニューアス・コントロール C)	詳しくは、100 ページの「ボイス・プロセッサー用コントローラーのファンクション・リスト」を参照ください。
Voice Proc. Cnt.Ctl D (ボイス・プロセッサー・コンティニューアス・コントロール D)	
Mic In Volume (マイク・イン・ボリューム)	マイク入力のボリューム
FX CC12 Ctl (FX コントロール・チェンジ #12・コントロール)	標準の FX コントロール
FX CC13 Ctl (FX コントロール・チェンジ #13・コントロール)	
Max CD Volume [%] (マックス CD ボリューム)	
Max MP3 Volume [%] (マックス MP3 ボリューム)	使用できません

[ASSIGNABLE SWITCH]1 ~ 4 のファンクション・リスト

フロント・パネルの [ASSIGNABLE SWITCH]1 ~ 4 にアサインできるファンクションは、以下の通りです。

Hint: [ASSIGNABLE SWITCH]1 ~ 4 にファンクションをアサインするときは、以下の手順で行います。

1. STYLE PLAY キー(または SONG PLAY キー)を押し、Song Play モード(または Song Play モード)へ入ります。
2. MENU キー、「Pad Assign. Switch」を続けて押し、Switch タブを押します。
3. 「Assignable Switch」の Switch 1 ~ 4 のファンクションを設定します。

ファンクション	動作
Off (オフ)	アサインされた機能なし
Ritardando (リタルダンド)	テンポの値が徐々に減少
Accelerando (アツチェランド)	テンポの値が徐々に増加
Style Up (スタイル・アップ)	次のスタイルを選択
Style Down (スタイル・ダウン)	前のスタイルを選択
Perform. Up (パフォーマンス・アップ)	次のパフォーマンスを選択
Perform. Down (パフォーマンス・ダウン)	前のパフォーマンスを選択
Sound Up (サウンド・アップ)	次のサウンドを選択
Sound Down (サウンド・ダウン)	前のサウンドを選択
FX A Mute (FX A ミュート)	FX A のミュートのオン / オフ
FX B Mute (FX B ミュート)	FX B のミュートのオン / オフ
FX C Mute (FX C ミュート)	FX C のミュートのオン / オフ
FX D Mute (FX D ミュート)	FX D のミュートのオン / オフ
All FX Mute (オール FX ミュート)	全FX のミュートのオン / オフ
Style-Upper 1 Mute (スタイル-アッパー 1 ミュート)	スタイル-アッパー 1 のミュートのオン / オフ
Style-Upper 2 Mute (スタイル-アッパー 2 ミュート)	スタイル-アッパー 2 のミュートのオン / オフ
Style-Upper 3 Mute (スタイル-アッパー 3 ミュート)	スタイル-アッパー 3 のミュートのオン / オフ
Style-Lower Mute (スタイル-ローワー・ミュート)	スタイル-ローワーのミュートのオン / オフ
Style-Drum Mute (スタイル-ドラム・ミュート)	スタイル-ドラムのミュートのオン / オフ
Style-Percussion Mute (スタイル-パーカッション・ミュート)	スタイル-パーカッションのミュートのオン / オフ
Style-Bass Mute (スタイル-ベース・ミュート)	スタイル-ベースのミュートのオン / オフ
Style-Acc 1 Mute (スタイル-アカンパニメント 1 ミュート)	スタイル-伴奏 1 のミュートのオン / オフ
Style-Acc 2 Mute (スタイル-アカンパニメント 2 ミュート)	スタイル-伴奏 2 のミュートのオン / オフ
Style-Acc 3 Mute (スタイル-アカンパニメント 3 ミュート)	スタイル-伴奏 3 のミュートのオン / オフ
Style-Acc 4 Mute (スタイル-アカンパニメント 4 ミュート)	スタイル-伴奏 4 のミュートのオン / オフ
Style-Acc 5 Mute (スタイル-アカンパニメント 5 ミュート)	スタイル-伴奏 5 のミュートのオン / オフ
Style-Acc 1-5 Mute (スタイル-アカンパニメント 1 ~ 5 ミュート)	スタイル-伴奏 1 ~ 5 のミュートのオン / オフ
Song-Melody Mute (ソング-メロディ・ミュート)	ソング-トラック 4 (通常、メロディ・トラック) のミュートのオン / オフ

ファンクション	動作
Song-Drum&Bass Mute (ソング-ドラム&ベース・ミュート)	ソング-トラック 2 (通常、ベース・トラック) とトラック 10 (通常、ドラム・トラック) 以外の全トラックのミュートのオン / オフ
Solo Selected Track (ソロ・セレクト・トラック)	選択トラックのソロ
Bass&Lower Backing (ベース&ローワー・バック)	ベースとローワー・トラック以外の全トラックのミュートのオン / オフ
Quarter Tone (クォーター・トーン)	4 分音のオン / オフ
Audio In Mute (オーディオ・イン・ミュート)	オーディオ入力のミュート
Microphone Talkback (マイクロフォン・トークバック)	全てのボイス・プロセッサー・エフェクトのレベルを下げ、マイクの音が聞こえるようにします。
Voice Proc. Sw. A Tog (ボイス・プロセッサー・スイッチ A トグル)	ボイス・プロセッサーにアサインされたトグル・タイプのスイッチで、スイッチを踏むたびにオン、オフが切り替わる。この機能を有効にするためには、別途 Global モードの設定が必要。詳しくは、100 ページの「ボイス・プロセッサー用スイッチのファンクション・リスト」を参照ください。
Voice Proc. Sw. B Tog (ボイス・プロセッサー・スイッチ B トグル)	
Voice Proc. Sw. C Tog (ボイス・プロセッサー・スイッチ C トグル)	
Voice Proc. Sw. D Tog (ボイス・プロセッサー・スイッチ D トグル)	
Voice Proc. Sw. A Mom (ボイス・プロセッサー・スイッチ A モーメンタリー)	ボイス・プロセッサーにアサインされたモーメンタリー・タイプのスイッチで、ペダルを踏んでいるときと、離れたときとでオン、オフが切り替わる。この機能を有効にするためには、別途 Global モードの設定が必要。詳しくは、100 ページの「ボイス・プロセッサー用スイッチのファンクション・リスト」を参照ください。
Voice Proc. Sw. B Mom (ボイス・プロセッサー・スイッチ B モーメンタリー)	
Voice Proc. Sw. C Mom (ボイス・プロセッサー・スイッチ C モーメンタリー)	
Voice Proc. Sw. D Mom (ボイス・プロセッサー・スイッチ D モーメンタリー)	
FX CC12 Switch (FX コントロール・チェンジ #12 スイッチ)	標準の FX コントロール
FX CC13 Switch (FX コントロール・チェンジ #13 スイッチ)	
Rotary Spkr On/Off (ロータリー・スピーカー・オン / オフ)	ロータリー・スピーカーのオン / オフ
Rotary Spkr Fast/Slow (ロータリー・スピーカー・ファースト / スロー)	ロータリー・スピーカーのファースト / スロー
Drawbar Perc On/Off (ドロワー・パーカッション・オン / オフ)	ドロワーのパーカッションのオン / オフ
Drawbar Noise On/Off (ドロワー・ノイズ・オン / オフ)	ドロワーのノイズのオン / オフ
SongBook Next (ソングブック・ネクスト)	選択されたカスタム・リスト内で、次の SongBook エントリーに移動
Text Page Up (テキスト・ページ・アップ)	歌詞情報込みのスタンダード MIDI ファイルをプレイ中に、テキストを前後にスクロールすることができます。
Text Page Down (テキスト・ページ・ダウン)	

ボイス・プロセッサ用コントローラーのファンクション・リスト

接続したコンティニューアス・タイプのアサインابل・ペダル、またはフロント・パネルのアサインابل・スライダーに、ボイス・プロセッサ用のファンクションをアサインすることができます。

アサインできるファンクションは、以下の通りです。

Hint: アサインابل・ペダル、アサインابل・スライダーのファンクションへのアサインは、以下の手順で行います。

1. GLOBAL キーを押し、Global モードへ入ります。
2. MENU キー、「Voice Processor Preset」を続けて押し、Controls タブを押します。
3. 「Voice Processor Meta-Controls」のCnt.Ctl A ~ Cnt.Ctl D に、以下のファンクションをそれぞれ設定します。
4. MENU キー、「Controllers」を続けて押します。

アサインابل・ペダルにアサインするときは、アサインابل・ペダルのファンクションに、Voice Proc. Cont. Ctl A ~ "Voice Proc. Cont. Ctl D" を選択します。詳しくは、詳しくは、98 ページの「アサインابل・ペダルのファンクション・リスト」を参照ください。

アサインابل・スライダーにアサインするときは、アサインابل・スライダーのファンクションに、Voice Proc. Cont. Ctl A ~ "Voice Proc. Cont. Ctl D" を選択します。詳しくは、詳しくは、98 ページの「アサインابل・スライダーのファンクション・リスト」を参照ください。

ファンクション
Lead Voice Level (リード・ボイス・レベル)
Harmony Output Level (ハーモニー出力レベル)
Voice 1 Level (ボイス 1 レベル)
Voice 1 Gender (ボイス 1 性別)
Voice 2 Level (ボイス 2 レベル)
Voice 2 Gender (ボイス 2 性別)
Voice 3 Level (ボイス 3 レベル)
Voice 3 Gender (ボイス 3 性別)
Voice 4 Level (ボイス 4 レベル)
Voice 4 Gender (ボイス 4 性別)
Harmony Smooth (ハーモニー・スムーズ)
Human Style Amount (ヒューマン・スタイル・アマウント)
Thicken Level (スィッケン・レベル)
Thicken Detune (スィッケン・デチューン)
Thicken Spread (スィッケン・スプレッド)
Vibrato Depth (ビブラート・ディプス)
Lead to Reverb (リードにリバーブ)
Harm/Model to Reverb (ハーモニー・モデリングにリバーブ)
Lead to Delay (リードにディレイ)
Harm/Model to Delay (ハーモニー・モデリングにディレイ)
Delay to Reverb (ディレイにリバーブ)
Reverb/Delay Balance (リバーブ / ディレイ・バランス)
Effect Level (エフェクト・レベル)
Voice Modeling Level (ボイス・モデリング・レベル)

ボイス・プロセッサ用スイッチのファンクション・リスト

接続したアサインابل・フットスイッチ、EC5、またはフロント・パネルの [ASSIGNABLE SWITCH]1 ~ 4 に、ボイス・プロセッサ用コントロールのファンクションをアサインすることができます。

Hint: アサインابل・フットスイッチ、EC5、[ASSIGNABLE SWITCH]1 ~ 4 へのファンクションのアサインは、以下の手順で行います。

1. GLOBAL キーを押し、Global モードへ入ります。
2. MENU キー、「Voice Processor Preset」を続けて押し、Controls タブを押します。
3. 「Voice Processor Meta-Controls」の Sw. Ctl A ~ Sw. Ctl D に、以下のファンクションをそれぞれ設定します。
4. MENU キー、「Controllers」を続けて押します。

アサインابل・フットスイッチ、EC5 にアサインするときは、それぞれのファンクションに Voice Proc. Sw. A Tog ~ "Voice Proc. Sw. D Mom" を選択します。詳しくは、96 ページの「アサインابل・フットスイッチと EC5 のファンクション・リスト」を参照ください。

[ASSIGNABLE SWITCH]1 ~ 4 にアサインするときは、[ASSIGNABLE SWITCH] に Voice Proc. Sw. A Tog ~ "Voice Proc. Sw. D Mom" を選択します。詳しくは、99 ページの「[ASSIGNABLE SWITCH]1 ~ 4 のファンクション・リスト」を参照ください。

ファンクション
Harm/ Model Lead On/Off (ハーモニー / モデリング・リードのオン / オフ)
Harm/Model On/Off (ハーモニー / モデリングのオン / オフ)
Effect On/Off (エフェクトのオン / オフ)
Thicken On/Off (スィッケンのオン / オフ)
Latch On/Off (ラッチのオン / オフ)
Harmony Hold (ハーモニー・ホールド)
Voice 1 On/Off (ボイス 1 のオン / オフ)
Voice 2 On/Off (ボイス 2 のオン / オフ)
Voice 3 On/Off (ボイス 3 のオン / オフ)
Voice 4 On/Off (ボイス 4 のオン / オフ)
Harm/Model Switch (ハーモニー・モデリング・スイッチ)
Pitch Correcton On/Off (ピッチ・コレクションのオン / オフ)

スケール (音階)

本機では、オペレーティング・モードでスケール (音階、またはチューニング) を選択することができます。

スケールは、以下のリストの通りです。

Hint: メイン・スケールを変更するときは、以下の手順で行います。

1. GLOBAL キーを押し、Global モードへ入ります。
2. MENU キー、「General Controls」を続けて押し、Scale タブを押しします。
3. 「Main Scale」を設定します。

Sequencer モード、Style Play モードでは、サブ・スケールが設定できます。MENU キー、「Mixer Tuning」、Sub Schale タブを続けて押し、それぞれ設定します。

Equal (イコール)

平均律、現代の西洋音楽の標準の音階です。12 個の同じ半音で構成されています。

Pure Major (ピュア・メジャー)

選択されたキーのメジャー・コードは完全音程に調律されます。

Pure Minor (ピュア・マイナー)

選択されたキーのマイナー・コードは完全音程に調律されます。

Arabic (アラビック)

4 分音を使ったアラビア音階です。Key パラメータを以下のように設定します。

C - “rast C/bayati D” スケール

D - “rast C/bayati D” スケール

F - “rast D/bayati E” スケール

G - “rast F/bayati G” スケール

A# - “rast B /bayati C” スケール

Pythagorean (ピタゴリアン)

ピタゴラス音階、ギリシャの偉大な哲学者、数学者ピタゴラスの音楽理論に基づいたものです。メロディーに最適です。

Werckmeister (ウェルクマイスター)

後期バロック / 古典音楽の音階です。18 世紀音楽に適しています。

Kirnberger (キルンベルガー)

ハーブシコードの音階で、18 世紀の代表的なものです。

Slendro (スレンドロ)

インドネシアのガムランの音階です。1 オクターブが 5 音階 (C、D、F、G、A) に分かれています。他の音は平均律と同じに調律されています。

Pelog (ペログ)

インドネシアのガムランの音階です。1 オクターブが 7 音階 (Key が C のとき、全ての白鍵) に分かれています。黒鍵は平均律と同じに調律されています。

Stretch (ストレッチ)

アコースティック・ピアノの「ストレッチ」チューニ

ングを模しています。基本的には平均律ですが、最低音が標準より少し低めに、最高音が少し高めに調律されています。

User (ユーザー)

ユーザー・スケールです。すなわち、Style Play、Backing Sequence や Song Play モードで設定されたスケールです。ユーザー・スケールはパフォーマンス、スタイル・パフォーマンス、STS、またはソングに保存できます。Global モードではユーザー・スケールの選択はできません。

MIDI コントローラー

コントロール・チェンジ・メッセージとそれによる本機でのファンクションは、以下のリストの通りです。

CC#	CC Name	本機のファンクション
0	バンク・セレクト	プログラムの選択
1	モジュレーション 1 (+ Y)	ジョイスティック前面方向
2	モジュレーション 2 (- Y)	ジョイスティック背面方向
3	未定義	
4	フット・コントローラー	
5	ボルタメント・タイム	
6	データ・エンタリー (MSB)	
7	ボリューム	トラック・ボリューム
8	バランス	
9	未定義	
10	パンポット	トラック・パン
11	エクスプレッション	エクスプレッション
12	FX コントロール 1	
13	FX コントロール 2	
14-15	未定義	
16	汎用コントローラー 1	
17	汎用コントローラー 2	
18	スライダー	
19	汎用コントローラー 4	
20-31	未定義	
32-63	コントロール・チェンジ・ナンバー 0 ~ 31 (MSB) の LSB で、MSB と同時に変更されます。	
64	ダンパー	ダンパー・ペダル
65	ボルタメント・オン / オフ	
66	ソステヌート・オン / オフ	ソステヌート・ペダル
67	ソフト・ペダル	ソフト・ペダル
68	レガート	
69	ホールド 2	
70	サスティーン・レベル	
71	ハイパス・フィルター・レゾナンス・レベル	フィルター・レゾナンス
72	リリース・タイム	リリース・タイム
73	アタック・タイム	アタック・タイム
74	フィルター・カットオフ	フィルター・カットオフ (明るさ)
75	ディケイ・タイム	ディケイ・タイム
76	LFO1 スピード	ビブラート・スピード
77	LFO1 ディプス	ビブラート・ディプス
78	LFO1 ディレイ	ビブラート・イニシャル・ディレイ
79	フィルター EG	
80	汎用コントローラー 5	
81	汎用コントローラー 6	
82	汎用コントローラー 7	
83	汎用コントローラー 8	
84	ボルタメント・コントロール	
85-90	未定義	
91	FX A/C	A/C (リバーブ) センド・レベル
92	FX 2 コントロール	
93	FX B/D	B/D (モジュレーション) センド・レベル

CC#	CC Name	本機のファンクション
94	FX 4 コントロール	
95	FX 5 コントロール	
96	データ・インクリメント	
97	データ・デクリメント	
98	NRPN LSB	下記の表を参照*
99	NRPN MSB*	下記の表を参照*
100	RPN LSB	
101	RPN MSB	
102-119	未定義	
120	オール・サウンド・オフ	
121	リセット・オール・コントローラー	リセット・オール・コントローラー
122	ローカル・コントロール・オン / オフ	
123	オール・ノート・オフ	
124	オムニ・オフ	
125	オムニ・オン	
126	モノモード・オン	
127	ポリモード・オン	

* 本機の NRPN メッセージ

NRPN	CC#99 (MSB)	CC#98 (LSB)	CC#06 (データ・エンタリー)
Vibrato Rate	1	8	0-127 ^(a)
Vibrato Depth	1	9	0-127 ^(a)
Vibrato Decay	1	10	0-127 ^(a)
Filter Cutoff	1	32	0-127 ^(a)
Resonance	1	33	0-127 ^(a)
EG Attack Time	1	99	0-127 ^(a)
EG Decay Time	1	100	0-127 ^(a)
EG Release Time	1	102	0-127 ^(a)
Drum Filter Cutoff	20	dd ^(b)	0-127 ^(a)
Drum Filter Resonance	21	dd ^(b)	0-127 ^(a)
Drum EG Attack Time	22	dd ^(b)	0-127 ^(a)
Drum EG Decay Time	23	dd ^(b)	0-127 ^(a)
Drum Coarse Tune	24	dd ^(b)	0-127 ^(a)
Drum Fine Tune	25	dd ^(b)	0-127 ^(a)
Drum Volume	26	dd ^(b)	0-127
Drum Panpot	28	dd ^(b)	0-127 ^(a)
Drum Rev Send (FX 1)	29	dd ^(b)	0-127 ^(a)
Drum Mod Send (FX 2)	30	dd ^(b)	0-127 ^(a)

(a). 64 = オリジナルのパラメータ値に対し変更無し

(b). dd = ドラム No. 0-127 (C0-C8)

Note: これらのコントロールは、ソングがストップしたり、他のソングを選択したときにリセットされます。

MIDI インプリメンテーション・チャート

KORG Pa1X/Pa1X Pro
OS Version 2.0 - Sept. 20, 2004

ファンクション	送信	受信	備考	
ベーシックチャンネル	電源 ON 時 設定可能	1-16 1-16	1-16 1-16	オフ時はメモリーされます
モード	電源 ON 時 メッセージ 代用	x *****	3 x	
ノート・ナンバー	音域	0-127 *****	0-127 0-127	
ベロシティ	ノート・オン ノート・オフ	9n, V=1-127 x V=64	9n, V=1-127 x	
アフタータッチ	キー別 チャンネル別			シーケンサー・データのみ *A *A
ピッチベンド				
コントロール・ チェンジ	0, 32			バンク・セレクト (MSB, LSB) *A
	1, 2			モジュレーション *A
	6			データ・エントリー MSB
	38	x		データ・エントリー LSB *A
	7, 11			ボリューム、エクスプレッション *A
	10, 91, 93			パンポット、A/B または C/D FX ブロック・センド *A
	64, 66, 67			ダンパー、ソステヌート、ソフト *A
	65, 5			ポルタメント・オン / オフ、ポルタメント・タイム *A
	71, 72, 73			ハーモニー・コンテンツ、EG タイム (リリース、アタック) *A
	74, 75			ブライトネス、ディケイ・タイム *A
	76, 77, 78			ピブラート・レート、ディプス、ディレイ *A
	98, 99			NRPN (LSB, MSB)
100, 101			RPN (LSB, MSB) *A, 2	
120, 121	x		オール・サウンド・オフ、リセット・オール・ コントローラー *A	
プログラム・チェンジ	設定可能範囲	0-127 *****	0-127 0-127	*A
システム・エクスクルーシブ		x	x	*3
システム・コモン	ソング・ポジション	x	x	
	ソング・セレクト	x	x	
	チューン	x	x	
システム・リアルタイム	クロック			*4
	コマンド			*4
その他	ローカル・オン / オフ	x	x	
	オール・ノート・オフ	x	(123-127)	
	アクティブ・センシング			
	リセット	x	x	
備考	*A : Global モードで MIDI フィルターの In/Out をオフに設定したとき *1 : ドローパー設定、サウンド・パラメータ、ソング・ブック・エントリーの選択 *2 : LSB、MSB=00、00 : ピッチベンド・レンジ、=01、00 : ファイン・チューン、=02、00 : コース・チューン *3 : インクワイアリーとマスター・ボリューム・メッセージ、エフェクト設定、クォーター・トーンの設定を含む *4 : Global モードで Clock Send パラメーターをオンに設定したときのみ送信			

モード 1 : オムニ・オン、ポリ
モード 3 : オムニ・オフ、ポリ

モード 2 : オムニ・オン、モノ
モード 4 : オムニ・オフ、モノ

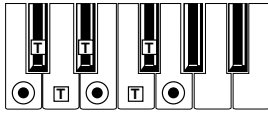
: あり
x : なし

認識されるコード

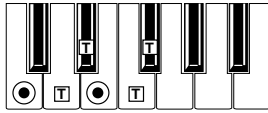
本機で Chord Recognition (コード認識) モードで“ Fingered 2 ”を選択したときに認識される最も重要なコードは、以下の通りです。認識されるコードは Chord Recognition モードによって変わります。

Major

3-note

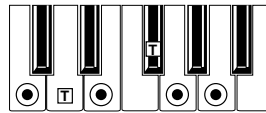


2-note



Major 6th

4-note

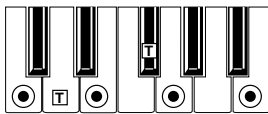


2-note

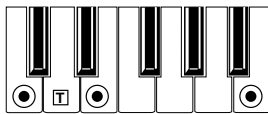


Major 7th

4-note



3-note

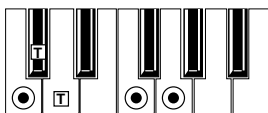


2-note

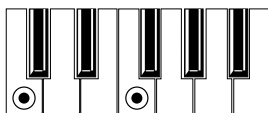


Sus 4

3-note

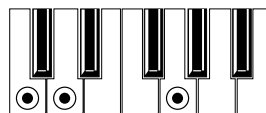


2-note



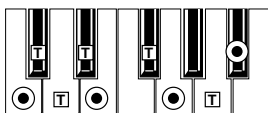
Sus 2

3-note



Dominant 7th

4-note



3-note

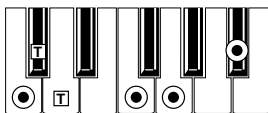


2-note

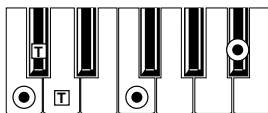


Dominant 7th Sus 4

4-note

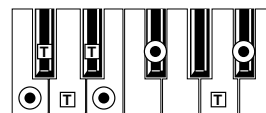


3-note



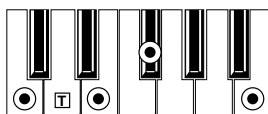
Dominant 7th ^b5

4-note



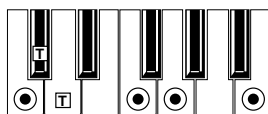
Major 7th ^b5

4-note



Major 7th Sus 4

4-note

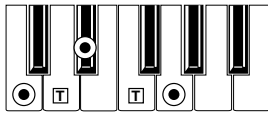


● = constituent notes of the chord

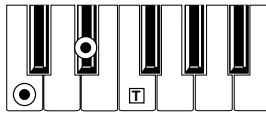
⊠ = can be used as tension

Minor

3-note

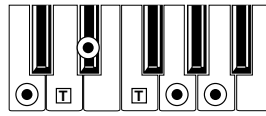


2-note



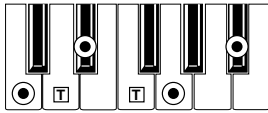
Minor 6th

4-note

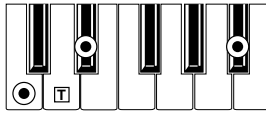


Minor 7th

4-note

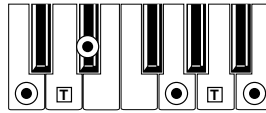


3-note

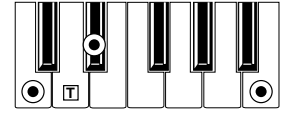


Minor-Major 7th

4-note

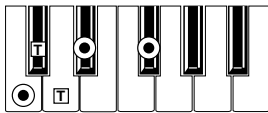


3-note



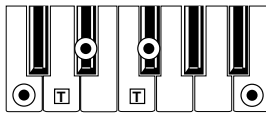
Diminished

3-note



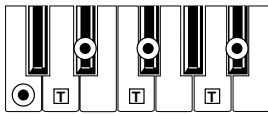
Diminished Major 7th

4-note



Minor 7th ^b5

4-note



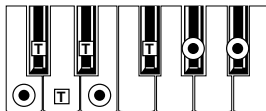
Augmented

3-note



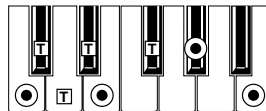
Augmented 7th

4-note



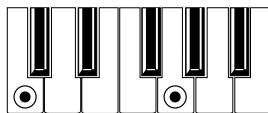
Augmented Major 7th

4-note



No 3rd

2-note



No 3rd, no 5th

1-note



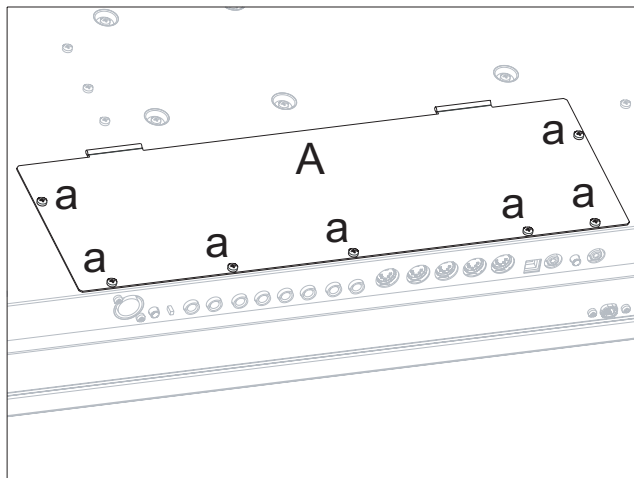
● = constituent notes of the chord

□ = can be used as tension

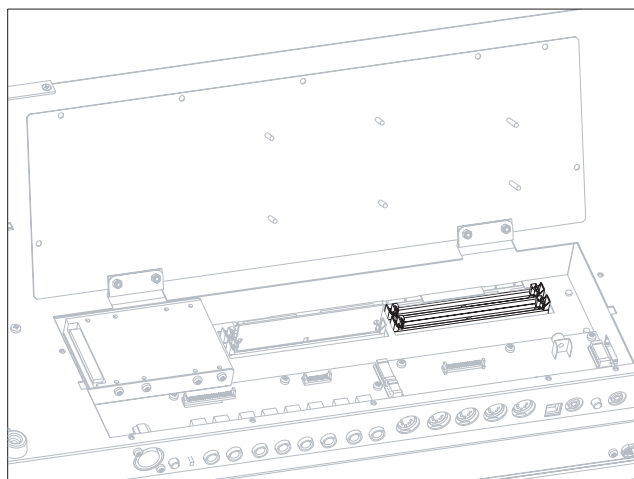
Pa1X-EXB シリーズの取り付け方法

本機には最大 2 枚の専用サウンド・エクспанション・ボード Pa1X-EXB シリーズを取り付けることができます。

1. 本機を裏返して 7 本のネジ (a) を外し、カバー (A) を開いてオプション取り付け部を開きます。

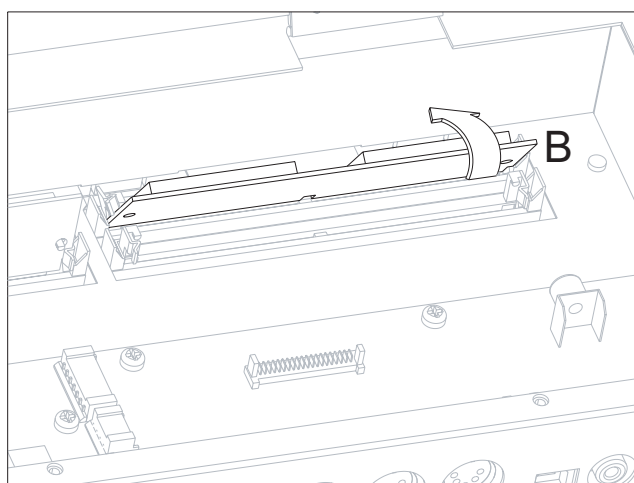


2. オプション取り付け部に向かって、2 個の ROM 取り付け用スロットを確認します。

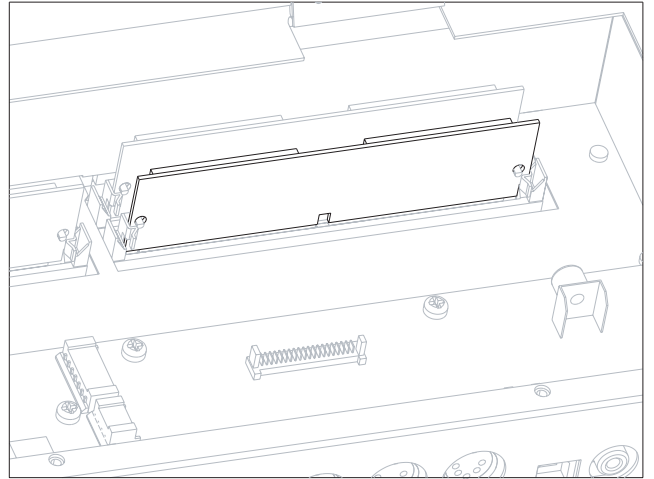


3. 1 枚目のサウンド・エクспанション・ボード (B) を、イラストに示すように、奥側のスロットに取り付けます。サウンド・エクспанション・ボードの下部をスロットの位置に合わせ、ボードを斜めにしっかり差し込んでから、垂直に立てます。正しく取り付けられていることを確認してください。必要ならば、一度取り外してから、再度、取り付けてください。

Note : Pa1X-EXB シリーズを手前のスロットに取り付けることもできますが、上記の方法では 2 枚目のサウンド・エクспанション・ボードの取り付けが容易になります。



4. 2 枚目のサウンド・エクspansion・ボード (C) を取り付けの場合は、1 枚目のと同じ方法で、手前側のスロットに取り付けます。
5. 上記ステップ 1 と逆の手順で、取り付け部のカバーを閉じ、固定します。



データのバックアップ / リストア、ユーザー・データのセーブ / ロード

データのバックアップ

オペレーティング・システムを除く、全ての工場出荷時のデータとユーザー・データ（スタイル、サウンド、パフォーマンス等）を、ハード・ディスクやフロッピー・ディスク、CD 等にバックアップすることができます。バックアップ・データの拡張子は ".BKP" です。

ユーザー・データなどの大切なデータを誤消去等で失わないために、データをバックアップすることをお勧めします。

Pa1X Pro のハード・ディスクには、バックアップ・データ "PA1X_100" が収められています。

フロッピー・ディスクへバックアップするときは、フロッピー・ディスクを 6 枚用意してください。フロッピー・ディスクは、フォーマットされてなくても構いません。バックアップの手順の中で、フォーマットを行います。

データのバックアップは、以下の手順で行います。

1. DISK キーを押し、Disk モードへ入ります。
2. Utility タブを押し、Utility タブ・ページへ入ります。
LCD 画面の左下には、OS のバージョン No. が表示されます。
3. "Full Resource Backup" を選択し、Execute ボタンを押します。
4. LCD 画面の左下にあるポップアップ・メニューを押し、バックアップ・データを収めるデバイスを選びます。
フロッピー・ディスクに収めるときは、ポップアップ・メニューで "FD" を選び、ドライブに 1 枚目のディスクを入れてください。
ディスク内で、バックアップ・データを収める場所を変更するときは、Open キー等でフォルダー内へ移動します。変更しないときは、カレント・ディレクトリへ保存されます。
5. Backup キーを押します。
バックアップ・ファイルの名前、圧縮するかどうかを設定するダイアログ・ボックスが表示されます。
6. 名前を付けるときは、テキスト編集ボタンを押し、表示されるダイアログ・ボックスでテキストを入力します。
バックアップ・データを圧縮するときは、"Compression" にチェックを付けます。バックアップにかかる時間は長くなりますが、バックアップ時の容量が少なくなるので、チェックを付けることをお勧めします。
バックアップ・ファイルの名前、圧縮するかどうかを設定するダイアログ・ボックスが表示されます。
7. Backup キーを押します。
8. OK ボタンを押します。

フロッピー・ディスクへバックアップするときは、本機の指示に従ってフロッピー・ディスクを入れ替えます。フロッピー・ディスクのラベルに、番号を必ず記入してください。

フロッピー・ディスクがフォーマットされていなかったり、空き容量が足りない場合、フロッピー・ディスクをフォーマットするかどうかのメッセージが表示されます。

Yes ボタンを押すと、本機はクイック・フォーマットを行い、それができないときはフル・フォーマットを行います。

バックアップが終わったら、フロッピー・ディスクは大切に保管してください。

バックアップ・データのリストア

前述の方法でバックアップしたデータは、以下の手順で本機へ戻すことができます。

1. DISK キーを押し、Disk モードへ入ります。
2. Utility タブを押し、Utility タブ・ページへ入ります。
3. "Full Resource Restore" を選択し、Execute ボタンを押します。
4. LCD 画面の左下にあるポップアップ・メニューを押し、バックアップ・データが収められているデバイスを選びます。
LCD 画面にはファイル名が表示されます。
フロッピー・ディスクのセットからデータを戻すときは、ポップアップ・メニューで "FD" を選び、最初のフロッピー・ディスクをディスク・ドライブへ挿入します。
5. バックアップ・ファイル（拡張子は ".BKP"）を選択します。
6. Restore キーを押します。
バックアップ・データのリストアが始まり、LCD 画面には "Waite Please..." と表示されます。

Note: "Waite Please..." と表示されている間は、操作に関係ない部分（キーボードやフロント・パネルのスイッチなど）には絶対に触れないでください。リストアができない場合があります。

フロッピー・ディスクからリストアするときは、本機の指示に従ってフロッピー・ディスクを入れ替えます。最後のフロッピー・ディスクからデータがロードされて、バックアップ・データが本機に復元されます。

7. 本機の電源を一旦切り、改めて電源を入れ直します。

ユーザー・データのセーブ

ユーザー・データを内部メモリ（SSD デバイス）からディスクにセーブすることができます。

ユーザー・データをハード・ディスクまたはフロッピー・ディスクにセーブすることができます。

1. DISK キーを押し、Disk モードへ入ります。
2. Save タブを押し、Save タブ・ページへ入ります。
ALL フォルダー（全ユーザー・データ）が LCD 画面に表示されます。

Note: LCD 画面には、セーブできるデータが表示されます。

3. ALL フォルダーをセーブするときは、Save to ボタンを押します。

ALL フォルダーの中に含まれる、STYLE や SOUND などのデータを 1 つだけセーブするときは、ALL フォルダーを選んだ状態で Open ボタンを押します。これで ALL フォルダーの 1 つ下の階層へ入ります。

そして、セーブするデータ選択し、Save to ボタンを押します。元の階層へ戻るときは、Close ボタンを押します。

4. 必要であれば、左下のポップアップ・メニューからセーブ先を選択します。

5. 新しいフォルダーを作って、その中へデータをセーブする場合は、New SET ボタンを押し、フォルダー名を入力し、OK ボタンを押します。これで新しいフォルダーができました。

すでにあるフォルダーの中へデータをセーブする場合は、フォルダーを選択します。

6. Save ボタンを押します。
手順 3 で、ALL フォルダーを選択したときは、ダイアログ・ボックスで表示されます。ここでは、セーブするデータのタイプにチェックを付け、OK ボタンを押します。

7. ダイアログ・ボックスが表示されますので、本当にセーブするときは OK ボタンを押し、中止するときは Cancel ボタンを押します。

Warning: セーブ先に、これからセーブするデータと同じファイル名、同じタイプのものが存在するときは、そのデータは上書きされてしまいます。

ユーザー・データのロード

予めセーブしたユーザー・データを、本機にロードすることができます。

1. DISK キーを押し、Disk モードへ入ります。
2. フロッピー・ディスクや CD-R などからデータをロードするときは、それらのメディアをディスク・ドライブまたは CDRW-1 に挿入します。

ハード・ディスクからロードするときは、そのまま手順 3 へ進んでください。

3. Load タブを押し、Load タブ・ページへ入ります。
4. LCD 画面の左下にあるポップアップ・メニューで、ロードするデータが入っているデバイスを選びます。
LCD 画面には、そのデバイスの内容が表示されます。

フォルダーの内容を表示させるときは、フォルダーを選んでから Open ボタンを押します。元に戻るときは、Close ボタンを押します。

Note: LCD 画面には、ロードできるデータが表示されます。

5. ロードするデータが含まれている .SET フォルダーを選んで、Load ボタンを押します。

フォルダー内のデータ（例えば、スタイル、パフォーマンス、ソング・データなど）をロードするときは、フォルダーを選んでから Open ボタンを押し、個々のデータを選択し、Load ボタンを押します。

Note: 内部メモリ（SSD デバイス）に存在するスタイル・バンクと同じバンク・データが書き込まれたときは、メモリーのデータが上書きされます。例えば、メモリーに 3 つのユーザー・スタイル・バンク（USER01、USER02、USER03）があり、ディスクに USER01 だけがある場合、データをロードすると USER01 バンクは上書きされ、他の USER02、USER03 バンクはそのままです。結果的に、メモリーには USER01 バンクだけがロードされたこととなります。

Warning: PCM データを含む .SET フォルダーをロードすると、内部メモリー内に存在する全ての PCM データは消去されます。PCM データを消去したくないときは、予め Save All のダイアログ・ボックス操作で「PCM」にチェックを付けてセーブを実行し、PCM データをセーブしておくことをお勧めします。.SET フォルダーに PCM データが含まれているかどうかは、.SET フォルダーをオープンして確認することができます。

トラブル・シューティング

問題	対応法	ページ
一般的な問題		
電源が入らない	次の項目を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・電源コードがコンセントに接続されていますか？ ・電源コードが AC 電源端子に接続されていますか？ ・本機が破損していませんか？ ・電源には問題がありませんか？ 	
	電源スイッチがオンになっていますか？	
	それでも電源が入らない場合は、お買い上げの販売店、またはお近くのコルグ・サービス・センターに連絡してください。	
音が出力できない	ヘッドホン・ジャックは [HEADPHONES] 端子に差し込まれていますか？ これで内蔵のスピーカーの動作を停止します。	14
	アンプまたはミキサーへの接続をチェックしてください。	15
	アンプ・システムの全ての機器の電源が入っていますか？	
	本機の [MASTER VOLUME] スライダーの位置が、「0」以外になっていますか？	14
	「Local」のパラメーターが、オフになっていませんか？ 次のようにして設定をオンにしてください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. GLOBAL キーを押し、Global モードへ入ります。 2. MENU キー、「MIDI」を続けて押し、Setup Gen.Ctl タブを押します。 3. 「General Controls」の Local Control On にチェックを付けます。 	
	「Speaker」のパラメーターが、オフになっていませんか？ 次のようにして設定をオンにしてください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. GLOBAL キーを押し、Global モードへ入ります。 2. MENU キー、「Audio Outpus」を続けて押し、Metro S/PDIF タブを押します。 3. 「Speakers」の Speakers On/Off にチェックを付けます。 	
	「Attack」のパラメーター値が高すぎませんか？ 次のようにして低い値に設定し、音が早く立ち上がるようにしてください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. STYLE PLAY キーを押し、Style Play モードへ入ります。 2. MENU キー、「Track Controls」を続けて押し、Easy Edit タブを押します。 3. 「Easy Sound Edit」で Attack を調整します。 その他、Sound モードのメイン・ページにも Attack パラメータがあります。	
「Volume」のパラメーター値が、低すぎませんか？ 次のようにして高い値に設定してください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. STYLE PLAY キーを押し、Style Play モードへ入ります。 2. MENU キー、「Mixer Tuning」を続けて押し、Volume Pan タブを押します。 3. 「Volume」を調整します。 		
低いノートが出力できない	[SPLIT] キーが点灯していると、キーボードはローワー・パート（低音、スプリット・ポイント以下）とアッパー・パート（高音、スプリット・ポイント以上）に分割されています。ローワー・パートにミュートが掛かっていませんか？ミュートを解除してください。	23
サウンドが違っている	[USER] バンクにエディットされたデータが入っていませんか？ ソング、またはスタイルに適したデータをロードしてください。	109
	[USER] ドラム・キットにエディットされたデータが入っていませんか？ 適切なドラム・キットをロードしてください。	109
	スタイル、あるいはパフォーマンスがエディットされていませんか？ 適切なデータ（スタイル、あるいはパフォーマンス）をロードしてください。	109
サウンドが止まらない	ダンパー・スイッチやペダル・スイッチの極性のパラメーターが正しく設定されていることを確認してください。 次のようにして極性を確認します。 <ol style="list-style-type: none"> 1. GLOBAL キーを押し、Global モードへ入ります。 2. MENU キー、「Controllors」を続けて押し、Pedal Switch タブを押します。 3. 「Pedal/Footswitch」の Damper Polality、Pedal/Footswitch Polality で、極性を確認します。 	

問題	対応法	ページ
選択したスタイル、ソングがスタートしない	<p>「Clock Source」のパラメーター設定が、Internal になっていることを確認してください。次のようにして極性を確認します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. GLOBAL キーを押し、Global モードへ入ります。 2. MENU キー、「MIDI」を続けて押し、Setup Gen.Ctl タブを押します。 3. 「General Controls」の Clock Source の設定が Internal になっていることを確認します。 	
	<p>外部機器の MIDI クロックを使用するときは、MIDI Clock パラメータを MIDI A あるいは MIDI B にします。そして外部機器を設定し、外部機器から本機へ MIDI Clock が送信されるようにします。</p>	
MIDI 信号に反応しない	<p>全ての MIDI ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。</p>	
	<p>外部機器からのデータが、本機で設定した MIDI 受信チャンネルを介して、送られていることを確認してください。</p> <p>MIDI チャンネルは以下のように設定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. GLOBAL キーを押し、Global モードへ入ります。 2. MENU キー、「MIDI」を続けて押し、Midi In Channel タブを押します。 3. MIDI チャンネルの設定を確認します。 4. Midi Out Channel タブを押し、MIDI チャンネルの設定を確認します。 	
	<p>本機の [MIDI IN] フィルターが MIDI メッセージの受信を阻害していないことを確認してください。</p> <p>MIDI フィルターは以下のように設定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. GLOBAL キーを押し、Global モードへ入ります。 2. MENU キー、「MIDI」を続けて押し、Filters タブを押します。 3. 「Midi In Filters」、「Midi Out Filters」の設定を確認します。 	
パーカッション楽器のサウンドが正しくプレイされない	<p>ドラム・トラックが Drum モードに設定されていて、外部機器がトランスポートしていないことを確認してください。</p>	
パーカッション楽器でクリックが出る	<p>これはサウンドの一部で、故障ではありません。</p>	
パフォーマンス、スタイル、STS を選択後、バックグラウンド・ノイズが聞こえる	<p>選択したパフォーマンス、スタイル、または STS で、レコード盤の音をシミュレートしている「15 Analog Record」が呼び出されています。</p>	
ボイス・プロセッサの音が聞こえない	<p>Vocoder エフェクトが FX D プロセッサにアサインされています。マイクからの入力音は、FX D の Vocoder エフェクトに送られ、ボイス・プロセッサへ送られません。ボイス・プロセッサを使用したい場合、Vocoder エフェクトを解除してください。</p>	
	<p>MIC 端子にマイクが接続され、[1/MIC] スイッチは、[1] を選択していますか？、ボイス・プロセッサ・エフェクトはマイク (MIC) 入力のみ適用されます。</p>	
LCD 画面の操作で上手く入力できない	<p>Touch Panel Calibration を実行し、タッチパネルの感度を正しく調整してください。感度は以下のように調整します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. GLOBAL キーを押し、Global モードへ入ります。 2. MENU キー、「Touch Panel Calibration」を続けて押します。 3. まず、LCD 画面の左上にあるマーク部分を押しします。 4. 次に、LCD 画面の右下にあるマーク部分を押しします。 5. 最後に、LCD 画面の中央にある Done を押しします。 	

問題	対応法	ページ																																							
ディスク関連の問題																																									
フロッピー・ディスクをフォーマットできない	3.5 インチ 2DD、または 2HD フロッピー・ディスクをお使いですか？ どちらかのタイプのディスクをお使いください。																																								
	ディスクが正しく挿入されていますか？																																								
	ディスクのライト・プロテクト・タブが書き込み禁止側になっていませんか？																																								
フロッピー・ディスクにデータを保存できない	ディスクがフォーマットされていますか？																																								
	ディスクが正しく挿入されていますか？																																								
	ディスクのライト・プロテクト・タブが書き込み禁止側になっていませんか？																																								
フロッピー・ディスクからデータをロードできない	ディスクが正しく挿入されていますか？																																								
	<p>ディスクに本機と互換性のあるデータが入っていますか？</p> <p>・読み込み、書き込み共に可能なデータ形式は、以下の通りです。</p> <table border="0"> <tr><td>表記</td><td>ファイル / フォルダー・タイプ</td></tr> <tr><td>GBL</td><td>Global</td></tr> <tr><td>VOC</td><td>Voice Processor Presets</td></tr> <tr><td>PRF</td><td>Performance</td></tr> <tr><td>PCG</td><td>Sound</td></tr> <tr><td>PCM</td><td>Sample</td></tr> <tr><td>STY</td><td>Style</td></tr> <tr><td>SBD</td><td>SongBook</td></tr> <tr><td>JBX</td><td>Jukebox</td></tr> <tr><td>MID</td><td>Midi file (Standard MIDI File, SMF)</td></tr> </table> <p>・読み込み可能、書き込み不可なデータ形式は、以下の通りです。</p> <table border="0"> <tr><td>表記</td><td>ファイル・タイプ</td></tr> <tr><td>KAR</td><td>Karaoke file</td></tr> <tr><td>CDA</td><td>Audio CD Track</td></tr> <tr><td>PCG</td><td>Korg Triton Programs</td></tr> <tr><td>KSF</td><td>Korg Trinity/Triton Sample</td></tr> <tr><td>KMP</td><td>Korg Trinity/Triton Multisample</td></tr> <tr><td>S</td><td>Akai Sample</td></tr> <tr><td>P</td><td>Akai Program</td></tr> <tr><td>AIF</td><td>AIFF audio files</td></tr> <tr><td>WAV</td><td>WAVE audio files</td></tr> </table>	表記	ファイル / フォルダー・タイプ	GBL	Global	VOC	Voice Processor Presets	PRF	Performance	PCG	Sound	PCM	Sample	STY	Style	SBD	SongBook	JBX	Jukebox	MID	Midi file (Standard MIDI File, SMF)	表記	ファイル・タイプ	KAR	Karaoke file	CDA	Audio CD Track	PCG	Korg Triton Programs	KSF	Korg Trinity/Triton Sample	KMP	Korg Trinity/Triton Multisample	S	Akai Sample	P	Akai Program	AIF	AIFF audio files	WAV	WAVE audio files
表記	ファイル / フォルダー・タイプ																																								
GBL	Global																																								
VOC	Voice Processor Presets																																								
PRF	Performance																																								
PCG	Sound																																								
PCM	Sample																																								
STY	Style																																								
SBD	SongBook																																								
JBX	Jukebox																																								
MID	Midi file (Standard MIDI File, SMF)																																								
表記	ファイル・タイプ																																								
KAR	Karaoke file																																								
CDA	Audio CD Track																																								
PCG	Korg Triton Programs																																								
KSF	Korg Trinity/Triton Sample																																								
KMP	Korg Trinity/Triton Multisample																																								
S	Akai Sample																																								
P	Akai Program																																								
AIF	AIFF audio files																																								
WAV	WAVE audio files																																								

技術仕様

モデル	Pa1X Pro	Pa1X (2005年3月現在、日本発売は未定)
キーボード	76 鍵、セミ・ウェイテッド。ペロシティ、モノ・アフタータッチ付き	61 鍵、セミ・ウェイテッド。ペロシティ、モノ・アフタータッチ付き
オペレーティング・システム	コルグ OPOS (Objective Portable Operating System、オブジェクト・ポータブル・オペレーティング・システム)、及び RX (Real eXperience、リアル・エクスペリエンス) テクノロジー。 マルチタスク、プレイ中のロード機能。SSD (Solid State Disk、ソリッド・ステート・ディスク) 搭載。 フロッピー・ディスクでのアップグレード可能。	
ディスプレイ	320 x 240 ピクセル、タッチビュー TM・カラー・グラフィック・タッチ・スクリーン	
ヘルプ	ハイパーテキスト、コンテキスト・ヘルプ・システム	
データ・ストレージ	1.44MB フロッピー・ディスク・ドライブ (MS-DOS 互換) オプション CD-RW (コルグ CDRW-1)、標準 2.5 インチ ATA ハード・ディスク・ドライブ	1.44MB フロッピー・ディスク・ドライブ (MS-DOS 互換) オプション CD-RW (コルグ CDRW-1) オプション 2.6 インチ ATA ハード・ディスク・ドライブ
サウンド・ジェネレーション・システム	コルグ HI (Hyper Integrated)	
同時発音数	62 ボイス、62 オシレーター。レゾナンス付きフィルター。	
マルチティンバー	40 トラック (2 x 16 シーケンサー、4 キーボード、4 パッド)	
サウンド	ファクトリー・プリセット・データ: ステレオ・ピアノや GM レベル 2-互換プログラムを含む 870 サウンド以上、48 ドラム・キット ユーザー・データ: 256 サウンド、64 ドラム・キット	
デジタル・ドローパー	8 フィート、アサイナブル・スライダーを使っのリアルタイム・コントロール。	
サウンド・エディット	サウンド、ドラム・キットのオンボード・フル・エディット	
サンプリング	レコード、エディット、タイム・スライス (Korg、Wav、Aiff、Akai ファイル互換)	
PCM RAM メモリー	16MB 標準、16MB SIMM モジュール (オプション) で 32MB にまで拡張可能	
PCM ROM エクспанション	2 スロット、最大 32MB (最大 512 サウンドと 128 ドラム・キット) まで追加可能	
エフェクト	4 ステレオ・デジタル・マルチ・エフェクト・プロセッサー (89 エフェクト・タイプとボコーダー)、TC・Helicon 社製ボイス・プロセッサー	
ボイス・プロセッサー	TC・Helicon 社ボイス・テクノロジー。4-パート・ハーモニー、リバース、ディレイ、コンプレッサー、EQ。ピッチ・コレクト、ボイス・モデリングはオプション対応。	
リアルタイム・トラック	4 キーボード・トラック (アッパー 1、2、3、ローワー) 4 パッド・トラック	
パフォーマンス	320 リアルタイム・パフォーマンス・ロケーション	
シングル・タッチ・セッティング (STS)	リアルタイム・トラックとボイス・プロセッサー設定をメモリー。 最大 4 x 608 スタイル、最大 4 x 各ソングブック・エントリー	
スタイル	SSD に保存した、再構成可能な 450 以上のスタイル。最大 608 個のスタイル・ロケーション。1 スタイルに対し、8 スタイル・トラック、4 シングル・タッチ・セッティング、1 スタイル・パフォーマンス。ダイレクト・ディスク (最大 96 スタイル)、ダイレクト・ハード・ディスク (最大 288 スタイル) 機能。i-シリーズ、Pa80/60-シリーズとのスタイル互換。エディット、ステップ・エディット、イベント・エディット機能搭載のスタイル・レコード。最大 96 のユーザー・スタイル・ロケーション。	
スタイル・コントロール	4 バリエーション、2 フィル、2 イントロ、2 エンディング、イントロ 3/ カウント・イン、フィル 3/ ブレーク、シンクロ・スタート/ストップ、タップ・テンポ/リセット、フェード・イン/アウト、ベース・インバージョン、マニュアル・ベース、テンポ・ロック、メモリー、アカンパニメント・ボリューム、アカンパニメント・ミュート、ドラム・マッピング、スネア & キック・デジグネーション、シングル・タッチ。	
汎用コントロール	マスター・ボリューム、アンサンブル、オクターブ・トランスポーズ、マスター・トランスポーズ、スプリット・ポイント、スタイル・チェンジ、トラック・ボリューム、クウォーター・トーン (ペダル・ファンクション)、アサイナブル・スライダー、アサイナブル・スイッチ、ジョイスティック、ダイヤル。	
パッド	4 アサイナブル・パッド + ストップ・キー	
ソング・プレイ	パテント取得済みの XDS クロスフェード・デュアル・シーケンサー・プレーヤー - 別々のセレクト、スタート/ストップ、ポーズ、<<(巻き戻し)>>(早送り) コントロール搭載の 2 基のシーケンサー。バランス・コントロール。歌詞データのスクリーン、または外部ビデオ・モニター上への表示。ジュークボックス機能。SMF ダイレクト・プレーヤー (フォーマット 0、1)。オーディオ CD の読み込み (オプション対応)。	

モデル	Pa1X Pro	Pa1X (2005年3月現在、日本発売は未定)
シーケンサー	クイック・レコーディング、マルチトラック・レコーディング、ステップ・レコーディング対応、フル機能シーケンサー。 16トラック、最大200,000イベント、SMFフォーマット。	
CDオーディオ・プレーヤー / ライター	オプション。コルグCDRW-1ドライブ取り付け対応。	
ソングブック	Style Play、Song Playモードの自動選択付きのプログラム可能なミュージック・データベース。 カスタム・リスト作成可能。	
ペダル	ダンパー、アサインナブル(ボリューム・ペダル、フットスイッチ) EC5	
リアルタイム・コントローラー	ジョイスティック(ピッチ + モジュレーション)、アサインナブル・スライダ、アサインナブル・スイッチ、パッド	
MIDI	2 x IN、2 x OUT (THRU と切り替え)、 インディビジュアル・トラック・アサイン、オート・セットアップ機能 (MIDI 設定)	
USB	USB 1.1 端子 (タイプ B/スレーブ)	
オーディオ入力	2 x ライン入力、1 x マイク入力 (ゲイン・コントロール付き)	
オーディオ出力	2 メイン (Left/Mono、Right) 2 サブ (1、2) 1 48 kHz S/PDIF デジタル コアキシャル (メイン出力と同一)	
ヘッドホン	フロント 6.3mm 1/4" ジャック	
内蔵アンプ		バイ・アンプ 2 x 35W (ウーファー) + 2 x 12W
スピーカー		4 スピーカー (13cm ウーファー + ドーム・ツイーター) 2-ウェイ、バスレフボックス
電源	100 ~ 240V AC 電源	
消費電力	35W	65W
外形寸法 (W x D x H)	1330 x 366 x 136 mm (譜面立てを除く)	1123 x 428 x 189 mm (譜面立てを除く)
本体重量	19.5 kg	22 kg
付属品	ユーザー・マニュアル、AC 電源コード、譜面立て、CDRW インストレーション・キット、16MB の SIMM	
オプション	EC5 マルチスイッチ・コントローラー	
	EXP-2 フット・コントローラー XVP-10 エクスプレッション / ボリューム・ペダル PS-1 ペダル・スイッチ DS-1H ダンパー・ペダル	
	SUG-TC1 ピッチ・コレクト / ボイス・モデリング ソフトウェア・アップグレード (TC Helicon 社製)	
	CDRW-1 CDRW ドライブ	
	1 x 16MB、72 ピン SIMM モジュール (ユーザー取り付け可能) ...2 枚まで取付可 2 x EXBP-シリーズ ROM エクспанション (ユーザー取り付け可能)	
		2.5 インチ ATA ハード・ディスク (ユーザー取り付け可能)